

一般社団法人 日本免震構造協会

MENSHIN

The Japan Society of Seismic Isolation

NO. 76

2012. 5

一般社団法人日本免震構造協会出版物のご案内

2012年4月30日

タイトル	内 容	発行年月	会員価格
			非会員価格
会誌「MENSIN」	免震建築・技術に関わる情報誌、免震建築紹介、免震建築訪問記、設計例、部材の性能、免震関連技術等 【A4版・約90頁】	年4回発行 2月、5月、 8月、11月	¥2,500 ¥3,000
免震部材標準品リスト 《改訂版》—2009—	大臣認定された免震部材で、免震建築物の設計に必要な部材ごとの性能基準値を一覧表にまとめたもの（CD-ROM付き） 【A4版・760頁】	2009年11月	¥3,500 ¥4,000
免震建物の維持管理基準 《改訂版》—2010—	免震層・免震部材を中心とした通常点検・定期点検など、免震建物維持管理のための点検要領などを定めた協会の基準（ユーザーズマニュアル付） 【A4版・23頁】	2010年9月	¥500 ¥1,000
設計・施工に役立つ問題事例と推奨事例一点検業務から見た免震建物—	免震建物の点検時に発見される設計や施工に起因する不具合事例について、推奨事例も含めて解説。チェック編と解説編から構成。建築計画、構造計画、配管・配線計画、施工計画、免震部材、維持管理について解説。 【A4版・20頁】	2007年8月	¥500 ¥1,000
社会環境部会活動報告書 （免震建物と地震リスク、環境問題、地震防災）	最近の免震構造を巡るトピックスとして、免震建物と地震リスク、環境問題、地震防災における免震建物の有効性の3テーマを取り上げた活動報告書。 【A4版・101頁】	2007年12月	¥2,000 ¥2,500
積層ゴムの限界性能とすべり・転がり支承の摩擦特性の現状	積層ゴムアイソレーターの限界性能、すべり・転がり支承の摩擦特性に関する実データを集積し調査結果をまとめたもの 【A4版・46頁】	2003年8月	¥1,500
パッシブ制振構造設計・施工マニュアル 《第2版 第2刷》—2005—	わが国で唯一のパッシブ制振構造専門の設計・施工マニュアル 摩擦ダンパーも加わり第1版をさらに分かり易く改訂 【A4版・515頁】	2007年7月	¥5,000
JSSI 時刻歴応答解析による免震建築物の設計基準・同マニュアル及び設計例《改訂版》	時刻歴応答解析法により免震建築物の耐震安全性を検証する際の設計マニュアル 【A4版・206頁】	2010年3月	¥2,000 ¥2,500
免震建築物のための設計用入力地震動作成ガイドライン	主に免震建築物の設計実務に携わる構造技術者が入力地震動について理解を深めようとする際の指標となるもの 【A4版・100頁】	2005年11月	¥1,000 ¥1,500
免震建築物の耐震性能評価表示指針及び性能評価例	免震建築物の地震に対する性能を時刻歴応答解析法により評価する具体的な方法を示すもので、性能評価例付き 【A4版・225頁】	2005年11月	¥2,000 ¥2,500
免震建物の建築・設備標準—2009—	免震建物の建築や設備の設計に関する標準を示すもの 【A4版・87頁】	2009年12月	¥1,000 ¥1,500
免震部材の接合部・取付け躯体の設計指針	免震部材の接合部や取付け躯体の設計をする際のガイドライン 【A4版・48頁】	2009年7月	¥1,000 ¥1,500
応答制御建築物調査委員会報告書	2012年1月26日開催「報告会—東北地方太平洋沖地震に対する応答制御建築物調査—」のレジメと報告書（CD-ROM-1枚） 【A4版・55頁】	2012年1月	¥2,000 ¥3,000
免震建物の耐火設計ガイドブック	免震建物の耐火設計・免震装置の構成材料の温度特性・装置の耐火性・耐火被覆方法等に関する実務書 【A4版・185頁】	2012年3月	¥2,000 ¥3,000
免震のすすめ	これから建物を建てようとする方々向けに大地震から人命・財産・日常生活を守る免震建物を分かり易く解説、メリット・装置の役割・コストと性能などを記したカラーパンフレット 【A4版・3ツ折】	2005年8月	30部まで無料 （31部以上 ご相談）
ユーザーズマニュアル	免震建物を使用または所有されている方への注意点をまとめたカラーパンフレット 【A4版・2ツ折】	2007年10月	30部まで無料 （31部以上 1部 ¥50）
地震から建物を守る免震【和文、英文版】	免震建築の普及のため一般向けに免震構造を説明したカラーパンフレット 【A5版・6頁】	2009年9月	30部まで無料 （31部以上 1部 ¥100）
大地震に備える～免震構造の魅力～【日本語・DVD】	免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2005年8月	¥2,000 ¥2,500 ※Academy ¥1,500
大地震に備える～免震構造の魅力～【英語・DVD】	【ナレーション・字幕/英語】 免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2006年11月	¥1,500 ¥2,000 ※Academy ¥1,000

協会編集書籍のご案内(他社出版)

タイトル	内 容	発行年月	会員価格
			非会員価格
免震構造 一部材の基本から設計・施工まで—	免震構造に携わる実務者必携の書。部材の基礎知識から免震構造の設計、免震層の施工、維持管理に関する実践的知識までを系統的に、かつ、平易に解説 【B5版・310頁】	2010年12月	¥4,700 ¥5,250
免震構造施工標準—2009—	免震構造の施工に関する標準を示すもので免震部建築施工管理技術者必携のもの 【A4版・110頁】	2009年8月	¥2,100 ¥2,500
考え方・進め方免震建築	建築家、建築構造技術者など免震建築の関係者対象の技術書。Q&A方式で、免震建築全般にわたり、免震の基本から計画・設計・施工・維持管理など幅広く解説 【A5版・200頁】	2005年5月	¥2,600 ¥2,940
免震建築物の技術基準解説及び計算例とその解説 【日本建築センター】	「免震告示（免震建物の構造方法に関する安全に必要な技術的基準（平成12年建設省告示第2009号）」に関する解説書 【A4版・216頁】	2001年5月*1	¥3,500 ¥4,000
免震建築物の技術基準解説及び計算例とその解説（戸建て免震住宅） 【日本建築センター】	主に戸建て免震住宅に関して平成16年国土交通省告示第1160号により改正された「免震告示」の解説書 【A4版・195頁】	2006年2月*1	¥3,550 ¥4,100
耐震改修ガイドライン 【日本建築防災協会】	既存の主としてRC造建築の免震構法・制震構法を用いて耐震改修する際の手引書 【A4版・129頁】	2006年6月*2	¥3,800 ¥4,500

*1 協会の販売は2006年5月～

*2 協会の販売は2006年10月～

目次

巻頭言	東日本大震災から1年を経て免震に思うこと	1
	北海道大学 教授	菊地 優
免震建築紹介	県立淡路病院	3
	安井建築設計事務所	山浦 晋弘 秋田 智 池田 直子
	高知県本庁舎耐震改修	7
	佐藤総合計画	渡邊 朋宏
免震建築訪問記	①9 つくば市庁舎	11
	前田建設工業	藤波 健剛
	清水建設	猿田 正明
	竹中工務店	浜辺 千佐子
シリーズ	「制振部材紹介」⑱ KYD制振オイルダンパー	16
	川金コアテック・光陽精機	
特別寄稿	ニュージーランド カンタベリー地震(2011.2.22)による免震建物の調査報告	17
	オイレス工業	河内山 修
委員会報告	応答制御建築物調査委員会活動報告	21
	応答制御建築物調査委員会 委員長	深澤 義和
	三菱地所設計	
講習会報告	「免震建物の耐火設計ガイドブック」解説講習会	23
	竹中工務店	浜辺 千佐子
理事会議事録		25
性能評価(評定)業務		29
国内の免震建物一覧表		30
委員会の動き	■運営委員会 ■技術委員会 ■普及委員会 ■国際委員会	55
	■資格制度委員会 ■委員会活動報告(2012.1.1~2012.3.31)	
会員動向	■新入会員 ■入会のご案内・入会申込書(会員)	59
	■免震普及会規約・入会申込書 ■会員登録内容変更届	
インフォメーション	■行事予定表 ■受賞のお知らせ	66
	■シンポジウム「増大する地震動レベルと今後の耐震設計 -3.11を踏まえた意識調査を基に-	
	のご案内	
	■会誌「MENSIN」広告掲載のご案内 ■寄付・寄贈	
編集後記		82

C
O
M
M
E
N
T
S

CONTENTS

Preface		
What I think of Seismic Isolation one year after the Great East Japan Earthquake	1	
Masaru KIKUCHI		Professor of Hokkaido University
Highlight		
Hyogo Prefectural AWAJI Hospital	3	
Nobuhiro YAMAURA Satoshi AKITA Naoko IKEDA		Yasui Architects & Engineers, Inc.
Seismic Retrofit for Kochi Prefectural Office Building	7	
Tomohiro WATANABE		Axs Satow Inc.
Visiting Report- ⁽⁷⁹⁾		
Tsukuba City Hall	11	
Takeyoshi FUJINAMI		Maeda Corp.
Masaaki SARUTA		Shimizu Corp.
Chisako HAMABE		Takenaka Corp.
Series “Qualified Response Control Device” - ⁽¹⁸⁾		
KYD Oil Damper	16	
		Kawakin Core-Tech Co.,Ltd., Koyo Seiki Co.,Ltd.
Special Contribution		
Search Report of Seismic Base Isolated Building at Christchurch in NZ after Canterbury Earthquake Feb. 22, 2011	17	
Osamu KOUCHIYAMA		Oiles Corp.
Report of Committee		
Report of Investigation Committee for Property Response Controlled Buildings in the 2011 EQ	21	
Chairman, Investigation Committee for Property Response Controlled Buildings in the 2011 EQ Yoshikazu Fukasawa		Mitsubishi Jisho Sekkei Inc.
Report of Lecture		
Seminar on “Structural Fire Safety Design Guide Book for Seismically Isolated Building”	23	
Chisako HAMABE		Takenaka Corp.
Minutes of the Board of Directors	25	
Reports of the Performance Evaluations	29	
List of Seismic Isolated Buildings in Japan	30	
Committees and their Activity Reports	55	
○Steering ○Technology ○Diffusion ○Internationalization ○Licensed Administrative ○Activity Report of the Committees(2012.1.1~2012.3.31)		
Brief News of Members	59	
○New Members ○Application Guide & Form ○Rules of Propagation Members & Application Form ○Modification Form		
Information	66	
○Annual Schedule ○The Prize ○Guide of Symposium ○Advertisement Carrying ○Contributions		
Postscript	82	

東日本大震災から1年を経て免震に思うこと



北海道大学 教授

菊地 優

東日本大震災の発生から1年が過ぎた。地震発生以降、被災地には3度赴き未曾有の震災を目の当たりにしてきた。このたび巻頭言の執筆依頼を頂いたことを、この1年間に震災と対峙する中で、免震について考えたことを述べさせて頂く良い機会であると思ひ、執筆をお引き受けした次第である。

2011年3月11日の地震発生当日、筆者は午前札幌から上京し、午後は東京都内の免震建物の中にいた。地震発生時には、初めに建物内に緊急地震速報が流れ、数十秒後に震動が到達した。建物の中は、ゆっくりとした大きな揺れがあるだけの不安のない空間であった。免震建物の中で展開された一連の事象は、理想的な防災シナリオであったといえよう。ただし、地震後は札幌に戻れないどころか、東京都内での移動も不可能となり、訪問先に宿泊させて頂くこととなった。翌朝は早くから電車を乗り継いで都内を移動し、免震建物を見てまわった。土曜日の朝、そして震災直後であるから、訪問のアポイントメントなど取れるはずもない。それでも事情をご理解頂き快く訪問を受け入れて下さった方々がいらっした。複数の免震建物においてエキスパンション・ジョイント(Exp. J)付近に残された跡から、数cmの動きを確認した。免震レトロフィットされた国際子ども図書館では、朝から平常通り開館されていたのは驚きであった。職員の方からは、書架の本はまったく倒れることもなかったとのコメントを頂いた。

東北地方における免震建物の最大変形量は20～30cmであったと聞く。その変形量からは、設計で想定するレベル2の地震動が入力されたと判断する。3度の現地調査では防災拠点となる免震建物を中心にまわり、いずれの免震建物も十分に機能を発揮したとの感触を得た。石巻消防署は、津波で冠水し免震ピットも浸水したが、免震による応答加速度低減

と屋上に設置された非常用発電機が稼働したことで、地震後も消防署としての機能を維持した。石巻赤十字病院では、地震発生から5分後には災害対策本部が立ち上がり、周囲の病院が医療活動を行えなくなった中で被災者の救護に孤立奮闘した。同病院内の地震時の様子を撮影した映像が公開されており、免震建物内の揺れを知ることができる。この映像は、2日前の地震をきっかけに機材の準備をしていたことで撮影できたと聞く。登米市消防防災センターは、消防署の機能に加えて、防災対策の展示・学習設備を有し、地下の免震部材をも展示物とするユニークな施設である。同センターは、地震発生直後から隣接する南三陸町の被災地へ救助活動に入った。栗原市には、約3Gの大加速度を記録したK-NET築館の観測点が存在する。ここでは栗原市消防本部と栗原市立栗原中央病院の2棟が免震構造である。両建物とも免震が機能して建物に被害はなく、消防本部は翌日から津波被災地への救助活動を展開し、病院は被災地からの患者を受け入れた。その他、遠野市では免震構造の消防庁舎が最近竣工し、気仙沼市立病院も免震構造で新築工事が計画されているなど、防災拠点の免震化の流れは止まらない。

東日本大震災では、約30%の免震建物でExp. Jに可動の不具合や損傷が生じたと聞く。筆者も現地調査にて、タイルの剥落、金物の変形・脱落などを確認した。Exp. Jは設置された状態での事前の可動確認が難しいことに加え、雨仕舞、バリアフリー、デザインに配慮する結果、複雑なディテールとなってしまうことも否めない。しかし、筆者はそのような不具合を深刻に受けて止めていない。むしろ、可動部で人が怪我をしなかったことに安堵している。もし、可動部に人が挟まれたら大変なことになる。想像するだけで、恐ろしい。そう

考えると、可動部に人が近づけないように、1階以上の柱頭免震とすることが理想的なのかもしれない。

東日本大震災では東北地方以外でも、超高層ビルではエレベータの停止や非構造部材の損傷、石油タンクでは液面のスロッシング現象による油漏れなど、地震動の長周期成分が要因と思われる被害が報告されている。長周期地震動は、免震が最も苦手とする相手である。2003年十勝沖地震でその存在が注目され、超高層ビル、免震建物などの長周期構造物では、地震安全性の再検討を強いられた。現在でも免震の分野では、長周期地震動対応が主要な研究テーマである。その研究内容は、免震部材に大振幅・長時間・多数回繰り返し変形といった過酷な状況を強いるものばかりである。不思議なことに、上部建物に講ずべき対策についての検討はあまり見られない。筆者が長周期地震動に対する免震建物の応答を検討する中で得た極限挙動は意外なものであった。免震建物は塑性化すると、基礎固定の在来建物と比べて冗長性に大きく劣るといふ免震構造の弱点が明らかになった。この弱点は従来から一部の構造技術者の間で経験的に知られてきたが、それを理論的に証明できたのである。建物の塑性化は、極端な耐力低減あるいは過大な地震動入力で生じる。免震構造は、想定外の事象には弱いのである。免震構造の設計では、応答加速度低減による建物機能維持のみを期待し、地震力低減によって生じた建物の余力には手をつけにくいぐらいの余裕が欲しい。とにかく、免震建物は絶対に塑性化させてはいけない。

東北地方では、869年に貞観地震という巨大地震が発生し大津波に襲われたことが、日本三代実録に記述されている。貞観津波が運んだ堆積物の調査から、浸水の範囲は今回の津波の浸水域とほぼ同じであったという。その後、1611年には慶長三陸地震が発生した。慶長三陸津波の浸水域は1933年の昭和三陸津波より広がったとの調査結果がある。また、北海道の太平洋岸でも同時期の津波痕跡が発見されており、この地震が北海道東方沖から三陸までの連動型地震であったとの可能性も指摘されている。仙台平野を襲う大津波への警鐘は、東日本大震災以前か

ら発せられていたが、注目されなかった。数十年サイクルで発生するM8クラスの地震であれば、一個人が存命中に一度は経験し、直接語り継ぐことができよう。今回のような巨大津波をもたらす地震の発生周期は500～1000年とも言われ、それを経験できない世代が存在する。東日本大震災では地盤・建物の揺れ、液状化、津波などの膨大な映像が記録された。我々には、その記録を確実に後世に伝える義務がある。貞観地震を記述した日本三代実録が、現在の強震観測網や高度な解析技術に劣らない防災上の有益性を持っていることを、我々は認識せざるを得ない。津波が地層に記した堆積層というメッセージも然り。そして、それらの警告を見過ごしてしまったことを憂慮すべきである。情報の不伝達は、免震の世界でも起こっている。岡隆一が考案した免震基礎を採用して1928年に建設された建物では、免震構造であることが後世に伝わらず、可動部分がモルタルで固められてしまったと聞く。先述の免震Exp.Jの被害には、可動部分であることが情報伝達されずに固定されたことが原因のものもある。

東日本大震災では震動を要因とする建物の深刻な構造被害の大半は、新耐震設計法以前の建物であったと報告されている。1995年阪神淡路大震災でも同様の調査報告を聞いた。建物の倒壊による人命損失を防ぐという耐震設計の大原則は概ね守られたと判断して良いだろう。しかし、それ以上のことを求められたら、答えは免震しかない。宮城県内の防災拠点の免震建物が、それを証明している。この震災では免震建物でも数々の不具合が露呈したが、致命的ではない。むしろ、この震災での教訓を生かし、最強の免震を生み出す機会としたい。では、最強の免震の条件とは何か。これは協会会員諸兄にもぜひ、ご助言、ご指導を賜りたいことである。筆者としては、安全に可動部が機能すること、上部構造が弾性を維持できること、そしてフェールセーフを備えていることの3つは外せない。最強の免震を実現し、これを地震に打たれ強い社会資本形成の決定打とすべきである。最後にそう主張して、拙稿の結びとする。

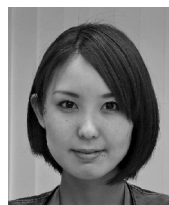
県立淡路病院



山浦 晋弘
安井建築設計事務所



秋田 智
同



池田 直子
同

1 はじめに

計画地は淡路島東海岸沿いのほぼ中央で、大阪湾を臨む洲本港に面した洲本市の中心部である。周辺には市立図書館や文化体育館に隣接しており、敷地の北側には洲本川が流れている。

本計画建物は、兵庫県淡路地域の災害拠点病院として、重要な機能を果たす施設であり、大地震直後から建物機能を損なうことなく使用できる必要があることから、基礎免震構造を採用するものとした。

2 建物概要

所在地：兵庫県洲本市塩屋1丁目
 設計者：株式会社安井建築設計事務所
 施工者：株式会社戸田・村本・前川JV(建築)
 建物用途：病院
 階数：地上8階(地下なし)、塔屋2階
 建築面積：11,165.11m²
 延べ面積：35,333.58m²
 建物高さ：40.80m(軒高32.25m)

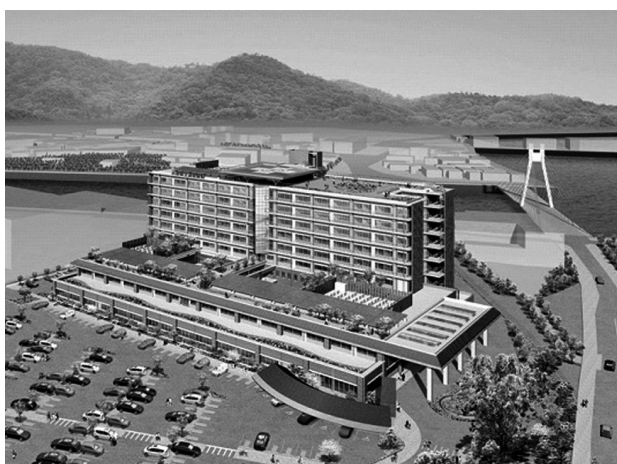


図1 建物パース(鳥瞰)

構造種別：プレキャストプレストレスト

鉄筋コンクリート造(PCaPC造)

一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

架構形式：純ラーメン架構

基礎構造：場所打ち鋼管コンクリート拡底杭

3 構造計画概要

平面計画上のフレキシビリティを確保するため、X方向のスパン長は12.6m、Y方向のスパン長は9.0mと12.0mを基本グリッドとし、検査・診療部門が入る低層部を含めると117.0m×98.7m、3階以上

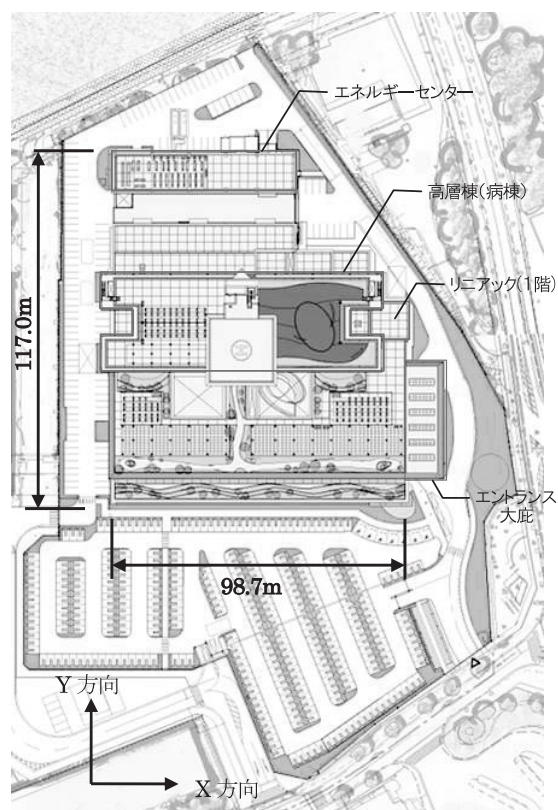


図2 建物配置図

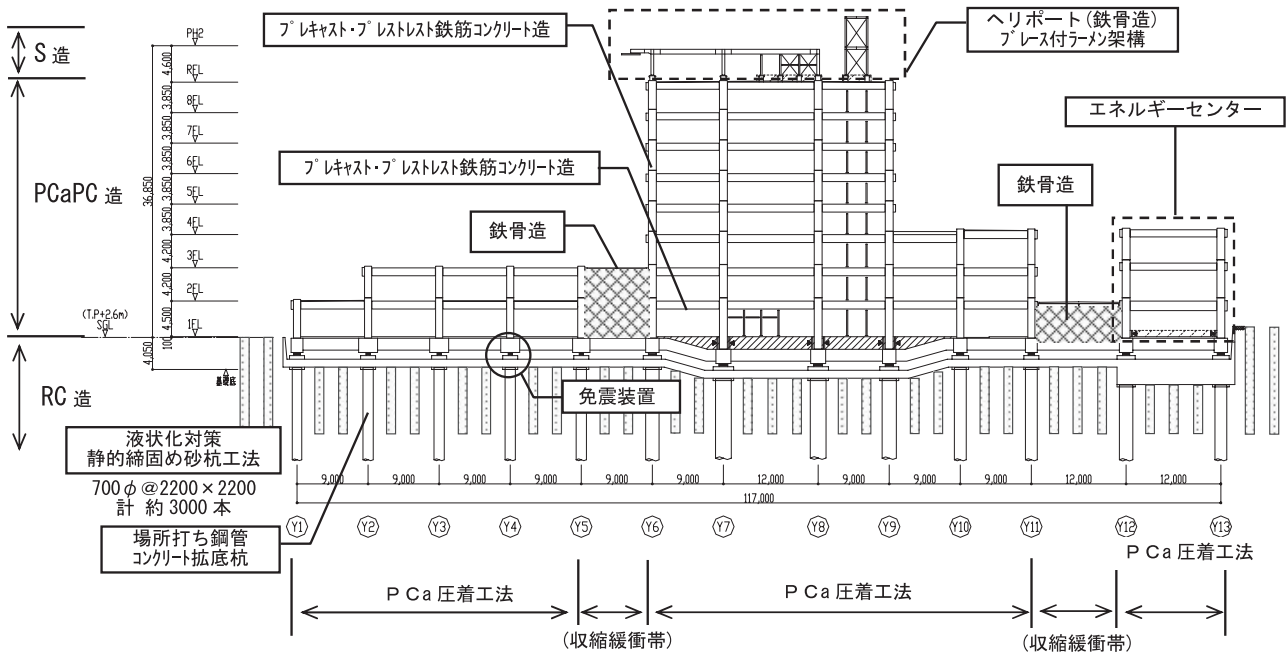


図3 Y方向架構断面図

の病棟部分は30.0m×86.1mの平面形状をしている。構造形式は、上部構造はプレキャストプレストレスト鉄筋コンクリート造(PCaPC造)で、圧着工法により両方向とも純ラーメン架構を構成するものとした。ヘリポートを配置した塔屋階は、鉄骨造によるブレース付ラーメン架構である。

PCa部材の圧着工法を採用するにあたり、各方向とも全長が100m程度と長く、PCケーブルの緊張力による影響(柱はりの強制変形に伴う付加応力)が懸念されるため、X方向では中央スパン(X4～X5間)を挟んだ両側で二次緊張を行い、X4～X5間のPCaブロック梁は後から架設して、三次緊張により全体を一体化するものとした。Y方向については図3に示すとおりY5～Y6通り、Y11～Y12通りの梁を鉄骨造とすることにより、収縮の緩衝帯を設けている。

1階に配置されるリニアック部分は、その用途から1500mm厚のRC壁が必要となること、一般部分とは階高が異なることから、1階床以外は病棟部分とEXP.Jにより構造的に分離し、現場打ちの壁式構造とした。

基礎は独立フーチングの杭基礎とし、敷地内においてSGL(T.P+2.6m)～29.0m～34.0mに分布するN値50以上の砂礫層を支持層とする場所打ち鋼管コンクリート拡底杭としている。なお、本建物に付随するエントランス庇(大庇)支持柱の基礎については、既製コンクリート杭を併用している。

地盤調査結果に基づく液状化判定の結果、現状GL-8.0mより上位の砂層で液状化の可能性があると、

また、護岸近傍では側方流動も考えられることから、免震ピット底(一般部でGL-3.25m)からGL-8.9mまでの約5.7mの範囲を液状化対策としての地盤改良(静的締め固め砂杭工法)を行うものとした。

4 免震システム

免震装置には、環境配慮型の材料といえる錫プラグ入り積層ゴム支承、天然ゴム系積層ゴム支承、および直動転がり支承を採用し、1階柱下と基礎の間に配置した基礎免震構造としている。また、オイルダンパー(最大減衰力1000kN)を各方向に8基ずつ配置し、その減衰効果によりレベル2地震動(極めて稀に発生する地震動)に対して免震層の変形を性能保証変形(600mm)以内に留めるものとしている。

錫プラグ入り積層ゴム支承の降伏せん断耐力は、再現期間50年の風荷重に対して降伏しないように設定し、各種装置は上部構造の重心と免震層の剛心ができる限り一致するような配置計画とした。

積層ゴムのせん断歪レベルに応じた割線剛性による固有周期を表1に示す。大変形時(せん断歪200%時)における建物の1次固有周期はX,Y方向ともに約4.8secである。

5 耐震性能目標と振動モデル

レベル2地震動(極めて稀に発生する地震動)に対する耐震性能目標を表2に示す。

また、表3に示すように地震波応答解析に用いる地震動は告示波3波、模擬地震波2波および観測波3

表1 固有周期(sec)

方向	免震材料の変形	1次	2次	3次
X	0%	0.88	0.36	0.23
	100%	4.43	0.67	0.30
	200%	4.79	0.67	0.30
Y	0%	0.88	0.37	0.24
	100%	4.43	0.68	0.31
	200%	4.79	0.68	0.31

波の計8波とした。

振動系モデルは、各階床位置に集中させた質量を各層のフレーム剛性および免震材料剛性と連結させた等価せん断質点系モデルとし、主要な設備機器が配置されるエネルギーセンター部分の3・4階床は、解析上で病棟部分の主剛床とは異なる副剛床として扱っている。

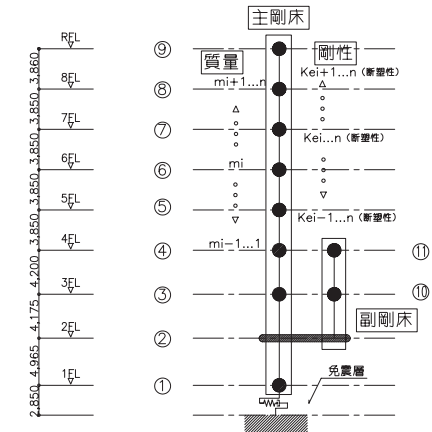
積層ゴム支承の履歴ループは、せん断ひずみによって特性が変化する修正バイリニアモデル、PCaPC部材で構成される上部構造の履歴法則は非線形弾性型を採用している。

表2 耐震性能目標(極めて稀に発生する地震動)

上部構造 (S造, PC造, RC造)		短期許容応力度以内
下部(基礎)構造・杭		短期許容応力度以内
免震クリアランス		600mm以内
免震材料	錫プラグ入り積層ゴム支承	性能保証変形以内 (600mm)
	天然ゴム系積層ゴム支承	圧縮限界強度と水平変形の関係より算定される面圧以内
	直動転がり支承	限界変形以内 (600mm) 短期許容強度(軸力)以内
	オイルダンパー	限界変形 (650mm) 以内 限界速度 (1500mm/sec) 以内

表3 採用地震波と入力レベル

地震動名	最大速度 (cm/s)	最大加速度 (cm/s ²)
EL CENTRO 1940 NS	50	510.8
TAFT 1952 EW	50	496.8
HACHINOHE 1968 NS	50	330.1
告示波1	49.3	346.0
告示波2	66.8	406.4
告示波3	64.0	376.0
模擬波1 紀淡海峡・鳴門海峡 NS	46.8	499.0
模擬波2 南海・東南海 NS	55.4	307.0



※階高は構造階高を示す。

図4 振動解析モデル(質点系)

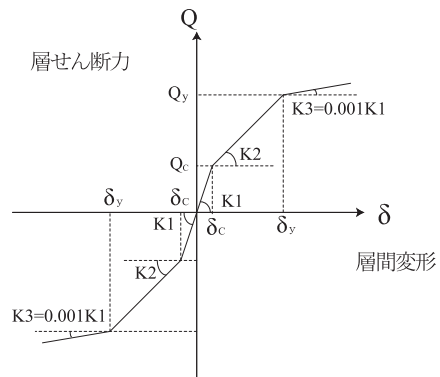


図5 上部構造の履歴法則

6 地震応答解析結果

レベル2の地震動に対する建物Y方向の地震応答解析結果(免震材料のばらつき標準)を図6に示す。免震層の変形は41cm程度であり、耐震性能目標の性能保証変形以内にある。また、最大応答層せん断力係数は、主剛床・副剛床ともに部材の許容応力度設計に用いた層せん断力係数以下となっており、十分な免震効果が発揮されることを確認した。

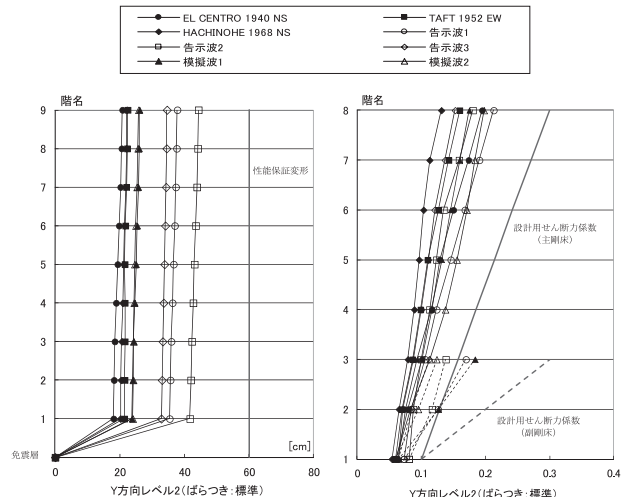


図6 時刻歴地震応答解析結果例(ばらつき標準)

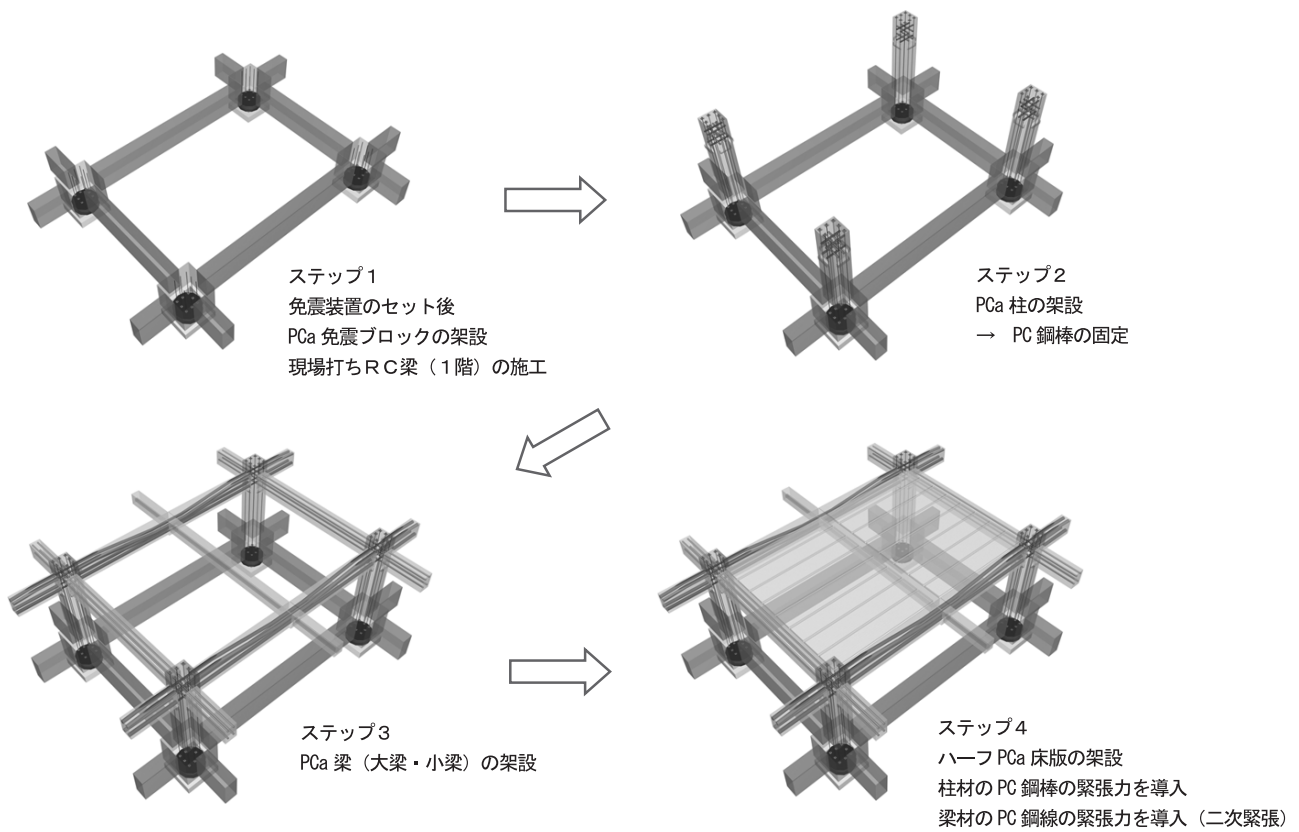


図7 PCa 部材の架設計画ステップ図



工程1 免震ブロック架設



工程2 1階RC梁の配筋



工程3 PCa柱の架設



工程4 PCa梁の架設



工程5 PCa床版の架設



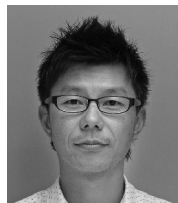
建物全景 (H24年3月撮影)

写真 各工程の施工状況

本病院は平成22年10月に国土交通大臣認定を取得して着工した。現在もPCa部材の建方が進められており、平成24年5月には上棟、12月には竣工を迎える予定である。

最後に、本計画の設計を進めるにあたりご理解とご協力をいただきました兵庫県病院局、住宅建築局営繕課の関係者の皆さまをはじめ、社内外の多くの関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

高知県本庁舎耐震改修



渡邊 朋宏
佐藤総合計画

1 はじめに

近年、付加価値の高い歴史的・文化的施設や庁舎等の防災拠点に、被災(地震等)後もその内外観と機能を維持できるようにとの観点から、免震レトロフィットの改修が増えてきている。

ここでは、近い将来起こると予測される南海トラフの活動地震に備え、来庁者・職員の安全性と災害復旧等の防災活動拠点としての耐震性能向上・機能確保と、長きに渡り親しまれたオリジナルデザイン(内外観)を継承する『保存と再生』を行った、高知県本庁舎の免震レトロフィット改修について紹介する。

2 建物概要

高知城下の史跡地区内にある県庁舎は、大正9(1920)年にレンガ造2階建てで建設され、戦災と地震による被災を経験し、補強しながら使用されていた。だが昭和32(1957)年に当時の建設省の強度診断の結果、「弱体建物」と判断され、昭和37(1962)年に現在の本庁舎に建替えられ約50年経過している(写真1)。



写真1 全景写真(2012年3月撮影)

建物形状としては長辺(X方向)約113m×短辺(Y方向)約30mの長形状で、X方向はスパン4.0m及び5.8mの19スパン、Y方向はスパン7.7mの3スパンで構成される。図1に1階平面図、図2に断面図を示す。

【建築概要】 < >内は補強後を示す

建物名称：高知県本庁舎

建築面積：2,628.65㎡

延床面積：17,987.59㎡

階数：地下1階、地上6階、PH3階、高さ23.7m

構造種別：鉄筋コンクリート造(B1F～3F床：Fc18、3F立上り～：Lc12)＋<基礎免震レトロフィット構法>

構造形式：耐震壁付きラーメン構造

基礎形式：場所打ちコンクリート杭＋<鋼管杭>

3 耐震改修(補強)計画

(1)耐震診断結果

「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(日本建築防災協会)に基づく第2次診断法により求めた耐震診断の結果、構造耐震指標 I_s 値はX方向0.24～0.41、Y方向0.23～0.43を示し、両方向共に全階で「耐震性に疑問あり」と判定された。

よって、地震に対する安全性向上のため耐震補強が必要な建物である。図3に耐震診断結果を示す。

(2)補強計画

本庁舎の補強計画にあたり可能な限り「来庁者及び執務室への支障を極力少なくする、居ながら施工」を基本に、今では手に入れることが困難な県産材料

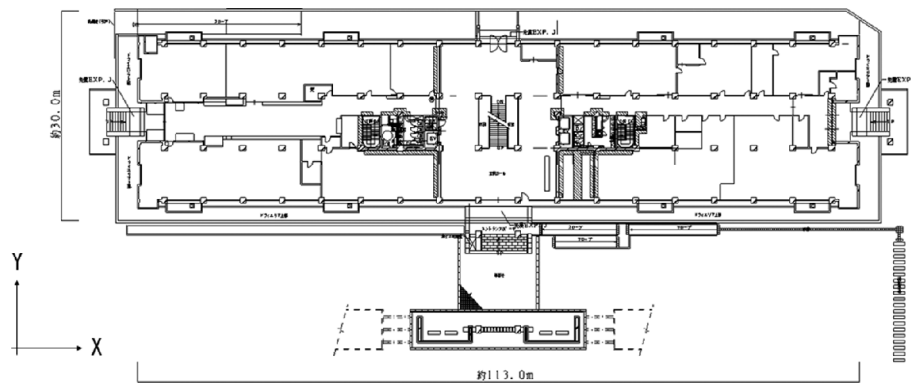


図1 1階平面図

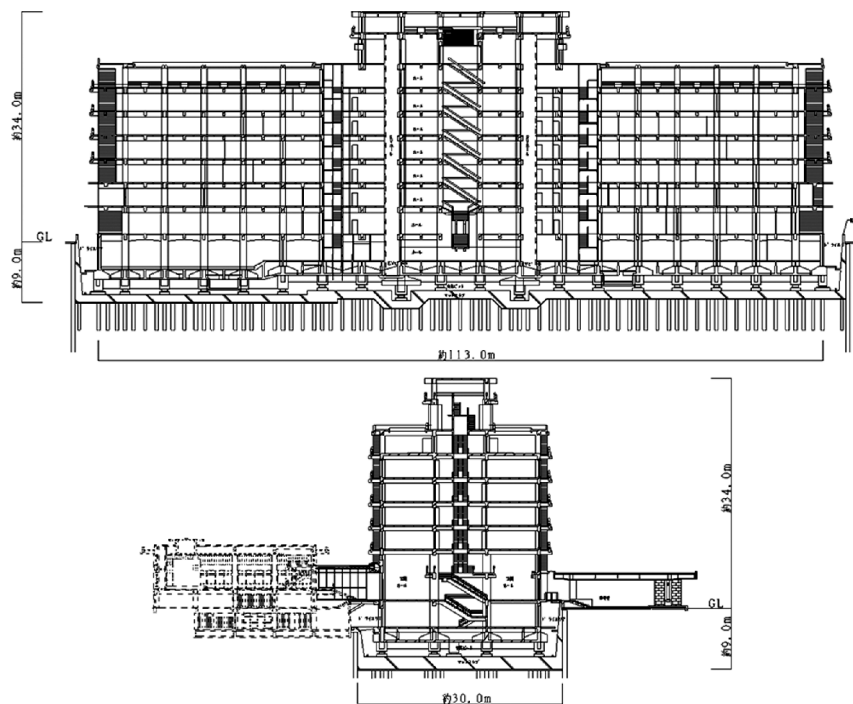


図2 断面図

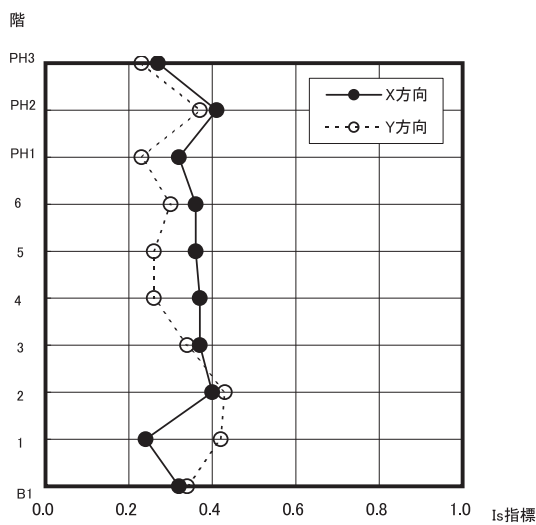


図3 耐震診断結果

もふだんに使われている内外観及び仕様変更を最小限に留め、さらに「大地震後に庁舎としての機能

を維持できる耐震性能を確保する」ことが可能な免震レトロフィット構法を採用した。

4 補強設計

既存躯体のコンクリート強度は、設計値 F_c18 (B1階床～3階床)及び L_c12 (3階立上り～)を採用した。長期的に耐力不足の部材が建物中心のコア廻りに集中していたため、内部部材補強を最小限にできる効率的な補強箇所を建物中央付近に集中させている。外力分布は予備応答解析に基づいた分布系とし、採用した部材補強タイプは、鉄筋コンクリート壁増設、壁増し打ち及び耐震間柱の増設で架構全体の剛性を確保し、免震装置の変形による付加曲げ応力を負担させる基礎梁下端の増し打ち補強と一部許容応力度に満たない柱梁部材は、増し打ち及び炭素繊維巻き立て補強により耐力を向上させた。

補強部材に地震力を極力集中させ既存部材に作用するせん断力を小さく抑えるため、補強部のコンクリート強度はFc24を用いた。

執務室内での躯体補強が必要であったため、低振動低騒音に配慮し新設及び増設壁には「ノンアンカーRC壁接着工法」を採用した。だが、設計値Lc12である3階、4階は、事前躯体調査及び追加調査でもコンクリート圧縮強度が13.5N/mm²を下回る結果であったため、当該低強度コンクリート階は既存躯体をはつり鉄筋を露出させ、新設鉄筋と一体とさせることで対処した。

免震装置には、高減衰積層ゴム支承(800φ:54基、900φ:18基)と弾性すべり支承(700φ:12基)を用い、地震時に免震層に偏心が生じないようにバランス良く配置し、水平方向クリアランスを60cmとした。

基礎形式は、既存杭が補強前の鉛直荷重を負担できると考え、免震レトロフィット化と躯体補強に伴う重量増加分と地震時水平力を新設鋼管杭により負担させた。新設鋼管杭は2種類あり、擁壁直下に配置した全水平力を負担させる先端羽根付回転圧入鋼管杭(NSエコパイル工法)と新設耐圧版等の重量増加分の鉛直荷重を負担する狭小施工が可能な先端羽根付鋼管杭(EAZET工法)とした。

5 時刻歴応答解析

(1)耐震性能目標

設計は、表1に示す設計クライテリアに基づき、地震動の強さレベル1、レベル2及び耐震余裕度検討レベルで時刻歴応答解析を行い、上部構造、免震層、基礎の耐震性能の評価と確認を行った。

表1 設計クライテリア

地震動のレベル		レベル1	レベル2	
上部構造	床加速度	—	300cm/s ² 以内	
	耐力	短期許容応力度以内	短期許容応力度以内	
	層間変形角	1/400以内	1/150以内	
免震層	層間変位	20cm以内	45cm以内	
	せん断歪	100%以内	225%以内	
	面圧	圧縮	圧縮限界強度の1/2以内	圧縮限界強度以内
		引張	引張力を生じない	高減衰ゴム:-1.0N/mm ² 以内 弾性すべり支承:引張力を生じない
基礎	杭	支持力	短期許容支持力以内	短期許容支持力以内
		耐力	短期許容応力度以内	短期許容応力度以内
	耐圧版	耐力	短期許容応力度以内	短期許容応力度以内

(2)振動解析モデル

図4に応答解析モデルを示す。免震層は高減衰積層ゴム支承と弾性すべり支承を並列配置のモデル化とし、免震層以下は固定とした。上部構造は1層1質点の11質点の等価せん断型モデルとしている。

上部構造の復元力特性は、コンクリートのひび割れを考慮した静的弾塑性解析で得られた各階のせん断力-層間変位曲線よりトリリニアモデルを設定した。減衰は内部粘性減衰とし、減衰定数は1次モードに対し2%とした瞬間剛性比例型、免震層は0%とした。

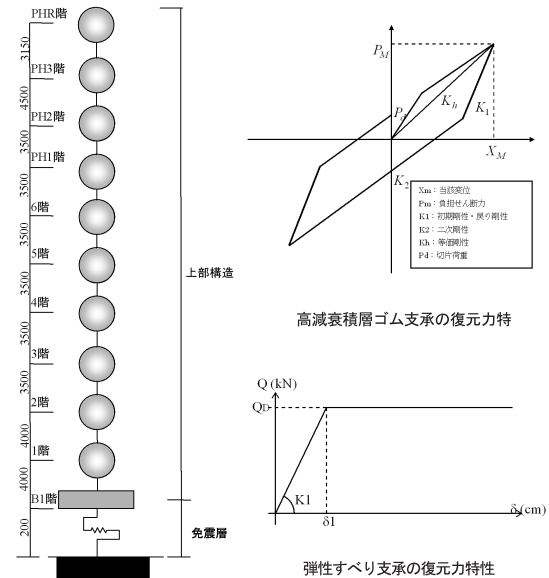


図4 応答解析モデル

表2 採用地震波(代表箇所抜粋)

地震波	レベル1		レベル2	
	最大加速度 (cm/s ²)	最大速度 (cm/s)	最大加速度 (cm/s ²)	最大速度 (cm/s)
EL CENTRO 1940 NS	256	25	511	50
TAFT 1952 EW	248	25	497	50
HACHINOHE 1968 NS	165	25	330	50
告示波①(神戸位相)	125	15	497	80
告示波②(八戸位相)	111	15	458	62
告示波③(乱数位相)	110	11	402	59
サイト波①(EW位相)	—	—	378	41
サイト波②(NS位相)	—	—	354	48

(3)入力地震動

本庁舎は長方形で細長く地震動が斜め方向から伝わってくる場合の位相差の影響があり、また工学的基盤の急激な傾斜(約-5m~-25m程度)による影響も受ける。よって傾斜地盤特性の評価等を考慮し作成した模擬地震波は、6箇所について告示波3波とサイト波2波の計30波にも及んだ。表2に代表的な採用地震波を示す。

(4)応答解析結果

レベル2地震時における時刻歴応答解析結果を表3に示す。免震層の最大応答変位は、X方向38.42cm、Y方向38.51cm、地上階の最大層間変形角はX方向1/3226(2階)、Y方向1/232(PH2階)となっている。

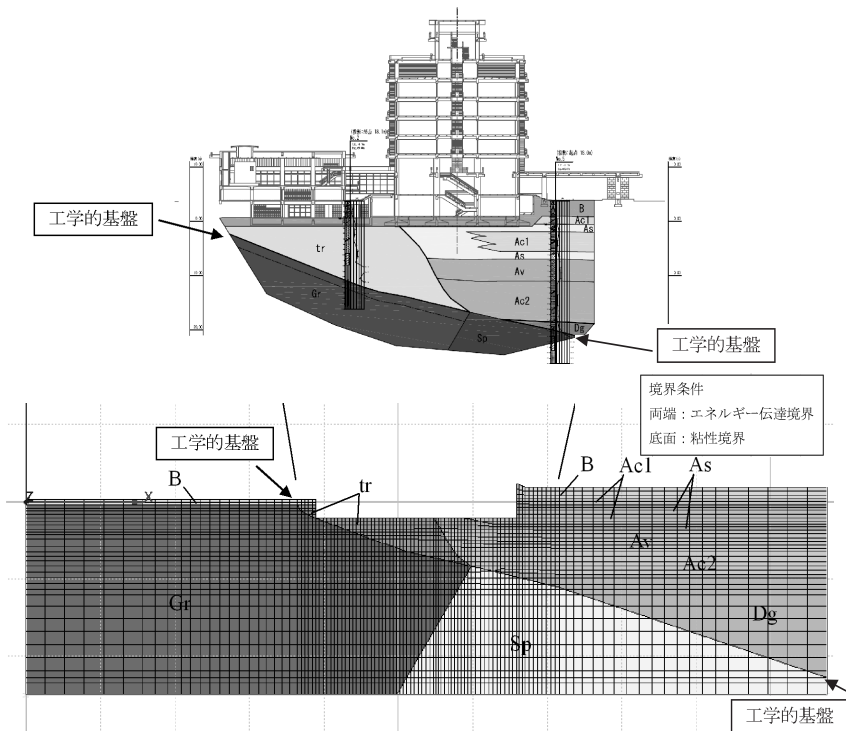


図5 2次元地盤モデル

また執務室の床加速度は最大で116.6cm/s² (gal)である。さらに工学的基盤の傾斜および位相差入力の影響を考慮した2次元地盤モデル(図5)により算出した地震動を用い検討した結果においても、時刻歴変位の差から位相差入力による影響は小さく、応答解析の結果も全て、設計クライテリアを満足する結果を得た。

表3 時刻歴応答解析結果(レベル)

	X方向	Y方向
執務室(6階)の床加速度(cm/s ²)	93.1	116.6
上部構造のベースシア係数	0.079	0.081
免震層の層間変位(cm)	38.42	38.51
地上階の最大層間変形角	1/3226	1/232

6 補強工事

図6に概略の施工ステップを示す。

建物を使用しながらの免震レトロフィットは、新設とは異なり、既存杭と柱で建物重量を支えている

状態に対し、掘削に伴う仮受け鋼管杭への荷重移行と既存RC杭の切断及び免震部材の安全かつ確実な据え付けと段階的な荷重移行が難関で、微細な軸力変動や変形差等を見逃すことは建物の耐震性と耐久性に直結するため、軸力と変位については自動計測による24時間監視を行った。また耐震建物から免震化による補強では既存基礎下を掘削する際に一時既存杭が露出状態になるため、構造的不安定時の安全性確保も重要な課題である。荷重移行中の地震対策として、建物外周部の山留と建物間の切梁を地震時の拘束材として兼用させた。

謝辞

平成21年(2009)年12月に着工した改修補強工事は平成24年(2012)年3月、無事に竣工を迎えることができた。設計から監理を通し、県民のご理解と発注者並びに工事関係者には多大なご協力を頂きました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

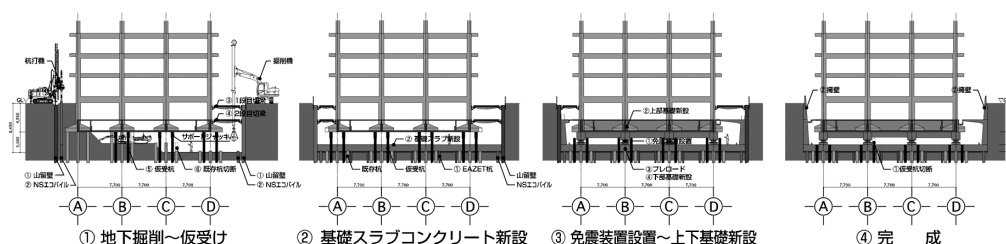


図6 施工ステップ

つくば市庁舎



藤波 健剛
前田建設工業



猿田 正明
清水建設



浜辺 千佐子
竹中工務店

1 はじめに

今回は、つくば市に建設された、つくば市庁舎を訪問いたしました。本施設は、つくばエクスプレスの研究学園駅から西に400m程の所に位置しています。昭和62年11月30日につくば市が誕生した時以来、業務は合併する前の旧町村の7つの庁舎で分担していましたが、利用者の利便性向上、行政組織の一体化の為、つくば市荻間に新庁舎として建設されました。平成18年4月に現在の庁舎建設基本計画が策定され、同年8月には基本設計業者選定プロポーザルにより山下設計が選定されました。平成20年4月から杭工事がスタートし、平成22年3月に丸2年の工期を経て竣工しています。

あいにくの曇り空で、肌寒い気候の中でしたが、つくば市総務部管財課の篠塚様、山下設計の塩手様、鷹箸様、清水建設の高橋(哲)様、岸本様、高橋(豪)様に案内していただきました。



写真1 建物全景

が挙げられています。

- ①将来的な組織変更にも柔軟に対応できるようにスケルトン・インフィル型の計画とする。
- ②つくばの気候風土を踏まえ、自然通風や自然採光を取り入れて環境負荷の低減に努める。
- ③ワンストップサービスとユニバーサルデザインにより、利用しやすい窓口空間を目指す。
- ④防災拠点施設として、その機能を発揮できるものとする。
- ⑤敷地内に緑地を確保しながら、つくばエクスプレスの車窓からの風景などを意識した景観とする。

これらの方針のもと、施設配置計画は、研究学園駅や近隣商業地区など東側からの人の流れを基本とし、東西に貫く450mに及ぶ「並木の街路」を設け、つくばエクスプレスからの印象的な車窓風景を作るものとなりました(図1)。

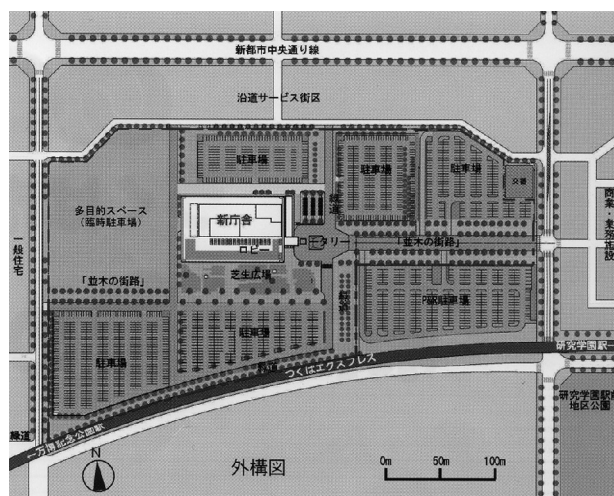


図1 建物1階平面

2 建物概要

新庁舎の計画の基本方針としては、以下の5項目

また、本施設は環境共生型建築として、太陽光発

電や自然採光・通風など自然エネルギーを利用し、「先進的エコ庁舎」を目指しています(図2)。年間を通じて温度が安定しているアースピット(免震層)に屋外の空気取り入れ口から外気を取り込み、庁舎内へ循環させることで、空調負荷の低減を図っています。

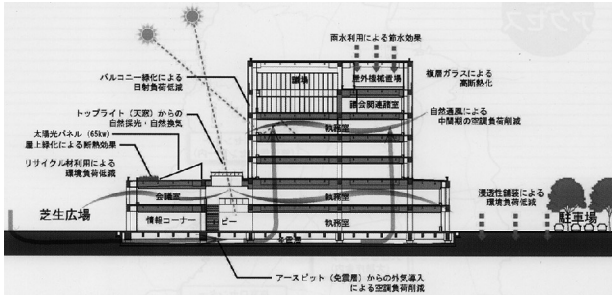


図2 施設断面

建物内部においては、1、2階が一体となったエントランスロビーは見通しの良い吹き抜けを介し、窓口部門や会議室を集中させることで市民の利便性を高め、ワンストップサービスの導入が図られています。3～5階の執務フロアは、東西両サイドコアと大スパン構造による約1,200m²の大空間を実現しています。

本建物の概要を以下に示します。

- 建築場所：つくば市苜間2530番地2
- 用途：市庁舎
- 敷地面積：約90,000m²
- 建築面積：6,192m²
- 延床面積：21,004m²
- 階数：地上7階
- 建物高さ：33.2m
- 構造形式：鉄筋コンクリート造(PC造)、一部鉄骨造
- 基礎形式：杭基礎
- 設計者：山下設計
- 施工者：清水建設

3 構造計画概要

用途が庁舎であり、大地震時等の災害時に防災拠点となることから、極めて稀に発生する地震動に対しても建物の安全性を保持し、損傷を最小限に抑えることを目的とし、免震構造を採用しています。

図4に建物一般部の軸組を示します。標準的な7.2mスパンにおいてはPCaPC造・圧着工法を採用し、事務室等の大スパン部分の大梁は鉄骨造として

います。鉄骨大梁端部は、柱端に設けた長さ1.6mのプレキャストコンクリート大梁にのみ込ませるとともにPC鋼材で緊張しています。

上部構造の剛性と強度を確保し、鉄骨大梁の曲げモーメントを過大にしないために、建物両端のコア部分には現場打ちのプレストレストコンクリートブレースを設けています(図5)。

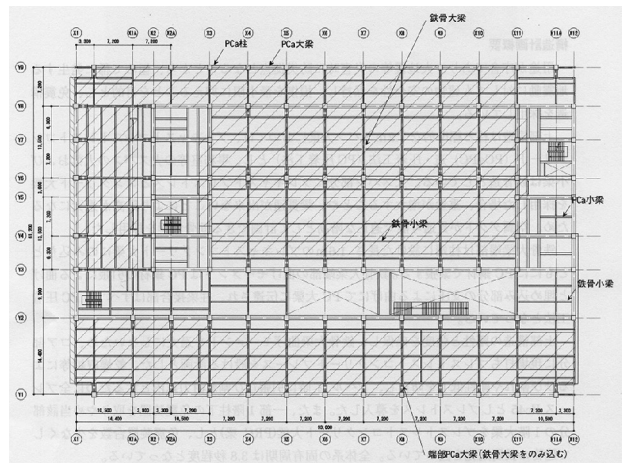


図3 2階伏図

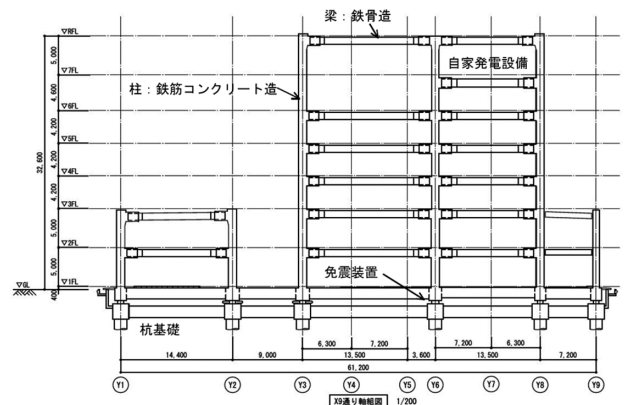


図4 建物軸組(一般部)

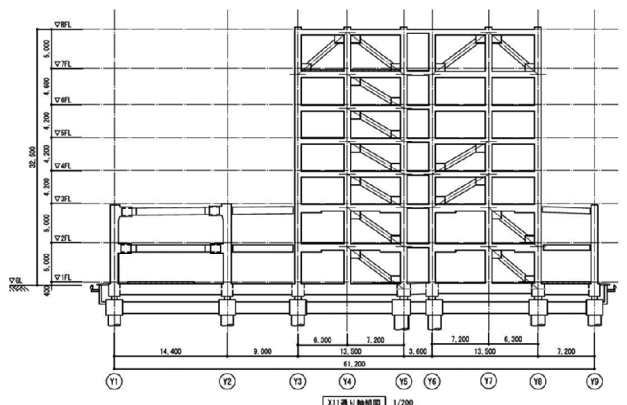


図5 建物軸組(コア部)

さらに、ブレースの取り付け1階大梁をプレストレストコンクリート大梁(PRC梁)とすることで、柱下部の免震装置をとりやめて免震装置台数を低減し、建物の長周期化を図っています。

基礎は、GL-48m以深の砂礫層を支持層とする杭基礎(場所打ちコンクリート杭・アースドリル拡底工法)としています。

免震層は、1階の梁下に免震層を設けた基礎免震としています。免震部材の配置を図6に示します。天然ゴム系積層ゴム20基(内9基は積層ゴム一体型U型ダンパー)と鉛プラグ入り積層ゴム45基の計65基の積層ゴムが使用されています。

重量偏心の影響を小さくするために、鉛プラグ入り積層ゴムを外周部に配置するなどの工夫を行っています。

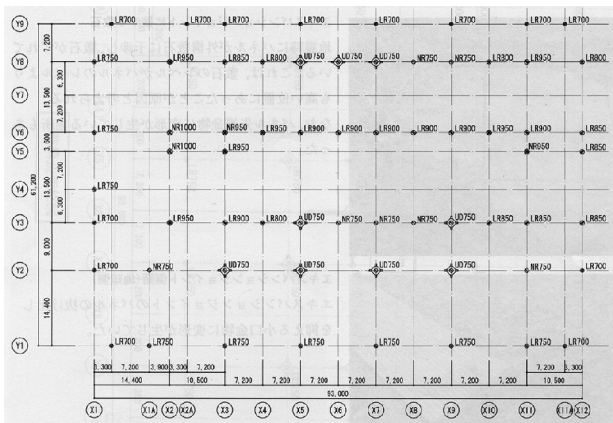


図6 免震部材配置図

また、本施設は竣工1年後に平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を経験しました。本施設では独立行政法人建築研究所が地震観測を行っており、地震時の記録が観測されました。これによれば、免震層下部(基礎上)の水平最大加速度が 327cm/s^2 (NS方向)であったものが、免震層上部の1階では 92cm/s^2 (NS方向)、6階床上で 126cm/s^2 (NS方向)と低減し、免震効果が発揮されたことがわかります。

観測記録をもとに検討を行った結果、最大で10cm程度EW方向(建物長手方向)に変位したことがわかりました。また、地震記録の疑似速度応答スペクトルを確認したところ、設計建物周期において、設計時に設定した極めて稀の地震動とほぼ同程度の大きさの地震動であったことがわかりました。

また、地震後に行った調査において、積層ゴム脇

に設置された下げ振りの位置の変化から、残留変形は小さかった(2.5mm以下)こと、U型ダンパーの塗装に一部浮き、剥がれが見られ、取り付けボルトにも一部ゆるみが見られるところの確認されました。これらはすべて補修が完了しています。

なお、地震記録の詳細に関しては、建築研究所のホームページをご覧ください

<http://smo.kenken.go.jp/ja/smreport/201103111446/>

4 見学記

説明を受けた後に、庁舎内部を見学させていただきました。ここでは、写真を用いてその様子を説明します。

写真2は免震層の様子です。積層ゴム一体型U型ダンパーが設置されている様子です。



写真2 免震層の状況

写真3はアースピット(免震層)への空気取り入れ用のタワーです。外気をアースピットへ取り込むために、ある程度洞道の距離を取りたいと考え、建物からやや離れた位置に設置しました。建物の東西2



写真3 空気取り入れ用タワー

箇所を設置されています。

写真4は上記空気取り入れ用タワー内の様子です。空気を取り入れるために、グレーチング仕上げとなっています。なお、アースピットへはここから出入りします。また、アースピットへ取り入れた空気を施設内に循環させるために、断熱、消臭、除湿を目的として、アースピット天井部には間伐材を貼り付けています。



写真4 空気取り入れ口の状況

写真5は3階屋上に設置された太陽光発電システムおよび屋上緑化の花壇の様子です。後方建物バルコニー手すり部にも緑化がなされています。太陽光発電の発電容量は65kwであり、施設で利用する電力の2~3%を賄っています。



写真5 屋上緑化、太陽光発電施設

写真6は鉄骨大梁をのみ込む端部PCa大梁の状況です。端部PCa大梁に見られる丸い部分はPC鋼材で緊張した跡です。PCa柱にPCa大梁を挟んで鉄骨大梁を取り付ける構造になります。

仕口部分の力の流れを検討し、PCa大梁と鉄骨大

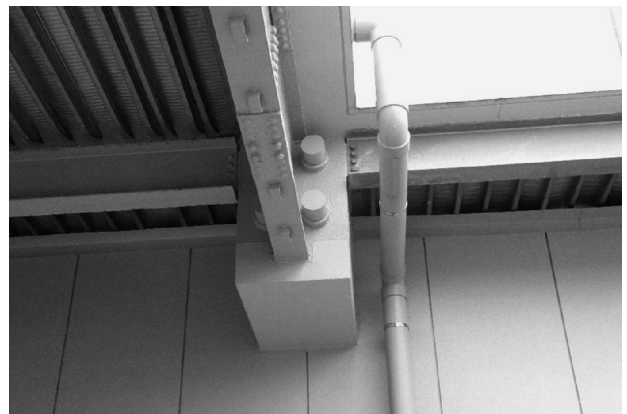


写真6 端部PCa大梁の状況

梁を繋ぐ境界プレートの厚さは32mmとしました。

建物1階には、免震建物であることを表示する表示板が設置されていました(写真7)。右下にはJSSI(日本免震構造協会)名が入っていました。

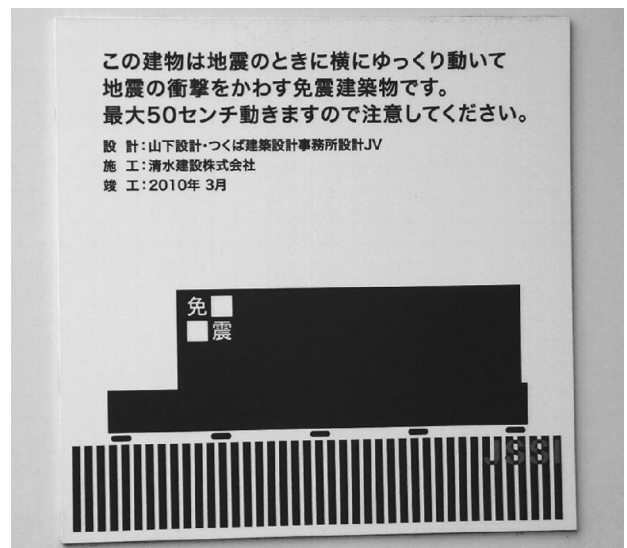


写真7 免震表示板

写真8は1階ロビーの吹き抜け部の様子です。吹き抜け空間が大きく取られ、屋上トップライトからの外光を積極的に取り入れ、開放的な明るい空間が演出されています。

5 訪問談義

訪問見学中の質疑や談義の一部を以下に示します。

Q: 東北地方太平洋沖地震を施設内で体感されたとのことですが、どのように感じられましたか。

A: この地域の震度は6強でした。地震発生の際には揺れを強く感じ、机につかまってしまいました



写真8 1階ロビー

た。しかし建物に被害は全くなく、固定していなかったロッカーなどの家具も倒れませんでした。このため、地震発生30分後までに速やかに災害対策本部の立ち上げが完了しました。改めて免震にしてよかったと強く感じました。

Q：建物が免震となった経緯を教えてください。

A：防災拠点として地震に強い施設であることを重視しており、免震に対しても調査は行っていました。プロポーザルの際に免震建物という提案があり、これに対してスムーズに免震化が決まりました。

Q：市のホームページで本施設の情報公開されています。公開される情報としては多い方だと思いますが、どのような経緯で公開されたのですか。

A：積極的に市民に情報を公開するという市長の考えがあり、積極的に情報の公開を行っています。

Q：周辺地域からの視察などは多いですか。

A：震災以降、茨城県内や県外からの視察申込みが多くなっています。市長クラスの視察も行われ、今回の震災を受けて免震の有用性を確認されているようです。

6 おわりに

つくば市の新しい顔として建設された新市庁舎にふさわしい建物でした。つくばエクスプレス研究学園駅から続く並木の街路はまさに人の流れを造るにふさわしい顔を持っていました。エントランスロビーは見通しの良い吹き抜け空間が広がり、ワンストップサービスを導入したまさに利用しやすい窓口空間が形成されていました。防災拠点としても機能する免震の建物が、地域の基幹施設としての重要な役割を担っていることが体感できました。

最後になりましたが、お忙しい中、貴重なお話をお聞かせ頂きました関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。



写真9 集合写真

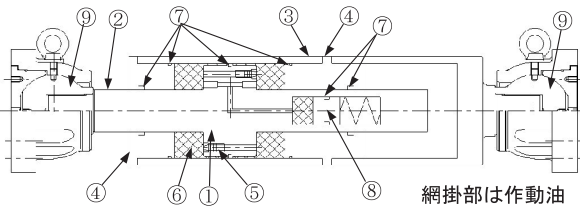
KYD制振オイルダンパー

構造形式：水平型、ブレース型

問合先
株式会社川金コアテック 建築機材部
TEL:048-259-1161 FAX:048-259-1141
製造元 光陽精機株式会社
(川金ホールディングスグループ)

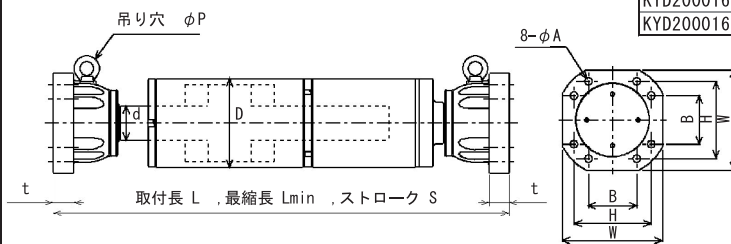
1. 構造及び材料構成

KYD オイルダンパーは、機能部品をすべて内蔵しており、外周に突起物のないシンプルな構造です。揺れが起こると、振動により発生する外力がロッドを伸縮させ、油室のオイルを圧縮します。この時、圧縮されたオイルがリリーフバルブを通過することにより減衰力が発生します。減衰力は速度に比例し、速度が大きくなるほど増加します（速度比例型）。また、振動エネルギーは、オイルがリリーフバルブを通過するときに発生する熱エネルギーに変換・吸収されます。



符号	機能	名称	材質
①	減衰抵抗力の伝達	ピストン	構造用炭素鋼鋼材 高強度鋼材
		ピストンロッド	構造用炭素鋼鋼材 高強度鋼材
④	圧力室	シリンダ	構造用炭素鋼鋼管
		ロッドカバー	構造用炭素鋼鋼材
⑤	減衰力発生機構	リリーフバルブ	構造用炭素鋼鋼材
⑥	発生機構	作動油	鉱物油
⑦	気密機構	パッキン	フッソゴム 及びPTFE
⑧	作動油量の変動補償	アキュムピストン	ステンレス鋼
⑨	構造体との連結	ボール継手	構造用炭素鋼鋼材

2. 寸法及び形状



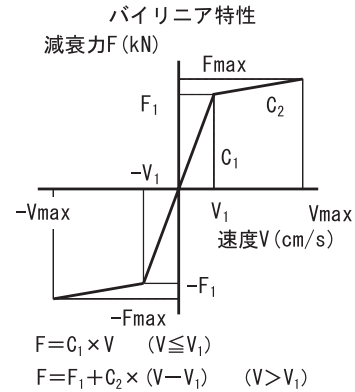
型式	KYD500160	KYD1000160	KYD1500160	KYD2000160
取付寸法 L	1200	1400	1590	1670
最縮長 Lmin	1120	1320	1510	1590
ストローク S	160	160	160	160
シリンダ外径 phi d	190.7	273.1	310	355.6
ピストンロッド外径 phi d	70	110	120	150
ボルト座面高さ t	40.5	62.5	70.5	70.5
取付穴径 phi A	18	26	29	29
取付穴位置	B	100	170	170
	H	195	270	270
	W	245	340	350
吊り穴 phi P	30	40	50	50

3. 鋼材の防錆処理

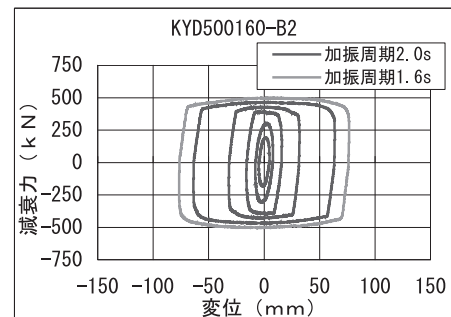
部位	内容	基準膜厚
ロッドメッキ部	硬質クロームメッキ	30 μm以上×2層
外周塗装部	一般用さび止めペイント	30 μm以上
	シアト鉛さび止めペイント	30 μm以上
	鉛・クロムフリーさび止めペイント	30 μm以上
	構造用物さび止めペイント	30 μm以上
	有機ゾウリツブライマー	30 μm以上
	水系さび止めペイント	30 μm以上

表記中のいずれかを使用する。

4. 基本特性



型式	最大減衰力 Fmax (kN)	限界速度 Vmax (cm/sec)	ストローク (mm)	一次減衰係数 C1 (kN·s/cm)	二次減衰係数 C2 (kN·s/cm)	リリーフ減衰力 F1 (kN)	リリーフ速度 V1 (cm/s)
KYD500160-B1	500	30	160	187.5	3.6	400	2.1
KYD500160-B2				125	3.7		3.2
KYD1000160-B1	1000			375	7.2	800	2.1
KYD1000160-B2				250	7.5		3.2
KYD1500160-B1	1500			562.5	10.8	1200	2.1
KYD1500160-B2				375	11.2		3.2
KYD2000160-B1	2000			750	14.4	1600	2.1
KYD2000160-B2				500	14.9		3.2



KYD オイルダンパーの履歴曲線

5. 製品コード

リリーフ速度識別
最大減衰力 2.1cm/s 仕様

型式：KYD 500 160 - B1

呼称 ストローク

ニュージーランド カンタベリー地震 (2011.2.22) による免震建物の調査報告



河内山 修
オイレス工業

1 はじめに

東日本大震災のおよそ2週間前の2011年2月22日12時50分頃、ニュージーランド南島カンタベリー地方のLyttletonにおいてマグニチュード6.3の地震が発生した。この震源の北西約8kmに位置するクライストチャーチ市内では震度6が観測され、クライストチャーチ市街地が震源に近かったことから被害が大きかった。そのクライストチャーチ市街地にある南島唯一の免震建物：“Christchurch Women’s Hospital”について、2011年2月末より震災後の現地調査を行ったのでその状況を報告する。



図1 震源とWomen’s Hospital の位置関係

2 市内の建物状況

市内の煉瓦造りの建物や教会、オフィスビルが崩壊し死者が多数あった。また海岸に近いエリアのため広範囲にわたって液状化が生じ、断水となり震災後の生活に支障がでていた。特に建物被害の大きかったクライストチャーチ市街地は立ち入り規制区域となり、被害調査はできなかったが、その被害状況はTVの報道などにて知るところである。その規制区域境界のすぐ隣に免震建物(Christchurch Women’s Hospital)が位置しており、地震後の立ち入り調査ができたので、その調査結果を次に示す。



図3 建物被害

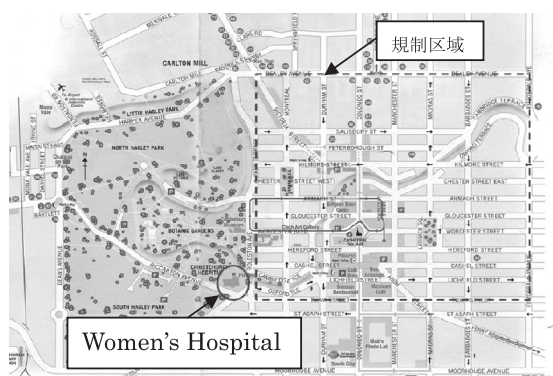


図2 市街地とWomen’s Hospitalの位置関係



図4 規制区域

3 Christchurch Women's Hospitalの建物概要

対象建物は2005年に竣工した鉄筋コンクリート造9階建て、建物高さ33mの病院建物である。免震層は、基礎免震で免震装置には、角型タイプの鉛プラグ入り積層ゴム：LRB：41基、すべり支承：9基、ポットベアリング：4基が採用されている。表2に積層ゴムの概要を示す。



図5 Christchurch Women's Hospital (竣工後)

表1 建物概要

名称	Christchurch Women's hospital
建設地	Christchurch New Zealand
設計	Holmes Consulting Group Ltd
用途	病院
階数	9階
建築面積	76×32m
延床面積	19,000m ²
建物高さ	33m
構造	鉄筋コンクリート造 (一部プレキャスト)
免震装置	LRB800 41基 ポットベアリング 4基 すべり支承 9基

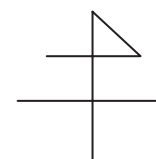
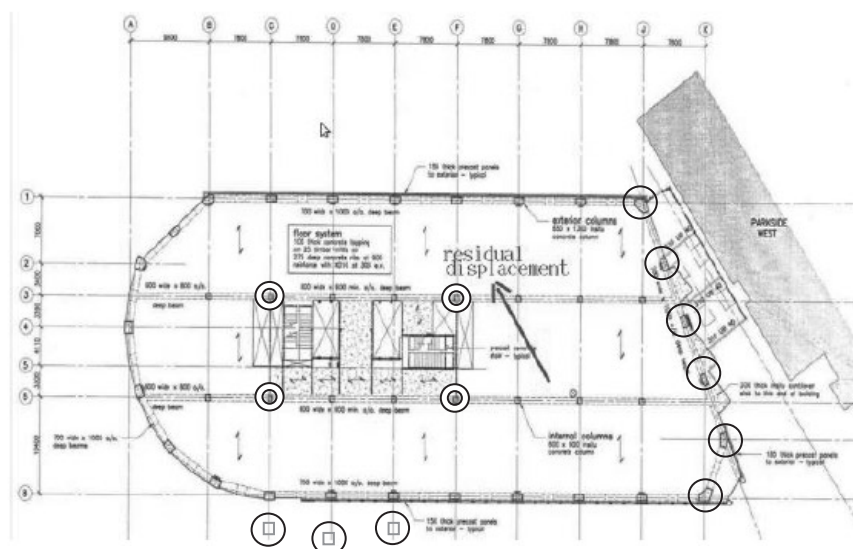
4 地震概要又は地震観測記録

同じ敷地内にてChristchurch Women's Hospitalに隣接するChristchurch Hospitalにて計測された地震波観測記録を図8に示す。

表2 積層ゴム概要

外形	800×800
鉛プラグ径	φ120×4
ゴム種	G4
ゴム層	11 mm×15 層=165 mm
内部鋼板	3.1 mm×14 枚
装置高さ	346.4 mm
フランジ外形	1000×1000

免震層平面図 (配置図) 1)



- : LRB
- ⊖ : すべり支承
- ⊙ : ホットベアリング

図6 Christchurch Women's hospital (免震層平面図) 1)

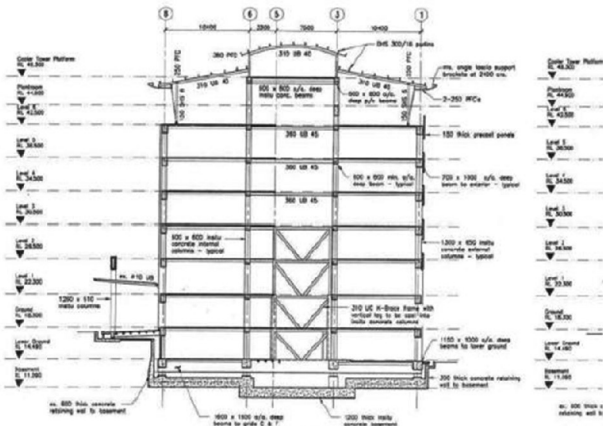


図7 Christchurch Women's hospital (建物断面図)¹⁾

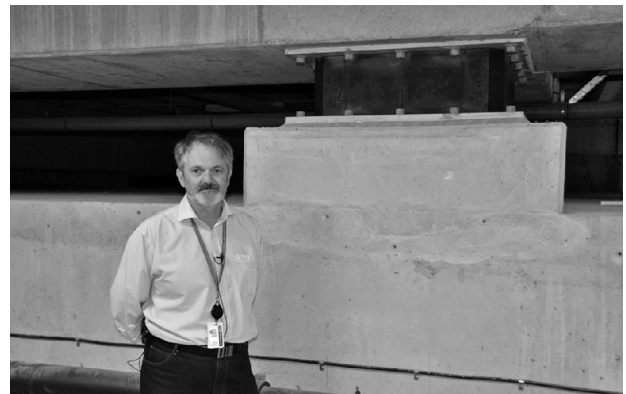
＜免震層の状態＞

免震層の調査にあたって、Women's Hospitalの建物管理を行っているWayne Lawson氏に案内をしてもらった。免震層の変形について、この建物にはオービットは設置されていなかったが、すべり支承の摺動跡より東西方向に約5cm変形したと推定される。免震層のすべてのLRBは全く損傷がなく(図10)、また免震層の付帯設備についても全く損傷がないことを確認した。また、スライド式エキスパンションについては、コンクリート継ぎ目部に軽微なコンクリート片があり動いた跡が見られたものの(図11)、ハネ出し式のエキスパンションについては何の損傷

5 免震効果 居住者のコメント

＜地震時の病院の状況＞

地震発生後8日後に現地入りし、病院スタッフから地震時の病院内の状況について聞くことができた。スタッフによると建物はゆっくり揺れたが、転倒したものはなく、また、騒ぎになることもなく、通常通りの業務を行えたとのことだった。この病院は、地震直後から被災者を受け入れ病院として機能をはたし、免震建物の安全性が実証された。



(Wayne Lawson氏)



図9 地震後の病院外観



図10 地震後の免震装置 (LRB)

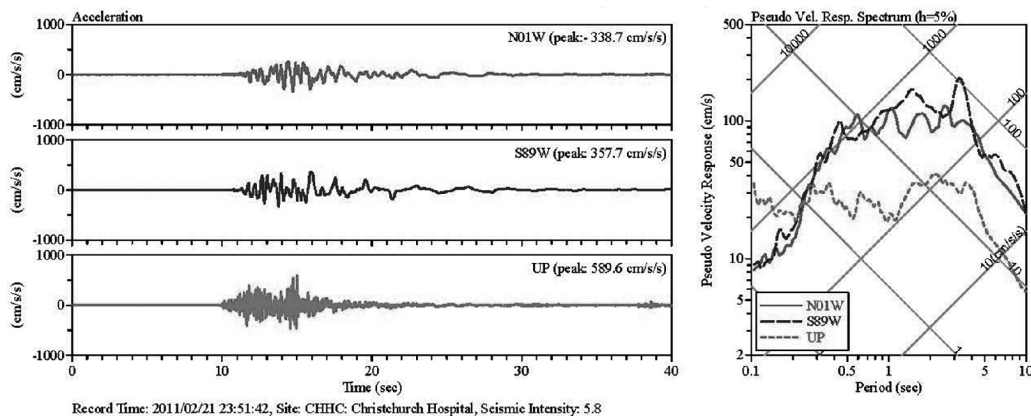


図8 CHHC : Christchurch Hospital (震央距離8km)

も見られなかった(図12)。



図11 地震後のエキスパンジョン (スライド式)

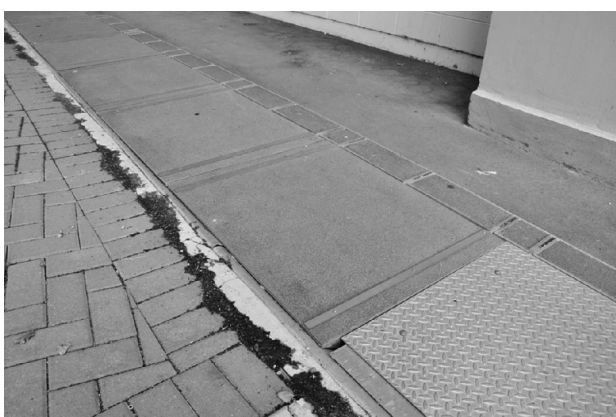


図12 地震後のエキスパンジョン (ハネ出し式)

地震による病院と免震層の状態について次にまとめる。

- 免震層が東西方向に約5cm変形したと推定される。
- すべてのLRBに損傷なし。
- すべてのすべり支承に損傷なし。
- ポットベアリングに損傷なし。
- 免震層内の配管、配線に損傷なし。

- 積層ゴムの残留変位は見た目ではわからない程度であった。
- 病院内部の機能に問題なし。
- 病院機能としては、地震時、地震後も通常通りのままで全く問題なかった。

5 おわりに

現地のエンジニアによると、クライストチャーチ近辺は判明している断層から約100km離れていることから、大地震が起こるような活断層が知られていなかったようである。ニュージーランド北島には免震・制震建物が多くあるのに対し、南島にはこのWomen's Hospitalが唯一の免震建物になる。市街地での被害に対して、地震直後から被災者を受け入れ病院として機能をはたしたことは、日本のみならず免震構造の有効性が示されたといえる。今回の調査結果により、今後の免震構造の普及に役立つことを期待する。

6 謝辞

今回の調査にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様に感謝いたします。また本調査にあたり、現地にてCDHBのWayne氏、および京都大学防災研究所の高橋良和氏にご協力いただきました。ここに記して感謝の意を表します。

参考文献

- 1) Henri P. Gavin, Grant Wilkinson, PRELIMINARY OBSERVATION OF THE EFFECTS OF THE 2010 DAFIELD EARTHQUAKE ON THE BASEISOLATED CHRISTCHURCH WOMEN'S HOSPITAL, BULLETIN OF THE NEW ZEALAND SOCIETY FOR EARTHQUAKE ENGINEERING, Vol.43 No.4, Dec. 2010

応答制御建築物調査委員会活動報告



応答制御建築物調査委員会
委員長 深澤義和

はじめに

東北太平洋沖地震に対する免震・制振建築物の挙動について調査し、今後の応答制御建築物の進展に寄与することを目的に調査委員会が組織された。委員の精力的な活動および会員各社の協力により、調査・検討がすすめられた。得られた成果については2011年9月1日の免震フォーラムで中間報告をし、2012年1月26日にはその後の検討を含めて報告した。

調査委員会は2013年3月まで活動をすすめる。ここに、1年間の活動結果の概要を報告すると同時に、今後の活動方針について報告する。

1 調査結果の要点（2012年1月26日報告の要旨）

会員各社の協力により集まったアンケートの結果および提供いただいた観測記録を分析した結果、今回の地震に対する免震・制振建築物の挙動および課題は以下のようにまとめられる。

- ① 免震建築物は期待された免震効果を発揮した
327件の免震建築物の調査結果が得られた。すべての物件について、地震後の点検の結果、免震部は適切に可動し、上部構造の揺れを低減していることが確認された。このことは、けがき針によって記録された変位軌跡によっても確認された。さらに、免震建築物に設置されていた地震計の観測記録の分析結果からも確認された。
- ② エキスパンション部の障害が多く発生している
アンケートの結果、30%程度の免震建築物のエキスパンション部に障害が発生している。障害の程度は、軽いものから重いものまで幅広いが、多くはその部分が可動することを十分に認識しないまま設計、施工されたことによると推測される。
- ③ 鉛ダンパーにひび割れが発生している
ひび割れが発生している鉛ダンパーが少なからず発見された。メーカーからは、小振幅でも多数回のくり返し変形を受けるとひび割れが発生する、と説明されているが、ひび割れ後の性能に支障がないのかが、とりあえずの課題である。ひび割れ

た鉛ダンパーを試験体としてくり返し試験を実施し、ひび割れの深さと残余の性能を明らかにした。

- ④ 鋼材ダンパーのボルトのゆるみ、塗装のはがれ等が発生している

鋼材ダンパーでは、取り付け部のボルトのゆるみ、塗装のはがれなどが発生したものがある。これらについては、改善する方法についてメーカーから提案された。また、残留変形がみられたものについては、残余の性能を推定するための方法について提案された。

- ⑤ 免震建築物のその他の障害

その他の障害として、装置取り付け部の鉄筋コンクリートが欠けたものがあった。細部の設計または施工に不備があったと判断される。

これは障害ではないが、明らかに津波を受けたとみられる免震建築物の報告があった。津波の波力、浮力による被害はみられないが、潮水に浸かったことが原因と推定されるさびがみられた。

- ⑥ 制振建築物の挙動

130件の制振建築物の調査結果が得られた。報告されたすべての制振建築物に異常はなかった。地震計が設置されている制振建築物の観測記録を分析した結果、明らかに制振効果を発揮していると確認されたものがあった。それらは、観測記録から減衰効果を同定し、それがなかった場合のシミュレーションと比較することによって判定される。

2 2012年度の活動方針

2012年度は、2011年度の調査結果から明らかになった課題の追求、また残された検討を技術委員会、維持管理委員会などと連携してすすめる。検討課題は以下のとおりである。

- ① 免震建築物・制振建築物のモニタリング手法の検討

今回の調査では、免震建築物・制振建築物に設置されていた地震計の観測記録を分析することで大きな成果がえられた。一方で、記録を収集する段階は容易ではなかった。それは、どの建物に地震

計が設置されているかが不明であり、記録が得られているかどうかはわからない、得られた記録を公開していいか難しい、などの課題があったからである。

そこで、免震構造地震応答評価部会では、今後のために、免震建築物・制振建築物の挙動を把握する適切なシステムおよびそのシステムを展開し、運営する体制等のありかたなどを検討する。

- ② エキспанション部の設計・施工ガイドライン
エキспанション部の障害については、多数の事例が収集、整理され、その物理的な原因についてもまとまっている。

今後、こうした障害の発生をなくすために、エキспанション部の設計・施工のガイドラインを技術委員会と連携して作成する。

この問題で確認しておきたいのは、可動部であることを認識せずに設計、施工されていることが基本的な問題ではないのかという点である。可動部を壊れないように設計するのは、建築設計の基本であるという建築家も多い。逆に言えば、壊れてもいいエキспанション部も設計としてあり得る。そして、誰がこの部分を解決するのかという点も役割が分化された現在の設計、施工体制の中で適切に認識する必要がある。

- ③ 維持管理・点検システムの整備

免震層の調査結果によれば、免震装置、ダンパー、その他の障害が少なからずみられた。また、ダン

パーの軽微な被害でも残余の性能との関係があることも確認された。

そもそも免震建築物は定期的な点検、大地震後の点検を必須としているが、今回の調査では点検がなされていない建築物も多くあった。維持管理・点検システムを確実なものとするための整備を維持管理委員会と共同でおこなう。

- ④ 制振建築物の設計方法の検討

制震建築物で得られた地震観測記録から制震建築物の挙動について分析された。今年度は、その結果を設計で想定していた内容と比較し、今後の制震建築物の設計方法にどのように反映すべきか検討する。

おわりに

会員各社の協力と調査委員の精力的な活動により、2011年度の成果が得られた。この成果には、調査の中で明らかになった課題を追求すべく詳細な実験、調査を行った下記の各会員の特別な協力によっている部分もある。ここにあらためて謝意を表する。

鉛ダンパーのひび割れ後の性能実験と微小振幅絶縁実験を行った福岡大学 高山研究室

鉛プラグ入り積層ゴム支承の微小振幅繰り返し試験を行ったオイレス工業株式会社

鋼製ダンパーの性能把握および改善に努めた新日鉄エンジニアリング株式会社

「免震建物の耐火設計ガイドブック」解説講習会



竹中工務店
浜辺 千佐子

1 講習会概要

日時：平成24年4月18日（水） 13:00～17:00

会場：食品衛生センター 5階 講堂（東京都渋谷区神宮前2-6-1）

携行品：書籍「免震建物の耐火設計ガイドブック」

主催：一般社団法人日本免震構造協会 技術委員会 防耐火部会
一般社団法人日本建築構造技術者協会

当日53名の参加があり、ほぼ満席となった。

2 講習会の概要

2.1 主旨

近年、国内では中間階に免震装置を設置するケースも多く、免震装置には耐震性能だけでなく耐火性能も必要とされる。これまで防耐火部会では免震建物に関わる耐火上の問題を検討し解決してきた。そこで当部会の活動を実際の設計に生かすべく「免震建物の耐火設計ガイドブック」を発刊し、本書をテキストに編集委員が内容を説明する講習会を開催した。

2.2 プログラム

時間割	内容	講師（敬称略）
司会：清水玄宏（ニチアス）		
13:00～	開会挨拶	免震建物の耐火設計ガイドブックWG主査 増田直己（三菱地所設計）
13:05～	書籍「免震建物の耐火設計ガイドブック」 第1章免震建物の耐火設計	防耐火部会委員長 池田憲一（東京理科大学）
13:40～	第2章構成材料の温度特性	同部会副委員長芳澤利和（ブリヂストン）
14:20～	第3章免震装置の耐火性	同WG委員宮本圭一（鹿島建設）
15:00～	休憩	
15:10～	第5章免震建物の耐火設計の実務	同WG委員井出義人（清水建設）
16:00～	第4章免震装置の耐火被覆工法 第6章耐火被覆の設計上の注意と維持管理 第7章耐火構造の大臣認定の取得方法	同部会委員藤雅史（エーアンドエー工事）
16:45～	質疑応答	

2.3講習会の概要

- 1) 開会挨拶：免震装置の耐火性能に関しては、免震構造特有の課題、構成材料の既往の技術データがほとんどない等の様々な検討項目があったため、防耐火部会を設置し多くの免震装置に有効な耐火試験法と評価法を定めた。その結果、積層ゴム支承に適用できる耐火システムの大員認定が取得された。滑り支承については取得に向けて活動中である。
- 2) 第1章：耐火設計全般における考え方や設計ルート、免震耐火設計の概要、これまでの免震耐火設計の歴史、研究の取り組みについて説明があった。
- 3) 第2章：各種免震装置を構成する材料の温度特性に関する検証の概要説明があった。構成する素材での性能担保温度の特定が難しい場合は、装置全体で検証することとしている。
- 4) 第3章：免震装置に要求される耐火性能である非損傷性(荷重支持能力)に着目して、各種免震装置の高温時の荷重支持能力、火災履歴後の性能変化について既往の研究データ等をもとにした検証の概要説明があった。
- 5) 第5章：免震耐火設計ルートの法的位置づけ、設計ルートの選択フロー及び確認事項の紹介があった。また耐火被覆を施した事例、耐火被覆を省略した事例など各種パターンの設計事例をもとに実務に役立つ概要説明があった。
- 6) 第4章：免震装置の耐火被覆材の要求性能として耐火性能に加え、変形追随性、免震装置機能を阻害しないこと、日常点検が可能であることの説明、加えて各種耐火被覆システムの紹介があった。
 第6章：耐火被覆材の設計上の注意点として認定条件との整合、施工精度、水平変位時の周辺部材と干渉しないこと等の説明、また維持管理点検項目の一般例が紹介された。
 第7章：耐火被覆材の大員認定取得までの流れ、認定取得時の耐火性能試験方法の概要の紹介があった。また、現在認定を取得している免震装置用耐火被覆システム一覧の紹介があった。

3 質疑応答

Q：5.2.4設計例(耐火被覆を省略したケース)にあるように、ケーブルの燃焼実験は必要か？

A：必ずしも必要はないとの認識。ガイドブックではわかりやすく、設計の参考データとなるため掲載した。

Q：積層ゴムの耐火被覆材の認定条件として、プレキャスト柱は適用範囲か？

A：告示1399号で規定される耐火構造としての柱材として取り扱えるのであれば適用範囲と考える。



写真1 開会挨拶



写真2 会場内風景

平成23年度第2回 理事会議事録

日 時 平成24年2月22日（水曜日）

15:00～17:00

場 所 明治記念館 1階「さくら」

東京都港区元赤坂2-2-23

出席者 会 長：西川孝夫

副会長：深澤義和、池永雅良、沢田研自

理 事：可児長英、丑場英温、大熊武司、

大八木邦彦、小谷俊介、児嶋一雄、

鈴木重信、高山峯夫、常木康弘、

寺本隆幸、野中康友、長橋純男、

野中康友、山口昭一、山崎眞司、

和田 章

監 事：梅野 岳、白井貴志、曾田五月也

事務局：永井 潔、小林哲之、佐賀優子

欠席者 理 事：笠井和彦、谷口 元、西 敏夫、

西谷 章、緑川光正（敬称略）

配布資料

資料① 新入会員と新委員会設置と委員長の承認および委員委嘱について

資料② 性能評価事業の継続について

資料③ 平成24年度事業計画（案）について

資料④ 役員および審議員の改選（案）について

資料⑤ （仮称）会長賞について

資料⑥ 技術職の職員採用について

資料⑦ 1月正味財産増減計算書について

資料⑧ 平成23年度の技術者認定事業について

◇開 会

定刻に至り、事務局より開会が告げられ、引き続き、西川会長の挨拶があった。

◇定足数の報告

事務局より、本日の理事会は理事の過半数の出席（出席20名／総数25名）があり、定足数を満たしているため、理事会が成立する旨が告げられた。定款第34条により西川会長が議長となった。

◇議事録署名人

定款第37条により、西川孝夫代表理事と出席監事の梅野岳監事、白井貴志監事及び曾田五月也監事の4名が議事録署名人になった。

◆審議事項

第1号議案 新入会員と新委員会設置と委員長の承認および委員委嘱について ……資料①

事務局より、賛助会員1社の入会、創立20周年記念事業委員会の設置並びに委員長の委嘱及び各委員会委員委嘱12名について説明があった。審議に入り異議なく承認された。

第2号議案 性能評価事業の継続について

……………資料②

①性能評価事業の継続について審議に入り、継続が承認された。

②更新申請に伴う3種の規則類（性能評価／評定業務組織規程、事務処理規則、会計処理規則）の改定について事務局より説明があり、若干の修正後、承認された。

③更新申請に必要な書類作成について各理事、各監事に依頼した。

第3号議案 平成24年度事業計画（案）について

……………資料③

応答制御建築物調査委員会の調査結果に基づき、指針、ガイドラインの作成を予定しているが、まだ、課題は出し切れていない。地震観測結果と設計モデルによる解析結果の比較検討など今後の免震設計に役立つものがまだ残っており実施する必要がある。また、こうした報告を日本ばかりでなく海外にも伝えることが必要ではないかという意見があった。

首都圏の直下型地震が話題になっている。研究テーマとして取り上げるべきであるという意見があり、事業計画に加えることで、事業計画（案）は承認された。

第4号議案 役員および審議員の改選（案）について

……………資料④

来年度は役員・審議員改選の年であり、候補者案が提案された。

補欠役員も年度当初より選出することになる。審議員については現在、定数が15名以上20名以下であるが、審議員の活発な活動を計画するため、通常総会で定款の改定を行い、若干数定員を増やすことも考えられる。引き続き検討することになった。

第5号議案 (仮称) 会長賞について ……資料⑤

表彰委員会より普及賞の応募案件が特に顕著な功績を上げていることから、会長へ普及賞以上の賞を授与したいとの答申があった。理事会ではこの応募案件に「特別賞」を授与することが承認された。

◆報告事項

1) 技術職の職員採用について ……資料⑥

性能評価業務を担当する職員の募集要項を配布した。4月から公募する予定である。

2) 3月理事会開催について

3月22日(木) 15:00～ 明治記念館で理事会を開催する予定である。

3) 1月正味財産増減計算書について ……資料⑦

平成23年8月から平成24年1月までの正味財産増減計算書を作成した。2月、3月は収入が少なく、支出が多くなるため最終的に収支は予算案に近づく。

4) 第12回世界免震制震会議参加(ロシア:ソチ)について

高山理事より説明があった。転動柱という免震に似た構造が実施されている。

5) UIA2011東京大会

講演会と展示を行った。国際大会ではあったが、原子力発電所事故の影響で海外からの参加者は少なかった。

6) 平成23年度の技術者認定事業について

……………資料⑧

免震部建築施工管理技術者と免震建物点検技術者の認定事業を行った。受験者は増加傾向にある。

7) 新年賀詞交歓会について

1月18日(水) 18:00～19:30 明治記念館「芙蓉の間」にて開催。会長挨拶後、来賓として国土交通省住宅局杉藤室長にご挨拶いただいた。出席者は97名であった。

8) 応答制御建築物調査委員会報告会について

1月26日(木) 13:00～17:40 新宿NSビル30階にて開催。会長挨拶後、委員長、各分会委員長及び委員による報告が行われた。出席者は294名であった。

9) 平成24年度会費請求書発行について

一般社団法人になり、2月初旬に会費請求書を発行した。

10) 韓国免震協会来訪について

韓国免震協会のメンバーが2月13日(月)に協会を訪問した。13～15日に日本の免震建物、免震装置工場等を見学した。韓国では15棟の免震建物がある。福岡県西方沖地震の影響が釜山にもおよび免震が注目されている。制震は主に鋼材ダンパーを中心に使用されている。

11) その他

・優秀修士論文賞の募集を開始し、締め切りは3月9日である。

◇閉会

以上ですべての議案の審議並びに報告を終了し、17:00に閉会した。

平成24年2月22日

議長(代表理事) 西川 孝 夫
議事録署名人(監事) 梅野 岳
議事録署名人(監事) 白井 貴 志
議事録署名人(監事) 曾田 五月也

平成23年度第3回 理事会議事録

日時 平成24年3月22日（木曜日）
15:00～16:00

場所 明治記念館 1階「なでしこ」の間
東京都港区元赤坂2-2-23

出席者 会長：西川孝夫
副会長：深澤義和、池永雅良、沢田研自
理事：可児長英、大熊武司、太田 寛、
大八木邦彦、児嶋一雄、高山峯夫、
谷口 元、西 敏夫、西谷 章、
野中康友、山口昭一、山崎眞司
監事：梅野 岳、白井貴志、曾田五月也
事務局：永井 潔、小林哲之、佐賀優子

欠席者 理事：丑場英温、小谷俊介、笠井和彦、
鈴木重信、常木康弘、寺本隆幸、
長橋純男、緑川光正、和田 章
(敬称略)

配布資料

- 資料① 免震建物の耐火設計ガイドブック講習会について
- 資料② 応答制御建築物調査委員会報告会 大阪開催について
- 資料③ 次期役員候補者・審議員候補者（案）について
- 資料④ 新入会員と委員会委嘱について
- 資料⑤ 平成24年度事業計画（案）・予算（案）について
- 資料⑥ 役員に関する各種規程について

◇開 会

定刻になり、事務局より開会が告げられ、引き続き、西川会長の挨拶があった。

◇定足数の報告

事務局より、本日の理事会は理事の過半数の出席（出席16名／総数25名）があり、定足数を満たしているため、理事会が成立する旨が告げられた。定款第34条により西川会長が議長となった。

◇議事録署名人

定款第37条により、西川孝夫代表理事と出席監事の梅野岳監事、白井貴志監事及び曾田五月也監事の4名が議事録署名人になった。

◆報告事項

- 1) 技術職の職員採用募集状況について
性能評価を担当する技術職員の募集要項を配布した。4月から公募する予定である。
- 2) 平成23年度免震建物点検技術者試験結果について
1月28日に認定試験を実施し、166名の受験者のうち157名が合格した。
- 3) 免震建物の耐火設計ガイドブック講習会について
……………資料①
4月18日に解説講習会を実施する。定員は50名である。
- 4) 応答制御建築物調査委員会報告会 大阪開催について
……………資料②
1月に東京で実施した報告会を4月23日に、大阪で講師陣を縮小して実施する。
- 5) 次期役員候補者・審議員候補者（案）について
……………資料③
役員28名、補欠役員3名、審議員20名の候補者（案）を作成した。通常総会前の5月の理事会までに候補者を正式に決定する。
- 6) 高強度ボルト接合基準作成委員会再開について
免震装置の取り付けボルトに関する委員会が昨年の2月に発足したが、東北地方太平洋沖地震のために活動を停止していた。本年3月再開し、6月までに基準（案）を作成する。
- 7) その他
 - ・朝日新聞1/26の記事：免震建物の3割が損傷したように誤解を与える記事であり、その損傷についての電話が協会に多数かかってきた。
 - ・橋梁用免震ゴムのJISが試験方法についてのみ完成した。
 - ・建築指導課の管轄下で当協会が最初の一般社団法人となった。

以上の報告をもって定款第14条第6項に規定する代表理事、業務執行理事の職務執行報告とする。

◆審議事項

第1号議案 新入会員と委員会委員委嘱について ……………資料④

事務局より、賛助会員1社の入会、各委員会委員委嘱4名について説明があった。審議に入り異議なく承認された。

第2号議案 平成24年度事業計画(案)・予算(案)について ……………資料⑤

前回の理事会に報告した事業計画に2.調査研究の「4)直下地震・長周期・長時間地震動に対する応答特性評価に関する調査研究」を追加する。

予算(案)については収入が支出を若干上回ることになった。

事業計画(案)予算(案)は異議無く承認された。

事業計画については以下の意見があった。

会員制度、特に個人の入会及び会員特典について改善する必要がある。

協会発行の技術書籍について、更に広めていくことが必要である。

第3号議案 役員に関する各種規程について ……………資料⑥

①役員報酬等規程

②常勤役員の退職金に関する規程

③役員の選任年齢に関する規程

以上の3規定について協会名称の変更と、「会長が定める」から「理事会の決議による」への変更を行った。これについて異議無く承認された。

役員の報酬についてはその報酬総額は総会の決議によるものなので、総会開催までは理事会の承認で仮支給し、総会で改めて承認を受けることになった。

役員の選任年齢に関しては第2条第2項の「判断」は理事会によるものと解釈し、理事会の決議により、同条第2項の役員候補者を選任することになった。

◇閉会

以上ですべての議案の審議並びに報告を終了し、16:00に閉会した。

平成24年3月22日

議長(代表理事)	西川 孝 夫
議事録署名人(監事)	梅野 岳
議事録署名人(監事)	白井 貴 志
議事録署名人(監事)	曾田 五月也

日本免震構造協会 性能評価(評定)業務

日本免震構造協会では、平成16年12月24日に指定性能評価機関の指定(指定番号：国土交通大臣 第23号)を受け、性能評価業務を行っております。また、任意業務として、申請者の依頼に基づき、評定業務を併せ行っております。

建築基準法に基づく性能評価業務のご案内

◇業務内容

建築基準法の性能規定に適合することについて、一般的な検証方法以外の方法で検証した構造方法や建築材料については、法第68条の26の規定に基づき、国土交通大臣が認定を行いますが、これは、日本免震構造協会等の指定性能評価機関が行う性能評価に基づいています。

◇業務範囲

日本免震構造協会が性能評価業務を行う範囲は、建築基準法に基づく指定資格検定機関等に関する省令第59条各号に定める区分のうち次に掲げるものです。

①第2号の2の区分(構造性能評価)

建築基準法第20条第一号(第二号ロ、第三号ロ及び第四号ロを含む)の規定による、高さが60mを超える超高層建築物、または免震・制震建築物等の時刻歴応答解析を用いた建築物

②第6号の区分(材料性能評価)

建築基準法第37条第二号の認定に係る免震材料等の建築材料の性能評価

◇業務区域

日本全域とします。

◇性能評価委員会

日本免震構造協会では、性能評価業務の実施に当たり区分毎に専門の審査委員会を設けています。

①構造性能評価委員会(第2号の2の区分) 原則として毎月第1水曜日開催

②材料性能評価委員会(第6号の区分) 原則として毎月第1金曜日開催

◇評価員

構造性能評価委員会			材料性能評価委員会		
委員長	和田 章	(東京工業大学)	委員長	寺本 隆幸	(東京理科大学)
副委員長	壁谷澤寿海	(東京大学)	副委員長	高山 峯夫	(福岡大学)
	山崎 真司	(東京電機大学)	委員	曾田五月也	(早稲田大学)
委員	大川 出	(建築研究所)		西村 功	(東京都市大学)
	島崎 和司	(神奈川大学)		山崎 真司	(東京電機大学)
	瀬尾 和大	(東京工業大学)			
	曾田五月也	(早稲田大学)			
	田才 晃	(横浜国立大学)			
	中井 正一	(千葉大学)			

◇審査基準

性能評価の審査は、第2号の2の区分にあつては、平成12年建設省告示第1461号「超高層建築物の構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」を含む建築基準法令、その他の技術基準に照らし審査いたします。

また、第6号の区分にあつては、平成12年建設省告示第1446号「建築物の基礎、主要構造部等に使用する建築材料並びにこれらの建築材料が適合すべき日本工業規格又は日本農林規格及び品質に関する技術的基準を定める件」を含む建築基準法令、その他の技術基準に照らし審査いたします。

具体的には、該当する業務方法書をご覧ください。

◇詳細案内

詳しくは、日本免震構造協会のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.jssi.or.jp/>

国内の免震建物一覧表

国土交通省から公表された大臣認定取得免震建物のうち、ビルディングレター(日本建築センター)に掲載されたもの、及び当協会免震建物データ集積結果により作成しています。間違いがございましたらお手数ですがFAXまたはe-mailにて事務局までお知らせください。また、より一層の充実を図るため、会員の皆様からの情報をお待ちしておりますので、宜しくお願いいたします。

出版部会 URL: <http://www.jssi.or.jp/> FAX: 03-5775-5734 E-MAIL: jssi@jssi.or.jp

免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市町村)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m ²)				延べ床面積(m ²)	軒高(m)
1	MNNN - 0019	2000/10/17	BCJ基評-IB0012	(仮称)鶴見戻手計画	鹿島建設	鹿島建設	RC	14	-	3055.7	29563.1	43.5	44.5	神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
2	MNNN - 0020	2000/10/17	BCJ基評-IB0004	(仮称)スポーツモール川崎店新築工事	松田平田設計	松田平田設計 鹿島建設	RC	6	-	564.9	3236.3	25.0	26.4	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鋼製ダンパー 鉛ダンパー 鉛すべり支承 オイルダンパー
3	MNNN - 0021	2000/10/17	BCJ基評-IB0023	(仮称)南砂1丁目計画	タウン企画設計	鹿島建設	RC	13	-	1298.7	11461.7	39.6	40.8	東京都江東区	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
4	MNNN - 0022	2000/10/17	BCJ基評-IB0014	(仮称)株式会社バイテック新社屋新築工事	清水建設	清水建設	SRC	8	1	613.5	3867.3	29.8	30.4	東京都品川区	高減衰積層ゴム オイルダンパー すべり支承
5	MNNN - 0024	2000/10/19	BCJ基評-IB0013	宗仙寺本堂、客殿、納骨堂	清水建設	清水建設	RC	2	0	201.0	385.0	7.0	9.2	東京都板橋区	高減衰積層ゴム すべり支承
6	MNNN - 0027	2000/10/25	BCJ基評-IB0006	シルクロゼース	大和設計	大和設計 小堀輝二研究所	RC	12	-	1668.5	8852.1	34.9	39.9	熊本県熊本市	高減衰積層ゴム すべり支承
7	MNNN - 0028	2000/10/25	BCJ基評-IB0024	蕨野町新庁舎	日建設計	日建設計	SRC	7	-	2207.4	10078.0	28.0	28.6	三重県三重郡	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
8	MNNN - 0029	2000/10/25	BCJ基評-IB0005	(仮称)藤沢市総合防災センター	エヌ・ティ・ティ・フジテレビ	エヌ・ティ・ティ・フジテレビ	RC	7	-	619.5	3679.2	28.0	28.3	神奈川県藤沢市	天然積層ゴム オイルダンパー
9	MNNN - 0031	2000/11/8	BCJ基評-IB0001	南砺中央病院	日本設計 富山県建築設計監理協同組合	日本設計 富山県建築設計監理協同組合	RC	6	-	5047.8	13442.5	28.1	32.6	富山県西砺波郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
10	MNNN - 0032	2000/11/8	BCJ基評-IB0010	金沢医科大学病院新棟	日本設計 中島建築事務所	日本設計 中島建築事務所	SRC	12	1	7055.0	51361.1	53.9	68.8	石川県河北郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
11	MNNN - 0033	2000/11/8	BCJ基評-IB0030	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクト(その2)D棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	7	-	3348.0	1759.9	21.9	22.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
12	MNNN - 0033	2000/11/8	BCJ基評-IB0030	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクト(その2)G棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	5	-	2820.0	1867.6	14.9	16.2	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
13	MNNN - 0035	2000/11/8	BCJ基評-IB0015	(仮称)IactSTEP	総研設計 工藤一級建築士事務所	工藤一級建築士事務所	S	3	-	188.1	438.0	10.9	14.1	静岡県静岡市	球面滑り支承
14	MFNN - 0036	2000/11/8	BCJ基評-IB0011	(仮称)マイクロテック本社ビル	五洋建設	五洋建設	RC	5	1	274.0	1151.7	16.5	18.8	東京都杉並区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
15	MNNN - 0039	2000/11/8	BCJ基評-IB0009	精工技研第3工場	大成建設	大成建設	S	5	-	1599.5	8062.2	21.5	22.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
16	MNNN - 0042	2000/11/8	BCJ基評-IB0029	(仮称)勝どきITビル		日建設計	S	8	-	2185.0	15738.0	36.2	43.2	東京都中央区	天然積層ゴム 鋼製ダンパー
17	MNNN - 0044	2000/11/8	BCJ基評-IB0026	東京消防庁渋谷消防署	東京消防庁総務部施設課 豊建築事務所	東京消防庁総務部施設課 豊建築事務所	RC	9	1	879.9	5572.0	30.2	30.8	東京都渋谷区	鉛入り積層ゴム
18	MNNN - 0045	2000/11/8	BCJ基評-IB0008	(仮称)平成11年度一般賃貸住宅(ファミリー)大熊健造ビル	S.D.C.	大成建設	RC	14	-	920.0	8779.1	44.4	45.0	埼玉県戸田市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
19	MNNN - 0047	2000/11/8	BCJ基評-IB0019	元住吉職員宿舎(東棟変更)	都市基盤整備公団 千代田設計	都市基盤整備公団 千代田設計	RC	4	-	295.5	934.6	12.5	13.1	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
20	MFNN - 0049	2000/11/8	BCJ基評-IB0022	門前仲町一丁目計画	C&AIU	西松建設	RC	13	1	459.0	4755.0	42.1	44.0	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
21	MNNN - 0050	2000/11/8	BCJ基評-IB0021	千葉市立郷土博物館耐震改修	千葉市都市整備公団 島田建築設計事務所	構設計研究所 東京建築研究所	SRC	5	-	636.1	1872.1	26.6	30.4	千葉県千葉市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼棒ダンパー
22	MFEB - 0053	2000/12/1	BCJ基評-IB0017	東京女子医科大学(仮称)総合外来棟	現代建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	5	3	6250.6	42726.4	24.1	28.8	東京都新宿区	鉛入り積層ゴム 直動転がりローラー支承
23	MNNN - 0061	2000/11/20	BCJ基評-IB0020	中央合同庁舎第3号館耐震改修	建設大臣官房官庁営繕部 山下設計	建設大臣官房官庁営繕部 山下設計	SRC	11	2	5878.1	69973.9	44.9	53.6	東京都千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
24	MNNN - 0065	2000/12/19	BCJ基評-IB0034	株式会社プリチンステーション製造所C棟	日建設計	日建設計	RC	5	-	4710.8	18159.5	31.6	32.2	静岡県磐田市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
25	MNNN - 0067	2000/12/19	BCJ基評-IB0032	原子力緊急時支援・研修センター支援建屋	日建設計	日建設計	S	2	-	1236.5	1942.9	10.2	14.0	茨城県ひたちなか市	天然積層ゴム 鉛ダンパー
26	MFNN - 0075	2001/2/16	BCJ基評-IB0025	(仮称)阿倍野D3-1分譲住宅建設工事	大林組	大林組	RC	14	1	1181.3	12922.9	48.4	52.3	大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
27	MNNN - 0082	2001/1/5	GBRC建評-00-11A-002	新八尾市立病院	昭和設計	昭和設計	S	8	1	7428.0	39156.0	35.9	41.6	大阪府八尾市	すべり支承 鉛入り積層ゴム
28	MNNN - 0086	2001/1/5	BCJ基評-IB0086	(仮称)戸田・中町マンション	ジェイアール東日本建築設計事務所 日建ハウジングシステム	ジェイアール東日本建築設計事務所 日建ハウジングシステム	RC	14	-	1270.0	8573.4	42.3	45.8	埼玉県戸田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
29	MNNN - 0087	2001/1/5	BCJ基評-IB0081	黒焚山 保福寺(本堂)	建築・企画飛鳥	東京建築研究所	木造	2	-	1070.3	902.2	9.4	20.3	青森県石森町	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム
30	MNNN - 0088	2001/1/5	BCJ基評-IB0084	(仮称)パークマンション熊高正門前新築工事 A棟	樋川設計事務所・五洋建設	樋川設計事務所・五洋建設	RC	14	-	1407.1	12324.5	43.1	47.9	熊本県熊本市	天然積層ゴム 高減衰積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m ²)					延べ床面積(m ²)
31	MNNN - 0088	2001/1/5	BCJ基評-IB0084	(仮称)パークマンション熊高正門前新築工事 B棟	樋川設計事務所・五洋建設	樋川設計事務所・五洋建設	RC	14	-	-	-	43.1	47.9	熊本県熊本市	天然積層ゴム 高減衰積層ゴム
32	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス 中央林間六丁目プロジェクトA棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	7	1			22.7	23.2	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
33	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス 中央林間六丁目プロジェクトB棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1			34.4	35.5	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
34	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス 中央林間六丁目プロジェクトC棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	17	1	6168.9	4394.9	53.0	53.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
35	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス 中央林間六丁目プロジェクトE棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	8	1			25.7	26.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
36	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス 中央林間六丁目プロジェクトF棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1			34.4	35.5	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
37	MFNN - 0098	2001/2/20	BCJ基評-IB0028	(仮称)アマGalaxyビル新築工事	大本組	大本組	RC(柱) S(梁)	4	1	1028.9	4385.5	16.0	16.6	神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
38	MNNN - 0100	2001/2/2	BCJ基評-IB0090	(仮称)下井草5丁目計画	丸用一級建築士事務所	連建築事務所・免震エンジニアリング	RC	9	-	489.0	2990.8	27.0	28.0	東京都杉並区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
39	MNNN - 0102	2001/2/2	BCJ基評-IB0087	(仮称)相模原橋本地区分譲共同住宅(A棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	-	965.1	13780.5	58.0	63.0	神奈川県相模原市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
40	MNNN - 0104	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-003	京阪くずはEブロック集合住宅B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1	7103.8	6381.4	39.7	41.9	大阪府枚方市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
41	MNNN - 0106	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-004	京阪くずはEブロック集合住宅C棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	11	-	7103.8	4898.8	33.2	35.4	大阪府枚方市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
42	MNNN - 0107	2001/2/16	GBRC建評-00-11A-005	京阪神不動産(仮称)新町第2ビル	日建設計	日建設計	S	7	1	1826.4	14781.5	34.5	40.9	大阪市西区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
43	MNNN - 0109	2001/2/19	BCJ基評-IB0093	広島県防災拠点施設整備新築工事(備蓄倉庫棟)	広島県土木建築部都市局営繕課・中部技術コンサルタント	広島県土木建築部都市局営繕課・中部技術コンサルタント	S	1	-	4747.9	4481.9	7.0	8.9	広島県豊田郡	弾性すべり支承 天然積層ゴム
44	MNNN - 0111	2001/2/16	GBRC建評-00-11A-006	井内盛栄堂本社ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	589.0	5312.7	33.9	42.9	大阪市西区	鉛入り積層ゴム すべり支承
45	MNNN - 0112	2001/2/19	BCJ基評-IB0098	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト A棟	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト設計共同企業体	東急設計コンサルタント	RC	10	-	1446.8	9594.1	30.6	31.0	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム
46	MNNN - 0112	2001/2/19	BCJ基評-IB0098	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト B棟	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト設計共同企業体	東急設計コンサルタント	RC	10	-	1777.6	10264.5	30.6	31.0	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム
47	MNNN - 0113	2001/2/15		(仮称)ライフウェルズ上名和(B棟)	(株)大建築設計名古屋事務所	大建築設計・鹿島建設	RC	14	-	390.6	4407.2	41.2	44.8	愛知県東海市	天然ゴム系積層ゴム 鎖錠ダンパー 鉛ダンパー 滑り支承
48	MNNN - 0116	2001/2/19		常葉院	片野建築設計事務所・三井住友建設	片野建築設計事務所・三井住友建設	木造	1	-	421.8	330.1		11.9	東京都立川市	天然ゴム系積層ゴム 転がり支承 鉛ダンパー
49	MNNN - 0117	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-008	(仮称)モアグレース梅林公園前南棟	奥村組	奥村組	RC	5	-	743.7	2828.5	14.4	16.6	岐阜県岐阜市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
50	MNNN - 0118	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-007	(仮称)モアグレース梅林公園前北棟	奥村組	奥村組	RC	13	-	533.6	4495.6	38.4	39.4	岐阜県岐阜市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
51	MNNN - 0119	2001/2/19		プラダ東京南青山	竹中工務店	竹中工務店	S,RC	7	2	369.2	2860.4	32.5		東京都港区	
52	MNNN - 0122	2001/2/19	BCJ基評-IB0031	東京大学医科学研究所付属病院診療棟	岡田新一・佐藤総合計画設計共同体	岡田新一・佐藤総合計画設計共同体	SRC	8	2	1710.9	13099.8	39.5	48.2	東京都港区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
53	MNNN - 0123	2001/2/19	BCJ基評-IB0096	矯正会館	千代田設計	千代田設計大成建設	RC	4	1	823.5	3073.7	15.7	19.3	東京都中野区	天然積層ゴム 弾性すべり支承
54	MNNN - 0124	2001/2/19	BCJ基評-IB0100	理化学研究所特殊環境実験施設	久米設計	久米設計	RC	6	-	2807.5	11379.2	28.9	33.5	埼玉県和光市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
55	MNNN - 0125	2001/2/19		愛知県西庁舎	愛知県建設部公共建設課三愛地所設計	愛知県建設部公共建設課三愛地所設計	SRC	10	3	2305.0	32306.0			愛知県名古屋	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
56	MNNN - 0130	2001/2/19	BCJ基評-IB0105	(仮称)大蔵海岸パーク・ホームズ	三井建設	三井建設	RC	14	-	419.9	4402.0	44.4	44.4	兵庫県明石市	高減衰積層ゴム
57	MNNN - 0131	2001/2/19	BCJ基評-IB0104	(仮称)川崎大師パーク・ホームズⅡ	三井建設	三井建設	RC	7	-	1264.3	7352.0	19.6	20.0	神奈川県川崎市	鉛入り積層ゴム
58	MNNN - 0137	2001/3/13	BCJ基評-IB0107	市川大門町庁舎	日建設計	日建設計	RC	3	-	1791.8	4153.4	14.5	15.9	山梨県西八代郡	天然積層ゴム 鉛ダンパー
59	MNNN - 0141	2001/3/28	BCJ基評-IB0103	甲府支店社屋	名工建設	名工建設 飯高建築事務所	RC	4	-	349.4	1109.5	12.8	13.1	山梨県甲府市	弾性すべり 天然積層ゴム 鉛ダンパー
60	MFNN - 0149	2001/3/23	BCJ基評-IB0102	(仮称)リポート須磨新築工事B棟	OKI設計	東急建設	RC	14	-	1448.4	15008.3	41.9	42.6	兵庫県神戸市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー すべり支承
61	MFNN - 0150	2001/3/27	BCJ基評-IB0085	(仮称)湯沢町病院新築工事	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	S	4	1	1706.0	6378.3	19.2	23.9	新潟県南魚沼郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 球体転がり支承
62	MNNN - 0151	2001/4/13	BCJ基評-IB0115	(仮称)高知高須病院	THINK建築設計事務所	ダイナミックデザイン	RC	6	-	2763.4	12942.9	24.0	24.6	高知県高知市	鉛入り積層ゴム
63	MFNN - 0152	2001/3/23	BCJ基評-IB0109	(仮称)住友不動産田町駅前ビル	隣設計 竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	947.4	7432.3	33.1	36.6	東京都港区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
64	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(高層棟)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	19	-	3212.1	9662.9	57.6	62.9	東京都足立区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鉛棒ダンパー オイルダンパー 弾性すべり支承
65	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(南棟)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	14	-	3212.1	10162.8	42.9	43.9	東京都足立区	同上
66	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(東棟)	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	14	-	3212.1	6551.7	42.9	43.9	東京都足立区	同上
67	MNNN - 0169	2001/4/13	BCJ基評-IB0116	(仮称)ガクエン住宅本社ビル	アーバンライフ建築事務所	間1級建築士事務所	RC	5	-	244.6	1170.4	19.2	22.7	東京都葛飾区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
68	MNNN - 0173	2001/4/13	BCJ基評-IB0123	(仮称)田代会計事務所	白江建築研究所	ダイナミックデザイン	S	5	-	156.5	614.2	18.5	19.0	埼玉県熊谷市	高減衰積層ゴム 球体転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m ²)					延べ床面積(m ²)
109	MNNN - 0297	2001/9/28	BCJ基評-IB0194	外務本省(耐震改修)	国土交通省大臣官房官庁営繕部山下設計	国土交通省大臣官房官庁営繕部山下設計	RC	北8南8	北2南1	7305.0	55893.0	30.8	31.9	東京都千代田区	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム弾性すべり支承
110	MFNN - 0299	2001/9/18	BCJ基評-IB0182	(仮称)住友不動産新宿中央公園ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	2145.5	15975.1	32.4	37.6	東京都新宿区	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
111	MNNN - 0302	2001/9/28	BCJ基評-IB0196	(仮称)第2中屋ビル	山下設計	山下設計	RC	9	1	914.2	8104.0	42.3	50.7	東京都渋谷区	高減衰積層ゴム弾性すべり支承
112	MFNF - 0303	2001/9/27		岡山操車場跡地公園(仮称)整備に係わる全天候型多目的球技場	石本建築事務所・戸田建設	石本建築事務所・戸田建設	RC+S	2	-	9500.0	9872.5		37.8	岡山県岡山市	
113	MNNN - 0304	2001/9/28		社会保険紀南総合病院	久米設計	久米設計	S	8	1	7413.0	29306.0		32.4	和歌山県田辺市	天然ゴム系積層ゴム鉛プラグ入り積層ゴム弾性すべり支承鋼棒ルーバーダンパー
114	MNNN - 0310	2001/10/23		(仮称)深谷赤十字病院新病棟	梓設計	梓設計	RC	7	-	8404.0	34876.0	28.5		埼玉県深谷市	天然ゴム系積層ゴム弾性すべり支承
115	MFNN - 0315	2001/10/16	GBRC建評-01-11A-005	(仮称)御堂筋武田ビル	CITY ENGINEERING 竹中工務店	CITY ENGINEERING 竹中工務店	S	9	2	422.7	4049.3	38.6	43.1	大阪市中央区	鉛入り積層ゴム天然積層ゴムオイルダンパー
116	MNNN - 0320	2001/10/23	BCJ基評-IB0202	立川総合社屋	東電設計	東電設計	S	7	2	1700.8	15141.8	28.8	32.9	東京都立川市	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
117	MNNN - 0323	2001/11/7	GBRC建評-01-11A-008	(仮称)西宮・甲風園マンション	新井組	新井組	RC	15	-	410.9	4908.9	47.6	48.2	兵庫県西宮市	鉛入り積層ゴム
118	MFNN - 0325	2001/10/23	BCJ基評-IB0197	(仮称)白金高輪マンション	フジタ	フジタ	RC	19	-	939.0	11051.8	59.4	64.5	東京都港区	鉛入り積層ゴム弾性すべり支承
119	MNNN - 0326	2001/10/23		(仮称)クロスウェイコミュニケーションズ横浜データ交換センター	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ・構造計画研究所	S	3	1					神奈川県横浜市	高減衰積層ゴムオイルダンパー
120	MFNN - 0328	2001/11/15	GBRC建評-01-11A-007	小野薬品工業株式会社 新社屋	類設計室 大林組	大林組	S	11	2	1126.8	14283.1	50.8	56.3	大阪市中央区	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム弾性すべり支承オイルダンパー
121	MFNN - 0332	2001/11/13	BCJ基評B-0136-01	住友不動産(仮称)西梅田ITビル	日建設計	日建設計	S SRC	10	1	1135.0	12310.0	45.1	54.9	大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム弾性すべり支承
122	MNNN - 0333	2002/11/7	BCJ基評-IB0207	(仮称)農林中金昭島センター第二期棟	三菱地所設計 全国農協設計	三菱地所設計 全国農協設計	SRC	6	-	3672.8	20215.0	32.6	33.6	東京都昭島市	鉛入り積層ゴム天然積層ゴムすべり支承U型ダンパー
123	MFNN - 0336	2001/11/7	BCJ基評-IB0204	(仮称)大東ビル	大林組	大林組	SRC	9	1	853.8	9155.9	35.9	45.5	東京都千代田区	天然積層ゴム鉛入り積層ゴムオイルダンパー
124	MNNN - 0339	2001/11/28	BCJ基評-IB0205	(仮称)芝浦トランクルーム	郵船不動産 日本設計	日本設計	RC	8	-	2253.9	15500.3	42.9	44.7	東京都港区	鉛入り積層ゴム
125	MNNN - 0342	2001/11/28	BCJ基評-IB0215-01	大幸公社賃貸住宅(仮称)建設工事(第1次)第1工区 A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	1173.0	8596.8	30.4	32.4	愛知県名古屋市中区	鉛入り積層ゴム天然積層ゴム弾性すべり支承
126	MNNN - 0343	2001/11/28	BCJ基評-IB0216-01	大幸公社賃貸住宅(仮称)建設工事(第1次)第1工区 B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	1173.0	8594.5	30.5	32.5	愛知県名古屋市中区	鉛入り積層ゴム天然積層ゴム弾性すべり支承
127	MFNN - 0345	2001/11/13	BCJ基評-IB0167-02	中伊豆町新庁舎	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ	RC	3	-	2345.5	4379.2	14.3	15.0	静岡県田方郡	鉛入り積層ゴム転がり支承
128	MNNN - 0354	2001/12/21	BCJ基評-IB0217-01	クイーンズバレス三鷹下連雀	熊谷組	熊谷組	RC	11	1	389.1	3135.9	34.8	35.3	東京都三鷹市	天然積層ゴム鋼材ダンパー鉛ダンパー
129	MNNN - 0359	2001/12/25	BCJ基評-IB0232-01	(仮称)ピエール大供	和建設	和建設 熊谷組耐震コンサルグループ	RC	15	-	271.8	3322.1	42.8	43.5	岡山県岡山市	高減衰積層ゴム
130	MNNN - 0361	2001/12/25	BCJ基評-IB0228-01	(仮称)マープル音羽館	西野建設	中山構造研究所 日本免震研究センター 協力・福岡大学高山研究室	RC	20	-	440.9	7215.4	59.0	67.3	岐阜県多治見市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼製ダンパー
131	MNNN - 0365	2001/12/25	BCJ基評-IB0226-01	つくば免震検証棟	住友林業	清水建設 アイディールプレーン	木造	2	-	69.6	125.9	6.5	8.5	茨城県つくば市	転がり系支承オイルダンパー天然積層ゴム
132	MNNN - 0367	2001/12/25	BCJ基評-IB0233-01	東邦大学医学部付属大森病院(仮称)病院3号棟	梓設計	梓設計	RC	6	2	2838.5	20706.0	27.6	34.8	東京都大田区	鉛入り積層ゴム弾性すべり支承
133	MNNN - 0372	2002/1/18	BCJ基評-IB0230-01	松山リハビリテーション病院	鹿島建設	鹿島建設	RC	9	-	1491.6	12641.0	34.3	37.6	愛知県松山市	高減衰積層ゴム
134	MNNN - 0376	2002/1/18	GBRC建評-01-11A-009	(仮称)多治見幸町マンション	日本国土開発	日本国土開発	RC	12	-	249.7	2205.6	34.3	35.4	岐阜県多治見市	天然積層ゴム鉛ダンパー弾性すべり支承
135	MFNB - 0383	2002/1/15		(仮称)豊洲コンピュータセンター	新豊洲変電所上部建物増築工事実施設計業務JV 代表清水建設	新豊洲変電所上部建物増築工事実施設計業務JV 代表清水建設	SRC	10	4	17087.9	186746.4	57.9	60.0	東京都江東区	鉛プラグ入り積層ゴム天然ゴム系積層ゴム
136	MNNB - 0384	2002/1/15		(仮称)三越本店新館共同ビル	清水建設	清水建設	S(柱CFT)	13	4		50,954(増築部36,648)			東京都中央区	
137	MNNN - 0386	2003/1/28	BCJ基評-IB0231-01	古屋雅由邸	三井ホーム	テクノウェブ 三井ホーム	木造	2	-	133.9	212.9	6.0	7.7	神奈川県足柄上郡	転がり系支承オイルダンパー
138	MNNN - 0388	2002/1/28	BCJ基評-IB0241-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(高層棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	19	-	576.6	9891.3	57.6	63.0	東京都足立区	高減衰積層ゴム天然積層ゴム鋼棒ダンパー
139	MNNN - 0389	2002/1/28	BCJ基評-IB0242-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(南棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	14	-	989.0	10781.3	42.8	43.6	東京都足立区	高減衰積層ゴム天然積層ゴム鋼棒ダンパー
140	MNNN - 0390	2002/1/28	BCJ基評-IB0243-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(東棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	14	-	459.9	4762.8	42.8	43.6	東京都足立区	高減衰積層ゴム天然積層ゴム弾性すべり支承
141	MFNN - 0392	2002/1/28	BCJ基評-IB0244-01	内野瀬本社ビル	鹿島建設	鹿島建設	RC	7	1	504.1	3944.6	28.1	32.1	東京都中央区	角型鉛プラグ入り積層ゴム
142	MNNN - 0395	2002/2/8	BCJ基評-IB0238-01	(仮称)サーバス中原	穴吹工務店	穴吹工務店 コンパース 免震エンジニアリング	RC	12	-	547.8	5147.2	36.9	44.4	栃木県宇都宮市	鉛入り積層ゴム天然積層ゴム
143	MNNN - 0401	2002/2/26	BCJ基評-IB0245-01	全労済栃木県本部会館	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ	エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ	RC	5	-	630.9	2752.7	20.3	24.3	栃木県宇都宮市	鉛入り積層ゴム天然積層ゴム転がり支承
144	MNNN - 0405	2002/3/6	GBRC建評-01-11A-010	八鹿病院	日建設計	日建設計	S	12	-	7383.0	30855.0	48.1	52.3	兵庫県養父郡	天然積層ゴム弾性すべり支承鋼材ダンパー
145	MNNN - 0409	2002/2/26	BCJ基評-IB0254-01	(仮称)ITO新ビル	伊藤組	伊藤組 総研設計	SRC	10	1	1259.3	12450.1	41.1	41.6	北海道札幌市	高減衰積層ゴム
146	MNNN - 0410	2002/2/26	GBRC建評-01-11A-011	市立敦賀病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	5	-	2115.3	7829.6	20.6	28.6	福井県敦賀市	鉛入り積層ゴム天然積層ゴム弾性すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m ²)					延べ床面積(m ²)
184	MNNN - 0574	2002/10/15	BCJ基評-IB0312-01	(仮称)高井戸N2プロジェクト	竹中工務店 バノム	竹中工務店	RC	13	-	615.0	6745.6	40.1	40.8	東京都 杉並区	鉛入り積層ゴム
185	MNNN - 0575	2002/10/21	BCJ基評-IB0311-01	(仮称)東山マンション	水野設計	大日本土木	RC	13	-	298.9	2305.9	44.7	44.7	愛知県 名古屋	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
186	MNNN - 0577	2002/11/7		(仮称)舞浜ホテル	東日本旅客鉄道・ジェイアール 東日本建築設計事務所・竹中 工務店	竹中工務店	RC-S	2		2592.0	5587.0			千葉県 舞浜市	防振ゴム オイルダンパー
187	MNNN - 0578	2002/10/15	BCJ基評-IB0313-01	シティーコーポ上小田井(仮称)	徳倉建設	徳倉建設 ダイナミックデザイン	RC	15	-	258.7	2878.6	44.8	44.8	愛知県 名古屋	鉛入り積層ゴム 球体転がり支承
188	MFNN - 0584	2002/10/28	BCJ基評-IB0300-01	三共研研究総務部 研究棟	清水建設	清水建設	CFT	8	1	2305.1	19326.2	37.8	39.6	東京都 品川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
189	MNNN - 0588	2002/10/21	BCJ基評-IB0319-01	GLOBAL GARDEN CITY-A棟	エコ福祉住環境研究所	織本匠構造設計研究所	RC	8	-	970.0	5930.0	26.0	26.6	千葉県 船橋市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
190	MNNN - 0590	2002/11/5		(仮称)住友不動産麹町駅前ビル	日建設計	日建設計	SRC	9	1		9834.0			東京都 千代田区	
191	MNNN - 0593	2002/11/7	GBRC建評-02-11A-003	(仮称)京都北部信用金庫店舗・事務センター	富士通	エヌ・ティ・エフ・フロンティア	RC	4	-	1290.5	3754.5	16.6	20.1	京都府 中郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
192	MNNN - 0595	2002/11/12	ERI-J02004	(仮称)オリックス伏見ビル計画	戸田建設	戸田建設	CFT柱 S梁	11	-	1583.1	17095.7	45.1	50.4	名古屋市中 区	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
193	MFNN - 0598	2002/11/6	BCJ基評-IB0322-01	(仮称)麻布バイクレスト	大林組	大林組	RC	15	2	562.7	8807.0	45.8	49.7	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
194	MNNN - 0614	2002/12/19	BCJ基評-IB0329-02	(仮称)西町マンション	山本浩三都市建築研究所	東京建築研究所	RC	7	-	459.9	2854.8	23.3	23.9	鳥取県 鳥取市	鉛入り積層ゴム すべり支承 弾塑性系減衰材
195	MNNN - 0615	2002/12/19	BCJ基評-IB0331-01	名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟	名古屋大学施設部 石本建築事務所	石本建築事務所	SRC	7	2	5911.0	43936.0	33.2	44.5	愛知県 名古屋市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
196	MNNN - 0623	2002/12/19		(仮称)ブルデンシャル生命保険仙台カ スタマーサービスセンター	日本設計	日本設計	S	2	-		3223.0			宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
197	MNNN - 0630	2002/12/16		ピュア本社ビル	青島設計	青島設計	S	8		609.8	4524.0			愛知県 名古屋	
198	MNNN - 0631	2002/12/12	GBRC建評-02-11A-004	武田薬品第8技術棟	竹中工務店	竹中工務店	SRC柱 S梁	9	1	3075.4	29097.7	50.3	59.3	大阪市 淀川区	天然積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー
199	MNNN - 0634	2002/12/19	BCJ基評-IB0342-01	(仮称)ネットワーク時刻情報認識高度化 施設(東棟)	日本設計	日本設計	RC	4	-	1353.3	5284.2	19.5	29.3	東京都 小金井市	鉛入り積層ゴム
200	MNNB - 0637	2002/12/25		(仮称)サントリー東京新ビル	安井建築設計事務所 (デザイン監修:隈研吾建築都 市設計事務所)	大林組	S, SRC, RC	12	2		34492.0			東京都 港区	
201	MFNN - 0638	2002/12/25	BCJ基評-IB0339-01	(仮称)国際医療福祉大学付属熱海病院	大林組	大林組	RC	8	2	3502.6	23226.0	30.2	34.0	静岡県 熱海市	天然積層ゴム オイルダンパー プレーキダンパー
202	MNNN - 0646	2003/2/12	GBRC建評-02-11A-006	市立西脇病院	日建設計	日建設計	S	6	-	9240.0	23548.0	27.0	27.3	兵庫県 西脇市	鉛入り積層ゴム
203	MFNN - 0648	2003/1/28	GBRC建評-02-11A-008	千種台センター地区(仮称)	大林組	大林組	RC	14	1	5574.7	24983.5	47.3	51.0	名古屋市中 千種区	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
204	MNNN - 0652	2003/1/15	BCJ基評-IB0345-01	TKC高根沢事務所	鹿島建設	鹿島建設	SRC	3	-	1889.5	5317.8	13.0	17.4	栃木県 塩谷郡	鉛入り積層ゴム
205	MNNN - 0656	2003/1/27	BCJ基評-IB0344-01	津島市民病院(病棟増築)	中建設計	中建設計	RC	6	-	1690.2	8076.3	23.3	29.8	愛知県 津島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
206	MNNN - 0661	2003/2/24	BCJ基評-IB0301-02	橋原総合病院	久米設計	久米設計	RC	7	1	9033.3	37924.4	27.2	27.8	静岡県 橋原郡	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー 転がり系支承 オイルダンパー
207	MNNN - 0663	2003/2/28	BCJ基評-IB0347-1	(仮称)パンペール向山公園	矢作建設工業 構造計画研究所	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	8	1	860.4	4350.3	22.7	23.2	愛知県 豊橋市	高減衰 オイルダンパー
208	MNNN - 0664	2003/2/24	BCJ基評-IB0343-01	金沢大学医学部付属病院中央診療棟・ 外来診療棟	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	RC	4	2	27.6	28.9	19.0	28.9	石川県 金沢市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
209	MFNN - 0676	2003/3/13	ERI-J02007	(仮称)杏林大学医学部付属病院・手術 棟建設計画	杏林学園	竹中工務店	RC	5	2	2634.1	14692.5	19.5	23.7	東京都 三鷹市	鉛入り積層ゴム
210	MNNN - 0681	2003/3/14	BCJ基評-IB0351-01	NHK新山口市放送会館	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	3	-	2337.5	5380.0	15.2	59.8	山口県 山口市	天然積層ゴム 十字型直動転がり支承 弾塑性系減衰材
211	MFNB - 0686	2003/3/10		(仮称)神宮前四丁目地区第一種市街地 再開発事業	安藤忠夫建築研究所・ 入江三宅設計事務所・ 森ビル	金箱構造設計事務所	SRC RC S	3	3		33916.1			東京都 渋谷区	
212	MNNN - 0687	2003/3/14	ERI-J02006	ちば県民保健予防財団ビル	久米設計	久米設計	RC	6	-	2628.6	10056.8	27.0	31.0	千葉県 美浜区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー 直動転がり支承
213	MNNN - 0696	2003/3/17	ERI-J02009	(仮称)広島市民病院新棟(外来診療棟・ 東病棟)	久米・村田相互設計JV	久米・村田相互設計JV	SRC	11	1	11568.4	31945.6	44.4	51.0	広島市中 区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 鋼棒ダンパー オイルダンパー
214	MFNN - 0700	2003/3/28	GBRC建評-02-11A-007	(仮称)高麗橋ビル	プランテック総合計画	アルファ構造デザイン 竹中工務店	S	8	1	1124.6	9612.8	32.1	34.7	大阪市 中央区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
215	MFNB - 0701	2003/4/22	BCJ基評-IB0532-01	マブチモーター株式会社新社屋	日本アイ・ピー・エム	日本設計	SRC	4	1	4804.7	19388.6	19.8	25.8	千葉県 松戸市	鉛プラグ入り積層ゴム
216	MNNN - 0702	2003/3/17	GBRC建評-02-11A-010	NHK神戸新放送会館	大林組 日本設計	大林組	S	3	-	2074.0	5222.0	15.0	19.8	神戸市 中央区	鉛プラグ入り積層ゴム 摩擦転がり支承 両面転がり支承
217	MNNN - 0707	2003/3/17	BCJ基評-IB0359	(仮称)亀田総合病院K棟	フジタ	フジタ	RC	13	-	3886.6	2300.1	56.6	63.0	千葉県 鴨川市	鉛プラグ入り積層ゴム
218	MNNN - 0712	2003/4/17	BCJ基評-IB0361-01	栃木県庁本館(曳家及び改修)	日本設計	日本設計	RC	4	-	677.0	2638.0	18.8	21.0	栃木県 宇都宮市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
219	MNNB - 0715	2003/5/14	BCJ基評-IB0346-01	NHK福島新放送会館	NTTファミリーーズ 平木建築設計事務所JV	NTTファミリーーズ 平木建築設計事務所JV	RC	4	1	2043.7	5688.0	21.0	59.7	福島県 福島市	鉛入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m ²)					延べ床面積(m ²)
260	MNNN - 0969	2004/3/2	ERI-J03018	NHK沖縄放送会館	山下設計 大林組	山下設計 大林組	S	3	-	2450.0	5938.0	15.4	20.6	沖縄県 那覇市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 摩擦ダンパー
261	MNNN - 0987	2004/2/4	BCJ基評-IB0597-01	(仮称)さいたま市民医療センター	共同建築設計事務所	東京建築研究所	RC	6	1	7999.2	29165.4	28.2	31.8	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
262	MNNN - 0989	2004/3/4		石巻赤十字病院(仮称)	日建設計	日建設計	RC	7	1		32485.0			宮城県 石巻市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム一体型U型ダンパー U型ダンパー
263	MNNN - 1000	2004/3/11		(仮称)名鉄伊金山	平成設計	平成設計	RC	14	-		4467.0	39.2		愛知県 名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
264	MNNN - 1001	2004/3/11	ERI-J03021	エクセルイン小山	平成設計	塩見	RC	12	-	301.7	2817.4	36.7	41.0	栃木県 小山	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
265	MNNN - 1023	2004/4/14	BCJ基評-IB0435-01	(仮称)シティコーポ福岡Ⅱ	淺沼組	淺沼組	RC	10	-	1317.3	9326.4	29.9	30.4	愛知県 名古屋	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
266	MNNN - 1025	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-012	徳島市新病院	大阪山田守建築事務所	大阪山田守建築事務所	RC	11	1	4265.1	30182.3	45.3	54.3	徳島県 徳島市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承
267	MNNN - 1027	2004/5/10	BCJ基評-IB0436-01	滋賀県警察本部庁舎	日本設計	日本設計	SRC柱 S梁	10	2	3178.9	26384.1	44.3	59.0	滋賀県 大津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
268	MNNN - 1030	2004/5/10	ERI-J03023	新潟市市民病院	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	CFT柱 S梁	11	-	11123.5	49681.5	49.4	50.5	新潟県 新潟市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
269	MNNN - 1039	2004/5/14	GBRC建評-03-11A-015	三菱京都病院	美紀設計	荒川構造計画 竹中工務店	RC	5	1	4701.6	19983.7	19.4	23.0	京都市 西京区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
270	MNNN - 1045	2004/5/10	ERI-J04002	新吉小牧市立総合病院	久米設計	久米設計	SRC	6	-	10508.9	28009.4	27.7	34.3	北海道 苫小牧	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
271	MFNN - 1050	2004/5/17	BCJ基評-IB0366-02	慶應義塾大学(三田)新校舎(仮称)	大成建設	大成建設	RC	13	3	2200.0	18850.0	48.4	53.4	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 流体系減震材
272	MNNN - 1055	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-014	(仮称)西宮両度町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	3960.2	21995.9	41.1	41.6	兵庫県 西宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
273	MNNN - 1057	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-013	大阪市消防局庁舎(西消防署併設)	大阪市住宅局 安井建築設計	大阪市住宅局 安井建築設計	RC	8	-	3151.5	17795.2	42.8	51.3	大阪市 西区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
274	MFNN - 1058	2004/5/28	BCJ基評-IB0415-01	(仮称)帝国データバンク東京支社ビル	鴻池組	鴻池組	CFT柱 S梁	9	1	683.6	6376.1	36.1	42.7	東京都 新宿区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
275	MNNN - 1068	2004/5/21	BCJ基評-IB0446-01	シティコーポ正木(仮称)	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	15	-	485.2	5919.5	44.2	44.7	愛知県 名古屋	高減震ゴム系積層ゴム 流体系減震材
276	MNNN - 1074	2004/6/8	BCJ基評-IB0385-02	財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院新病棟	機祥設計	機祥設計	S	2	-	1708.5	1129.1	9.3	9.9	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー
277	MFNN - 1084	2004/6/8	ERI-J04004	(仮称)鶴川神楽マンション	朝日建設	朝日建設 清井建築工学研究室 山上構造企画	RC	12	-	1038.5	4877.2	40.0	40.5	東京都 町田市	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
278	MNNN - 1087	2004/6/23	ERI-J04003	西伯町国民健康保険西伯病院	佐藤総合企画	佐藤総合企画	RC	5	-	5200.0	15651.4	20.5	23.0	鳥取県 西伯町	天然積層ゴム 転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
279	MNNN - 1088	2004/7/8	GBRC建評-04-11C-001	(仮称)桂地蔵寺	スペースグラフィティ	竹中工務店	木造	1	-	280.4	224.5	5.3	10.2	京都市 西京区	曲面すべり支承
280	MNNN - 1099	2004/7/8	ERI-J04006	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区B棟	UG都市建築 隈研喜建築都市設計 藤本社介建築設計	フジタ	RC	8	-	695.3	4060.8	24.9	25.4	千葉県 美浜区	鉛入り積層ゴム
281	MNNN - 1122	2004/8/16		近江八幡市民病院整備運営事業 病院施設	内藤建築事務所・大林組	内藤建築事務所・大林組	S-RC	5	-		33841.0			滋賀県 近江八幡	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
282	MNNN - 1131	2004/8/16	ERI-J04008	長野松代総合病院 診療棟・病棟増築計画	エーシー工設計	構造計画プラスワン	RC	8	-	2132.9	12126.1	30.4	33.2	長野県 長野市	天然積層ゴム すべり支承 U型ダンパー 鉛ダンパー
283	MNNN - 1135	2004/8/16	BCJ基評-IB0456-01	(仮称)多摩水道改革推進本部庁舎	佐藤総合企画		RC	10	1		12983.0	43.2		東京都 立川市	
284	MNNN - 1149	2004/8/31	BCJ基評-IB0476-01	(仮称)千葉みなと計画	ピーエス三菱	ピーシー建築技術研究所	PC RC	19	-	973.0	13992.0	59.1	64.8	千葉県 千葉区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム
285	MNNB - 1164	2004/9/7	BCJ基評-IB0463-01	清水建設技術研究所新風洞実験棟	清水建設	清水建設	RC	2	1	911.4	1253.0	13.8	13.9	東京都 江東区	高減震積層ゴム
286	MNNN - 1165	2004/8/31		名古屋掖済済病院救命救急センター	日本設計	日本設計	RC (PC)	4	0		9157.0			愛知県 名古屋	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
287	MFNN - 1172	2004/9/28		千葉県警察本部新庁舎	日本設計	日本設計	S	11	2		43530.0			千葉県 千葉市	鉛プラグ入り積層ゴム
288	MNNN - 1180	2004/10/6		沢井製菓株式会社 本社・研究所ビル	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S	10	-		13303.9	60.0		大阪府	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
289	MFNN - 1208	2004/11/16	BCJ基評-IB0473-01	H16名古屋第2地方合同庁舎(耐震改修)	国土交通省中部地方整備局 富樫部 梓設計		SRC	8	2		24378.0	29.7		愛知県 名古屋	
290	MNNN - 1212	2004/11/4	ERI-J04017	(仮称)西早稲田2丁目ビル	叶設計	佐藤工業	RC	11	2	677.1	5841.8	43.1	46.4	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム
291	MNNN - 1223	2004/11/30	ERI-J04018	県立こども病院周産期施設・外科病棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	2320.0	12785.0	26.2	37.9	静岡県 静岡市	天然積層ゴム すべり支承
292	MNNN - 1230	2004/11/30	ERI-J04020	(仮称)ル・シエマニの丸	東畑設計	大豊建設	RC	13	-	440.3	4691.3	39.6	41.0	静岡県 静岡市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
293	MNNN - 1248	2005/1/12	ERI-J04019	町田市市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	SRC RC	10	1	4975.0	41413.5	41.6	43.5	東京都 町田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
294	MFNN - 1253	2004/12/27		大阪弁護士会新会館	日建設計	日建設計	S-SRC	14	2	2251.0	17005.0			大阪府 大阪市	オイルダンパー・鋼材ダンパー による免震に似た構造
295	MNNN - 1263	2004/12/21	BCJ基評-IB0492-01	ザンコート砂田橋3棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	1359.0	8595.6	27.5	29.5	愛知県 名古屋	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m ²)				延べ床面積(m ²)	
373	MNNN - 1624	2005/10/19		(仮称)アルファグランデ新浦安武番街	スターツ	柱設計	RC	10	-	10431.0			鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム		
374	MNNN - 1625	2005/10/19		(仮称)紙与楽院ビル	日建設計	日建設計	RC	10	1	11886.6					
375	MNNN - 1629	2005/10/25	ERI-J05031	磐田駅前地区第一種市街地再開発事業	共同組合 都市設計連合 エスバス建築事務所	共同組合 都市設計連合 エスバス建築事務所	RC	16	-	586.1	7628.9	49.8	55.2	静岡県 磐田市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
376	MNNN - 1632	2005/10/25	BCJ基評-IB0559-01	白河厚生総合病院	日建設計	日建設計	RC	8	1	11187.2	38900.2	36.5	41.5	福島県 白河市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
377	MNNN - 1637	2005/10/25	ERI-J05030	(仮称)セコンコ・瀬浦和PDセンター	釣谷建築事務所	釣谷建築事務所 船橋建築 ティール・アール・エー	PC造	6	-	16691.9	70426.2	30.2	30.6	埼玉県 さいたま市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
378	MNNN - 1638	2005/10/25		(仮称)バンベル月島	矢作建設工業	矢作建設工業 エスバス建築事務所	RC	11	1		3584.7	32.8		愛知県	高減衰積層ゴム オイルダンパー
379	MNNN - 1639	2005/10/25	ERI-J05034	四日市商工会議所 新会館	日建設計	日建設計	RC	4	-	820.0	3200.0	17.5	21.5	三重県 四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム
380	MNNN - 1640	2005/11/4		(仮称)白山口ビル	竹中工務店	竹中工務店	OFT RC	12	-		1400.5	38.4		東京都	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
381	MNNN - 1644	2005/11/4		IC PROJECT	大成建設	大成建設	S	4	1		3894.1	23.0		大阪府	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
382	MNNN - 1646	2005/11/4	BCJ基評-IB0555-01	パナホームR免震住宅	パナホーム	パナホーム テクノウェーブ	RC	1又は2	-	54~500	54~500	9以下	13以下	-	ベアリング支承 オイルダンパー
383	MNNN - 1652	2005/11/4	ERI-J05035	全労済埼玉県本部会館(仮称)	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	エヌ・ティ・ティファシリティーズ	RC	8	-	398.8	2970.4	30.5	34.5	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 十字型直動転がり支承 オイルダンパー 増幅機構付減衰装置
384	MNNB - 1653	2005/11/28		学校法人獨協学園 獨協大学創立40周年記念館(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	4	-		12688.0	25.3		埼玉県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 球体転がり支承 オイルダンパー
385	MNNN - 1662	2005/11/28		(仮)プロロジス大阪Ⅱプロジェクト	清水建設	清水建設 RSI	PCaPC	8	0		169125.0	54.6		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
386	MNNN - 1665	2005/11/28	BCJ基評-IB0560-01	金原 孝行邸	三菱地所ホーム テクノウェーブ		木造	2	-		210.0	8.9		宮城県 仙台市	
387	MNNN - 1671	2005/11/28		自治医科大学附属大宮医療センター病棟	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	Pca-Pc	7	-	3304.0	17398.3	28.9		埼玉県	天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承 U型鋼材ダンパー オイルダンパー
388	MNNN - 1675	2005/11/28		横河電機相模原事業所	竹中工務店	竹中工務店	柱SRC 梁S	5	-		27187.0	21.7		神奈川県 相模原市	天然ゴム系積層ゴム 粘性体ダンパー オイルダンパー
389	MNNN - 1679	2005/11/28		(仮称)パークハウス常盤松	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	6	1		2709.5	19.4		東京都	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム
390	MNNN - 1680	2005/12/13		愛知県厚生連加茂病院	久米設計	久米設計	OFT	5	1	18398.8	54809.0	34.9		愛知県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り天然ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー オイルダンパー
391	MNNN - 1686	2005/12/13		岩手県立花巻厚生・北上統合病院	久米設計	久米設計	RC	6	1	12412.0	29470.0	28.4		岩手県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り天然ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
392	MNNN - 1696	2006/1/5	BCJ基評-IB0585-01	(仮称)南南布四丁目計画	竹中工務店		RC	5	2		5.1	15.0		東京都 港区	
393	MNNN - 1700	2006/1/10	BCJ基評-IB0567-01	飯上 直人邸	三菱地所ホーム テクノウェーブ	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-		171.0	8.8		神奈川県 藤沢市	
394	MNNN - 1720	2006/1/23	BCJ基評-IB0571-01	和歌山労災病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	6	-	8003.6	21888.0	29.1	39.6	和歌山県 和歌山市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 球体転がり支承 減衰ゴマ
395	MFNN - 1723	2006/1/30	BCJ基評-IB0572-01	清水建設技術研究所セキュリティセンター	清水建設		RC S	4	-		214.0	17.8		東京都 江東区	
396	MNNN - 1728	2006/1/23		(仮称)大分キャンパリアル第2拠点建設計画	鹿島建設	鹿島建設	RC				109320.0			大分県 大分市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
397	MNNN - 1729	2006/2/20	ERI-J05045	野村證券静岡支店	野村ファシリティーズ		RC	4	1	748.9	3489.6	18.2	22.2	静岡県 静岡市	鉛入り積層ゴム
398	MNNN - 1730	2006/2/20	ERI-J05046	(仮称)ドラッグラン幸町	幸田設計	幸田組 技術協力 塩見	RC	15	-	324.2	3546.8	44.7	44.9	長崎県 諫早市	鉛入り積層ゴム
399	MNNN - 1731	2006/1/23	ERI-J05047	(仮称)美浜区高洲3丁目プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	10	-	582.3	4508.7	32.7	33.8	千葉県 千葉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
400	MNNN - 1738	2006/2/6	BCJ基評-IB0573-01	(仮称)共同通信社 研修・交流センター	鹿島建設	鹿島建設	RC (一部S)	4	-	2225.4	5087.6	16.0	19.5	東京都 中央区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 流体系減衰材
401	MNNN - 1740	2006/2/13		(仮称)一番町13-6計画	トルテック都市建築設計事務所	構造計画研究所	RC	19	2		9725.0	60.0		東京都 千代田区	高減衰ゴム積層 オイルダンパー
402	MNNN - 1744	2006/2/13	BCJ基評-IB0575-01	(仮称)日本通運機東京海外引越支店 東京トランクルーム	日通不動産		RC	5	-		21908.0	32.6		東京都 品川区	
403	MNNN - 1746	2006/2/13	ERI-J05049	垂水消防署新庁舎	エーアンドディ設計企画	エーアンドディ設計企画	RC	4	-	1141.8	3144.4	14.2	15.8	兵庫県 神戸市	高減衰積層ゴム
404	MNNN - 1747	2006/2/13	ERI-J05048-01	西尾市新庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1		18283.0	33.2		愛知県 西尾市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
405	MNNN - 1757	2006/2/20	4H6.05.E11-0080400-05	(仮称)西葛西ホテル	スターツCAM	スターツCAM ダイミックスデザイン	RC	14	-	526.6	4321.5	42.7	43.8	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
406	MNNN - 1759	2006/2/20	JSSJ-構評-05003	(仮称)大沢3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 織本匠構造設計研究所	RC	8	-	174.5	1255.8	23.8	24.4	埼玉県 越谷市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
407	MNNN - 1764	2006/2/20	GBRC建評-05-11A-016	(仮称)ワコーレ大開通マンション	鴻池組	鴻池組	RC	17	-		20462.0	53.2		兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
408	MNNN - 1767	2006/2/28	BCJ基評-IB0574-01	名古屋市住宅都市局管轄部 営繕課 三菱地所設計	名古屋市住宅都市局管轄部 営繕課 三菱地所設計	名古屋市住宅都市局管轄部 営繕課 三菱地所設計	SRC	5	1	4483.9	25760.4	22.1	54.0	愛知県 名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m ²)					
570	MNNN - 2431	2007/8/20		西部医療センター中央病院(仮称)	日建設計	日建設計	S	8	1	42590	36.39	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー		
571	MFNN - 2465	2007/9/28	GBRC基評-07-0228-003	株式会社奥村組名古屋支店	奥村組	奥村組	S (CFT柱)	6	1	2379	23.2	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー		
572	MNNN - 2469	2007/9/27	ERI-J07014	(仮称)上池台石井レジデンス	デベロッパデザイ	MUSA研究所 構造計画研究所	RC	9	-	480.1	1887.2	東京都大田区	高減衰積層ゴム		
573	MNNN - 2472	2007/9/6	BCJ基評-IB0709-01	兵庫県新庁舎	梓設計	梓設計	RC (一部RC)	5	-	1410.9	6690.32	兵庫県 赤松市	鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー		
574	MNNN - 2475	2007/9/27	BCJ基評-IB0708-01	(仮称)ファンケルホームライフビル	大林組	大林組	S RC	9	1	4757.9	40.0	神奈川県横浜市			
575	MNNN - 2489	2007/10/4	ERI-J07015	東京都医学系総合研究所(仮称)	伊藤嘉三郎建築研究所	伊藤嘉三郎建築研究所	PCaPC	5	-	5518.2	19981.7	東京都 世田谷区	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー(U型ダンパー) オイルダンパー		
576	MNNN - 2540	2007/11/12	JSSI-構評-07008	(仮称)飾直ビル	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	4	-	175.4	535.1	東京都 江東区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム		
577	MNNN - 2545	2007/11/16		(仮称)ミオカステロ口熱海銀座町	イナバ設計	構造計画研究所	RC	19	1			静岡県熱海市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー		
578	MNNN - 2560	2007/11/12	BCJ基評-IB0711-01	ニューシティ横浜ロジスティクスパークA棟	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC RC	7	-	1901.9	132361.0	47.7	53.1	神奈川県横浜市	高減衰系積層ゴム
579	MNNB - 2563	2007/11/19	ERI-J07004-02	立川市庁舎	野沢正光・山下設計 設計共同	野沢正光・山下設計 設計共同	PCPCa	4	1		26019.3	18.91		東京都立川市	天然ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 剛すべり支承
580	MNNN - 2564	2007/11/5	JSSI-構評-07007	(仮称)舎人5丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	11	-	496.4	3549.9	35.7	36.4	東京都足立区	鉛プラグ入り積層ゴム
581	MNNN - 2568	2007/11/12	ERI-J07019	松坂警察署	山下設計	山下設計	RC (PS)	4		4850	17.5			三重県松阪市	天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー 鋼製U型ダンパー 鉛プラグ入り積層ゴム
582	MNNN - 2581	2007/12/3	BCJ基評-IB0710-01	福岡大学病院新診療棟(仮称)	日本設計	日本設計	RC	7	1		26224.7	31.8		福岡県福岡市	
583	MNNN - 2611	2007/12/11	UHEC評価-構19008	シテイコーポ小城(仮称)南棟	松村・浦野特別共同企業体	松村・浦野特別共同企業体 ダイナミックデザイン	RC(一部SRC)	10	-	902.1	7115.4	30.5	31.0	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
584	MNNN - 2613	2007/12/11	JSSI-構評-07009	(仮称)小嶋様箕輪町3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	644.5	1496.1	8.7	9.2	神奈川県横浜市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
585	MNNN - 2623	2007/12/17	ERI-J07023	(仮称)ベルギー大使館建替計画(大使館棟)	竹中工務店	竹中工務店	SRC	8	2		7509.6	45.21		東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
586	MNNN - 2631	2007/12/26	BCJ基評-IB0715-01	砂川市立病院	大建設計	大建設計 職本構造設計	SRC S	7	-	8991.3	34865.1	37.4	37.4	北海道砂川市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がりローラー支承 減衰こま
587	MNNN - 2632	2007/12/26	BCJ基評-IB0714-01	小林市立市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 職本構造設計	RC	5	-	4246.3	10715.6	22.5	27.5	宮城県小川市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 オイルダンパー 転がりローラー支承
588	MNNN - 2633	2007/12/26		姫路警察庁舎棟	日本設計	日本設計	RC	7	1		8818	33.55		兵庫県姫路市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
589	MNNN - 2646	2008/1/11		(仮称)ピエール北本町3丁目	和建設	和建設	RC	14		7557				高知県高知市	高減衰積層ゴム
590	MNNN - 2659	2008/1/11	BCJ基評-IB0720-01	京都大学積貞棟(病棟)	日本設計	日本設計	RC	8	1		20379.3	30.9		京都府京都市	
591	MNNN - 2662	2007/10/19	BCJ基評-IB0718-01	余津オアシス	戸田建設	戸田建設	S CFT	5	-	5969.3	22598.0	30.0	30.7	福島県会津若松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 オイルダンパー
592	MNNN - 2671	2007/12/21	BCJ基評-IB0713-01	中央労働会館本店	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S	9	1		5847	37.53		東京都千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
593	MNNN - 2681	2008/1/24		三重大学医学部附属病院病棟・診療棟	岡田新一設計事務所・ORS	岡田新一設計事務所・ORS	SRC	12		41528					積層ゴム 直動転がり支承
594	MNNN - 2694	2008/1/24	ERI-J07028	(仮称)アルファステイツ橋	現代建築計画事務所	構造計画研究所	RC	15	-	325.6	3993.2	43.8	44.8	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
595	MNNN - 2695	2008/1/24	ERI-J07025	(仮称)アルファステイツ新屋敷	興建築工房	構造計画研究所	RC	12	-	379.0	3127.8	36.5	40.0	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
596	MNNN - 2696	2008/1/24	ERI-J07027	株豊田自動織機グローバル研修センター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	7	-	4510.7	13472.1	28.5	29.5	愛知県豊田	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
597	MNNN - 2702	2008/1/24	BCJ基評-IB0712-01	(仮称)神戸市東灘区本庄町1丁目マンション	浅井謙建築研究所	三井住友建設	RC	7	-		5662.9	21.9		兵庫県神戸市	
598	MFNN - 2711	2007/12/26	BCJ基評-IB0719-01	青梅市新庁舎	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC SRC (一部S CFT)	7	1	4896.6	22097.8	28.9	29.5	東京都青梅市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 転がり系支承 U型鋼棒ダンパー
599	MNNB - 2712	2008/2/8	BCJ基評-IB0664-02	(仮称)スカパー東京メディアセンター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	6	1	3939.6	17579.9	30.6	34.5	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
600	MNNN - 2744	2008/2/4	UHEC評価-構19019	医療法人 里仁会 興生総合病院移転新築計画	フジタ	フジタ 高環境エンジニアリング	RC	8	1	3569.4	23239.9	32.6	40.9	広島県三原市	鉛入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 すべり系支承 流体系ダンパー
601	MNNN - 2746	2008/2/4		クラヤ三星堂 神奈川ALC(仮称)	大成建設機	大成建設機	S	3	-						
602	MNNN - 2757	2008/2/5	JSSI-構評-07011	(仮称)南篠崎町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	-	388.9	1701.6	18.5	19.0	東京都江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
603	MNNN - 2758	2008/2/5	JSSI-構評-07013	(仮称)思田番幸様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	406.4	2055.4	21.3	23.1	千葉県流山市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
604	MNNN - 2759	2008/2/5	UHEC評価-構19020	コルセ・カレ日向	安藤建設	五洋建設	RC	14	-	775.5	8288.4	43.8	44.6	宮崎県日向市	高減衰積層ゴム支承 弾性すべり支承
605	MNNN - 2760	2008/2/5	BCJ基評-IB0726-01	内閣本府 A棟		国土交通省大臣官房官庁営繕部 日本設計	RC	6	1		18384.5	23.8		東京都千代田区	
606	MNNN - 2774	2008/2/13	ERI-J07035	(仮称)大分・金池マンション	新生設計	構造計画研究所	RC	14	-	271.5	2394.0	39.0	40.0	大分県大分市	高減衰積層ゴム
607	MNNN - 2783	2008/1/29	BCJ基評-IB0582-02	有明の丘基幹的広域防災拠点施設(防災拠点有明の丘地区本部施設棟(仮称))	日建設計	日建設計	RC (一部S)	2	-	6110.3	9411.7	11.0	73.3	東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m ²)				延べ床面積(m ²)	軒高(m)
608	MNNN - 2792	2008/2/15	ERI-J07038	(仮称)長岡市消防本部・消防署合同庁舎建設計画	松田平田設計	松田平田設計	RC	4	-	7377.9	17.554	新潟県長岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 オイルダンパー		
609	MFNN - 2800	2008/3/12	BCJ基評-IB0721-02	和歌山工業高校新館		松田平田設計 構造計画研究所	RC	6	-	9523.3	28.9	和歌山県和歌山市			
610	MNNN - 2821	2008/2/29	ERI-J07041	大山市役所庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1	2448.8	9754	27.9	32.8	愛知県大山市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承 リニア鋼材ダンパー
611	MNNN - 2830	2008/3/5		湘南鎌倉総合病院	新都設計	熊谷組 構造計画研究所	RC	15	1	5794.8		神奈川県鎌倉市	高減衰積層ゴム オイルダンパー		
612	MNNN - 2835	2008/3/3	ERI-J07040	ラファイネ上田	窪田建設	構造計画研究所	RC	12	-	413.8	3942.9	35.5	36.0	長野県上田市	鉛プラグ挿入型積層ゴム
613	MNNF - 2841	2008/3/27	BCJ基評-IB-0741-01	つくば市新庁舎	山下設計	山下設計	PCa PC	7	-	21434	32.2	茨城県つくば市	天然ゴム・鋼材ダンパー・LRB		
614	MNNN - 2847	2008/3/11	JSSI-構評-07014	(仮称)船橋市本町7丁目PJ	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	256.2	1127.8	15.5	16.0	千葉県船橋市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
615	MNNN - 2849	2008/3/11	BCJ基評-IB0740-01	熊本大学医学部附属病院棟	日本設計	日本設計	SRC	13	1	45045.3	56.7	熊本県熊本市			
616	MNNN - 2855	2008/2/13	UHEC評価-構19015	(仮称)仙台中央第一生命ビルディング	竹中工務店	竹中工務店	RC・SRC	7	1	6902.56	27.265	宮城県仙台市	高減衰ゴム すべり支承		
617	MNNN - 2862	2008/3/31		知多厚生病院診療棟	日本設計	日本設計									
618	MNNN - 2867	2008/3/31	K-0811-8	(仮称)研修・食堂棟	日建設計	日建設計	S	8	-	13565	39.7	静岡県静岡市	天然ゴム系・鉛ダンパー		
619	MNNN - 2868	2008/3/31		長谷川香料株式会社研究棟	大成建設	大成建設	RC	6	1	9234.85	29.7	神奈川県川崎市	天然ゴム すべり支承		
620	MNNN - 2887	2008/3/31	JSSI-構評-07015	(仮称)篠崎高齢者賃貸住宅	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	657.7	2806.6	15.9	16.4	東京都江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
621	MNNN - 2941	2008/5/7	BCJ基評-IB0743-01	(仮称)白山寮建替計画	清水建設	清水建設	RC	3	1	810.2	2847.0	9.1	10.0	東京都文京区	高減衰系積層ゴム
622	MNNN - 2948	2008/5/15		(仮称)宮崎市神宮東一丁目マンション	塩見設計	塩見設計	RC	19	-	13025.08	57.51	宮崎県宮崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 天然ゴム オイルダンパー		
623	MNNN - 2973	2008/5/22	ERI-J07051	NTN新薬名研究開発センター(仮称): (研究本館)	大林組	大林組	S	6	-	10400	28.565	三重県桑名市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動軸がり支承 弾性すべり支承 鋼製リニアダンパー		
624	MNNN - 2976	2008/5/22	JSSI-構評-07017	(仮称)用賀1丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	413.8	1042.5	9.4	9.8	東京都世田谷区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
625	MNNN - 2980	2008/5/22	UHEC評価-構19030	(仮称)LGVデータセンター棟	日建設計	日建設計	SRC	3	-	428.4	1223.2	13.6	15.7	長野県諏訪市	天然ゴム系積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承 鉛ダンパー
626	MNNN - 2993	2008/5/22	ERI-J08003	(仮称)サーバス盛高	穴吹工務店	穴吹工務店 ディグレタケー 免震エンジニアリング	RC	14	-	555.7	6083.2	42.6	43.0	岩手県盛岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
627	MNNN - 3000	2008/5/22	ERI-J08002	品川区総合庁舎	山下設計	山下設計	SRC	8	2	5295.7	31022.3	29.9	48.3	東京都品川区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動軸がり支承
628	MNNN - 3002	2008/5/22	UHEC評価-構19028	安曇野赤十字病院	日建設計 宮本忠長建築設計事務所	日建設計	RC	6	-	5802.1	21658.1	26.7	33.5	長野県安曇野市	天然ゴム系積層ゴム 免震U型ダンパー すべり支承
629	MNNN - 3008	2008/6/2	BCJ基評-IB0745-01	K氏邸	旭化成ホームズ	旭化成ホームズ えびす建築研究所	RC	3	-	75.9	150.3	9.0	9.3	東京都杉並区	剛すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
630	MNNN - 3015	2008/6/2	ERI-J08004	(仮称)鶴岡E棟	朝日建設	酒井建築工学研究室	RC	11	-	407.1	2195.3	32.5	32.9	神奈川県大和市	高減衰積層ゴム
631	MNNN - 3052	2008/6/9	BCJ基評-IB0752-01	(仮称)ディスコ桑畑工場新A棟	大林組	大林組	SRC	8	-	63846.86	44.95	広島県呉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム ディスクダンパー		
632	MNNN - 3054	2008/6/16	JSSI-構評-08001	(仮称)船堀4丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	323.8	1244.4	14.9	15.3	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
633	MNNN - 3080	2008/6/20	ERI-J08013	(仮称)茨木EWCビル計画	奥村組	奥村組	S	4	-	284.1	1132.3	16.0	18.9	大阪府茨木市	回転機構付きすべり支承 復元ゴム
634	MNNN - 3109	2008/7/9	ERI-J08010	(仮称)石神井計画	Add設計工房	塩見	RC	10	-	291.9	1817.7	33.8	35.2	東京都練馬区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
635	MNNN - 3111	2008/7/9	JSSI-構評-08003	(仮称)遠田様免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	8	-	574.6	2795.4	24.2	25.3	埼玉県八潮市	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
636	MNNN - 3133	2008/6/16	BCJ基評-IB0637-02	東京女子医科大学 第一病棟	日建設計 現代建築研究所	織本構造設計	RC	9	3	1778.5	20489.0	40.5	40.5	東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
637	MNNN - 3137	2008/7/9	GBRC建評-08-22B-002	(仮称)彩都C-17街区集合住宅	竹中工務店大阪 一級建築士事務所	竹中工務店大阪 一級建築士事務所	RC	14	1	14398.3	38.0	大阪府茨木市	高減衰ゴム		
638	MNNN - 3142	2008/7/9	ERI-J08007	(仮称)ナイス川崎南幸町	協立建築設計事務所	協立建築設計事務所 塩見	RC	13	-	346.7	3400.0	38.5	39.0	神奈川県川崎市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
639	MNNN - 3188	2008/8/6	JSSI-構評-08005	(仮称)エリタージュII	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	7	-	108.5	691.2	20.02	22.565	千葉県松戸市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
640	MNNN - 3196	2008/8/6	ERI-J08012	(仮称)榎木町マンションプロジェクト	矢作建設工業	矢作建設工業	RC	15	1	4517.15	42.25	愛知県名古屋	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承		
641	MNNN - 3301	2008/8/26	ERI-J08026	SF高島台免震マンション	OKI建築事務所	イケ建築事務所	RC	4	-	114.9	384.6	12.8	13.3	神奈川県横浜	弾性すべり支承 天然積層ゴム
642	MNNN - 3432	2008/9/24	JSSI-構評-08006	(仮称)青木様第3丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	520.7	2337.0	14.5	14.945	神奈川県横浜	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
643	MNNN - 3447	2008/9/24	JSSI-構評-08008	(仮称)樋口様大船2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	330.6	1718.02	22.87	22.98	神奈川県鎌倉市	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
644	MNNN - 3448	2008/9/24	JSSI-構評-08007	(仮称)小泉様箕輪町3丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	354.3	905.9	9.18	9.425	神奈川県横浜	鉛入り積層ゴム 回転機構付きすべり支承
645	MNNN - 3481	2008/10/20	JSSI-構評-08009	(仮称)岩橋様邸	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	2	-	307.8	438.6	9.56	9.65	東京都江戸川区	積層ゴム復元材 回転機構付きすべり支承
646	MNNN - 3500	2008/10/31	UHEC評価-構20020	(仮称)内神田3丁目プロジェクト	芦原太郎建築事務所	芦原太郎建築事務所 織本構造設計	RC	11	-	89.0	779.6	33.4	36.9	東京都千代田区	高減衰ゴム系積層ゴム支承 転がり支承
647	MNNN - 3501	2008/10/31	UHEC評価-構20019	(仮称)九段北4丁目プロジェクト	芦原太郎建築事務所	織本構造設計	RC	6	1	610.0	3949.7	20.7	24.4	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	延べ床面積(m ²)					
648	MNNN - 3507	2008/10/31	K-0811-5	名古屋港管理組合本庁舎等整備事業本庁舎・港湾会館	日建設計	日建設計	S(CFT)/RC/SRC	12	-	16329	50.0	愛知県名古屋	鉛プラグ入り・天然ゴム系・オイルダンパー・鉛ダンパー		
649	MNNN - 3508	2008/10/31	JSSI-構評-08010	(仮称)吉善北栄プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 日本システム設計	RC	5	-	406.2	1837.16	15.023	15.518	千葉県浦安市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
650	MNNN - 3509	2008/10/31	JSSI-構評-08011	(仮称)綱島プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	7	-	158.4	850.9	19.75	20.765	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 回転機構付すべり支承
651	MNNN - 3524	2008/10/31	ERI-J08035	JSR森山地区新社宅	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	-	5673.2	26.885			三重県四日市	鉛入り積層ゴム
652	MNNB - 3526	2008/11/17	ERI-J08020	(仮称)八戸市中心市街地地域観光交流施設	針生承一建築研究所・アトリエ ナルト・アトリエアーク設計共同 体	星野建築構造設計事務所	SRC	5	1	1552.0	7506.0	29.1	32.6	青森県八戸市	天然積層ゴム 鋼製U型ダンパー
653	MNNN - 3558	2008/11/13	ERI-J08037	(仮称)株式会社プリヂェン グローバル・モノづくり研修センター	松田平田設計	松田平田設計	RC	6	-	2510.9	14590.1	32.1	33.6	東京都小平市	高減衰系積層ゴム支承
654	MNNN - 3563	2008/11/13	ERI-J08038	(仮称)Dプロジェクト高島平 物流センター	大和ハウス工業	高環境エンジニアリング	SRC	6	-	5276.7	31536.0	41.0	41.8	東京都板橋区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承
655	MNNN - 3563	2008/11/13	ERI-J08038	(仮称)Dプロジェクト高島平 物流センター	大和ハウス工業	大和ハウス工業	高強度PC	6	-		31536.04	41.0		東京都板橋区	天然ゴム・鉛入り積層ゴム 低摩擦弾性すべり支承
656	MNNN - 3565	2008/11/20	JSSI-構評-08012	(仮称)植村様マンション	スターツCAM	スターツCAM ジェーエスディー	RC	6	-	540.1	2576.53	17.46	18.005	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
657	MNNN - 3566	2008/11/20	JSSI-構評-08014	(仮称)瑞江地区画整理プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	338.8	875.57	9.69	9.97	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
658	MNNN - 3579	2008/10/31	GBRC建評-07-022B-004-01B (実4)	(仮称)本町1丁目ビル	竹中工務店	竹中工務店	耐震壁+S	14	1		10248.3	59.2		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 免震U型ダンパー オイルダンパー
659	MNNN - 3600	2008/11/28	JSSI-構評-08013	(仮称)山田様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	12	-	292.2	3204.15	37.993	37.993	愛知県名古屋	鉛プラグ入り積層ゴム・ 回転機構付すべり支承
660	MNNN - 3626	2008/12/5	ERI-J08047-01	(仮称)ジャパゴアテックス 津工場	フジ総合企画設計・戸田建設	戸田建設	RC	6	-	2132.68	10018.38	27.8	31.7	三重県津市	積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
661	MNNN - 3649	2008/12/18	GBRC建評-08-022B-010	三井倉庫株式会社(仮称)茨木レコードセンター	清水建設	清水建設	RCSS	6	-		19.213	30.1		大阪府茨木市	高減衰・鉛プラグ入り天然ゴム オイルダンパー
662	MNNN - 3668	2008/12/22	JSSI-構評-08015	(仮称)東葛西8丁目須賀様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	219.3	1271.06	20.77	21.32	東京都江戸川区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
663	MNNN - 3708	2009/2/5	ERI-J08052	(仮称)ラフィネ松本本庄	峯生庵	構造フォルム	RC	14	-	682.1	7572.2	41.3	42.0	長野県松本市	高減衰系積層ゴム
664	MNNN - 3722	2009/1/7	ERI-J08036-01	(仮)芝大門ビル	野村不動産 戸田建設	野村不動産 戸田建設	S	11	2	1347.1	16315.6	46.7	54.6	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
665	MNNN - 3736	2009/2/10	JSSI-構評-08017	(仮称)上指師谷1丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 伸構造事務所	RC	4	-	289.3	997.2	11.69	12.33	東京都世田谷区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
666	MNNN - 3737	2009/2/10	JSSI-構評-08019	(仮称)国領町5丁目杉崎様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	337.4	1164.1	14.4	14.895	東京都瑞穂市	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
667	MNNN - 3744	2009/2/10	ERI-J08054	相模原キャンパス一般教育部新棟	日成建築設計事務所	鹿島建設	RC	7	-	2271.4	13437.7	31.8	32.9	神奈川県相模原市	高減衰系積層ゴム 弾性すべり支承
668	MNNN - 3764	2009/2/17	JSSI-構評-08018	(仮称)石神井台3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ジェーエスディー	RC	5	-	614.5	2095.9	14.85	15.095	東京都練馬区	鉛入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
669	MNNN - 3800	2009/2/23	ERI-J08063	(仮称)深沢マンション	生和建設	酒井建築工学研究室	RC	10	-	132.8	1132.9	31.7	36.2	東京都品川区	高減衰系積層ゴム
670	MNNN - 3833	2009/3/2	ERI-J08058	JA尾道総合病院	大旗連合建築設計	大旗連合建築設計	RC	8	-	9502.2	36718.8	39.1	42.1	広島県尾道市	高減衰系積層ゴム
671	MNNN - 3894	2009/3/24	BCJ基評-IB0785-01	株式会社アルプスビルバックアップセンター	日建設計	日建設計	SRC RC	6	-	2050.0	10207.0	29.6	37.6	富山県富山市	鉛プラグ入り積層ゴム
672	MNNN - 3960	2009/5/15	ERI-J08067	株式会社清工社KOC第2期	フジ総合企画設計	エス・エー・アイ構造設計事務所	RC	7	-	-	-	32.0	32.7	茨城県笠間市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
673	MNNN - 3961	2009/5/7	ERI-J08060	浜松市医師会館	竹下一級建築士事務所	飯島建築事務所	S SRC	7	1	923.7	5987.8	35.8	36.6	静岡県浜松市	高減衰系積層ゴム系積層ゴム支承
674	MNNN - 3984	2009/4/9	ERI-J08057-01	(仮称)国際医療福祉大学三田病院	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	RC	11	2	3327.2	36728.4	46.9	53.2	東京都港区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
675	MNNN - 4069	2009/5/15	ERI-J08047-01	(仮)ジャパゴアテックス 津工場	フジ総合企画設計 戸田建設	戸田建設	RC	6	-	2132.7	10018.4	27.8	31.7	三重県津市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
676	MNNN - 4183	2009/7/21	UHEC評価-構21001	(仮称)市谷プロジェクト	芦原太郎建築事務所	織本構造設計	RC	9	1	529.0	3516.0	38.4	43.4	東京都新宿区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 弾性すべり支承
677	MNNN - 4207	2009/7/2	BCJ基評-IB0780-02	気象庁清瀬庁舎(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	2	1	2028.4	5904.6	12.0	17.0	東京都清瀬市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
678	MNNN - 4210	2009/7/21	BCJ基評-IB0799-01	香美市新庁舎	日本設計	日本設計	RC	5	-	1326.7	6199.6	23.9	26.4	高知県香美市	天然ゴム系積層ゴム支承 鋼製U型ダンパー・体型天然ゴム系積層ゴム支承 すべり支承 鉛ダンパー
679	MNNN - 4231	2009/7/30	ERI-J09003	横浜ベイサイドマリーナ2期地区(仮称)マリーナクラブリゾートホテル	LKA総合デザイン研究所	TIS&PARTNERS 免震エンジニアリング	RC	3	-	1501.3	2652.1	14.2	24.4	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム すべり支承
680	MNNN - 4274	2009/9/8	ERI-J09006	(仮称)山田赤十字病院	日本設計 (協力) 竹中工務店	日本設計	S RC	5	-	14797.6	52987.4	22.7	34.6	三重県伊勢市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
681	MNNN - 4288	2009/9/25	ERI-J09009	精神医療センター(仮称)新館	昭和設計	昭和設計	RC	7	-	12845.0	55313.5	29.2	33.9	東京都世田谷区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
682	MNNN - 4289	2009/9/8	ERI-J09005	(仮称)八戸地域広域市町村圏事務組合 消防本部・八戸消防署	INA新建築研究所	酒井建築工学研究室	RC	5	-	1807.4	6482.5	21.4	22.0	青森県八戸市	天然積層ゴム
683	MNNN - 4432	2009/10/15	UHEC評価-構21009	慶應義塾大学(三田)新南校舎(仮称)	日建設計	日建設計	S SRC	7	1	2176.1	15042.1	32.9	37.5	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム支承 弾塑性系減衰材
684	MNNN - 4450	2009/10/28	UHEC評価-構21014	(仮称)学校法人藤科学園12号館新築計画	雄建築事務所	雄建築事務所 福島構造設計事務所 高環境エンジニアリング	RC	6	-	1486.9	7869.0	27.5	28.8	東京都国立市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 すべり支承 流体系ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)				延べ床面積 (㎡)	
685	MNNN - 4453	2009/10/28	ERI-J09015	広尾3丁目計画	大林組	大林組	RC	3	2	1201.9	4561.2	9.2	9.8	東京都 渋谷区	鉛入り積層ゴム 高減衰積層ゴム すべり支承
686	MNNN - 4454	2009/10/28	ERI-J09017	(仮称)株式会社ニレレイ・ロジスティクス 関東 東原島物流センター	東亜建設工業	東亜建設工業 (協力 アール・エス・アイ、 ティール・アール・イー)	S PC	5	-	8371.9	36250.7	34.9	38.1	神奈川県 川崎市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム支保一体型免震U型 ダンパー
687	MNNN - 4490	2009/11/30	ERI-J09024	(仮称)秋田町SA	四電ビジネス	四電ビジネス 酒井建築工学研究所	RC	8	-	440.4	2775.3	26.1	29.4	徳島県 徳島市	高減衰積層ゴム
688	MNNN - 4492	2009/11/30	UHEC評価-構21017	(仮称)さめき市民病院	共同建築設計事務所	織本構造設計	S RC	4	-	5243.4	14884.8	18.9	21.0	香川県 さぬき市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 転がり支承 減衰ゴマ
689	MNNN - 4510	2009/11/30	UHEC評価-構21016	(仮称)辻堂台第一丁目地区B-2街区計 画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	15	-	2169.3	11108.9	44.9	45.0	神奈川県 藤沢市	天然ゴム系積層ゴム支承 すべり支承 鉛ダンパ 鋼材ダンパー
690	MNNN - 4500	2010/1/21	ERI-J09028	(仮称)船田マンション	大和ハウス工業	大和ハウス工業 構造計画研究所	RC	7	-	294.6	1833.8	20.9	21.4	東京都 墨田区	鉛プラグ入り天然積層ゴム
691	MNNN - 4621	2010/1/28	UHEC評価-構21021	(仮称)東海大学伊勢原職員寮	大成建設	大成建設	RC	10	-	1329.7	8242.9	29.2	30.4	神奈川県 伊勢原市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
692	MNNN - 4624	2010/2/2	ERI-J09027	武蔵野大学有明キャンパス	大成建設	大成建設	RC	13	1	1822.2	17970.8	52.9	53.6	東京都 江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
693	MNNN - 4632	2010/2/22	UHEC評価-構21029	(仮称)美竹ビルマンション建替事業施工 再建マンション	UG都市建築	小堀謙二研究所	RC	17	3	2036.4	27080.4	59.4	64.9	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 オイルダンパー
694	MNNN - 4658	2010/2/24	ERI-J09033	新潟大学医歯学総合病院外来診療所	教育施設研究所	教育施設研究所	RC	6	1	11140.1	27687.7	35.3	35.9	新潟県 新潟市	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
695	MNNN - 4679	2010/3/3	ERI-J09030	公立高島総合病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 エスパス建築事務所	RC	5	-	4080.5	13995.8	25.5	27.0	滋賀県 高島市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 直動しる式転がり支承
696	MNNN - 4683	2010/3/30	ERI-J09035	(仮称)南大塚女子学生会館	総研設計	総研設計	RC	9	-	325.6	2580.0	28.5	29.0	東京都 豊島区	鉛入り積層ゴム
697	MNNN - 4707	2010/3/3	JSSI-構評-09012	(仮称)松浦様マンション	スターツCAM	スターツCAM	RC	5	-	152.5	730.3	15.5	16.5	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 復元ゴム
698	MNNN - 4840	2010/3/30	BCJ基評-IB0786-02	(仮称)浜岡事務本館免震棟	中部電力 鹿島・中電不動産JV 小堀謙二研究所	中部電力 鹿島・中電不動産JV 小堀謙二研究所	RC SRC	4	-	1587.8	6134.5	19.3	22.9	静岡県 御前崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパ
699	MNNN - 4848	2010/6/22	ERI-J09042	那覇市新庁舎	国建	国建 構造計画研究所	RC	12	2	4964.9	38742.4	51.4	56.8	沖縄県 那覇市	鉛入り積層ゴム
700	MNNN - 4962	2010/6/30	BCJ基評-IB0784-03	阿佐ヶ谷プロジェクト	杉浦英一建築設計事務所	構造計画研究所 清水建設	RC	3	-	255.0	506.4	8.9	9.0	東京都 杉並区	天然ゴム系積層ゴム支承 空気ばね スライダー ロッキング抑制付オイルダン パーステム 水平方向オイルダンパー
701	MNNN - 4963	2010/6/30	BCJ基評-IB0810-02	(仮称)竹田総合病院2期	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	RC	11	-	5382.7	41588.6	46.3	47.0	福島県 会津若松 市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
702	MNNN - 4990	2010/7/30	UHEC評価-構21043	新総合太田病院(仮称)	日建設計	日建設計	RC	7	-	8184.4	32761.2	29.5	36.6	群馬県 太田市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
703	MNNN - 5035	2010/8/20	UHEC評価-構22005	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェ クト(C棟)	フジタ	フジタ	RC	20	-	787.1	13979.9	59.5	65.5	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
704	MNNN - 5036	2010/8/20	UHEC評価-構22006	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェ クト(D棟)	フジタ	フジタ	RC	17	-	947.2	11740.8	51.1	57.2	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
705	MFNB - 5050	2010/7/30	BCJ基評-IB0801-03	(仮称)大林組技術研究所新本館	大林組	大林組	S RC	3	-	3273.3	5526.4	13.7	18.5	東京都 清瀬市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー アクチュエータ 剛性調整パネ トリガー機構
706	MNNN - 5074	2010/9/13	UHEC評価-構22003	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェ クト(A棟)	フジタ	フジタ	RC	20	-	1156.1	15379.2	59.5	65.5	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承
707	MNNN - 5083	2010/9/30	ERI-J10005	公立甲賀病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 織本構造設計	RC	5	-	8088.5	29103.0	20.6	21.6	滋賀県 甲賀市	鉛プラグ入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 転がり支承 減衰ゴマ
708	MNNN - 5132	2010/10/29	ERI-J10011	県立淡路病院	安井建築設計事務所	安井建築設計事務所	PCaPs (一部S)	8	-	11165.1	34967.7	32.0	40.6	兵庫県 洲本市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
709	MNNN - 5196	2010/11/11	ERI-J10017	(仮称)南葛西4丁目プロジェクト	高松建設	高松建設 総研設計	RC	10	-	393.1	2094.9	28.8	29.2	東京都 江戸川区	高減衰ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり承 鉛ダンパー
710	MNNN - 5207	2010/11/16	ERI-J10004	下越病院本体棟【付属棟】	堤建築設計事務所	堤建築設計事務所 免震エンジニアリング	S RC	6	-	5514.9	17233.7	24.6	30.1	新潟県 新潟市	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
711	MNNN - 5256	2010/12/13	ERI-J10020	千葉労災病院	岡田新一設計事務所	織本構造設計	RC	7	-	3556.9	19330.5	30.1	41.4	千葉県 市原市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
712	MNNN - 5263	2010/12/1	ERI-J10023	ウイングルート	生和コーポレーション	酒井建築工学研究室 カラム建築構造事務所	RC	10	1	322.0	1717.8	36.2	37.2	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム
713	MNNN - 5286	2010/11/18	ERI-J09043-01	伊東市新病院	大建設	大建設	RC	5	-	6262.9	20350.9	20.4	27.9	静岡県 伊東市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
714	MNNN - 5303	2011/1/14	ERI-J10024	社会保険山梨病院新病院建設計画	松田平田設計	松田平田設計	RC	6	1	3083.8	13032.6	23.7	29.7	山梨県 甲府市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
715	MNNN - 5326	2011/1/25	UHEC評価-構22023	(仮称)高知電気ビル本館建替計画	大成建設	大成建設	RC	8	1	1086.7	8518.3	32.0	36.0	高知県 高知市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
716	MNNN - 5328	2011/1/25	ERI-J10032	(仮称)針ヶ谷ビル計画	大栄建築事務所 鹿島建設	鹿島建設	RC	5	-	1990.5	7925.9	24.9	26.0	埼玉県 さいたま 市	高減衰ゴム系積層ゴム
717	MNNN - 5369	2011/1/7	BCJ基評-IB0634-01	市立根室病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	4	1	3470.4	13280.8	22.8	28.1	北海道 根室市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
718	MNNN - 5373	2011/2/8	ERI-J10035	(仮称)下田メディカルセンター	戸田建設	戸田建設	RC	4	-	3770.2	8613.7	17.7	18.1	静岡県 下田市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
719	MNNN - 5388	2011/2/15	BCJ基評-IB0638-01	浦河赤十字病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	7	-	3918.7	15827.9	28.6	33.6	北海道 浦河郡	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m ²)				延べ床面積(m ²)	
720	MNNN - 5394	2011/2/22	UHEC評価-構22029	(仮称)川崎区小田栄計画 A棟	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	19	-	1778.6	25412.9	56.6	57.1	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
721	MNNN - 5395	2011/2/22	UHEC評価-構22030	(仮称)川崎区小田栄計画 B棟	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	19	-	983.0	14326.1	56.6	57.1	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
722	MNNN - 5396	2011/3/7	ERI-J10036	藤田保健衛生大学病院放射線棟	竹中工務店 名古屋一級建築士事務所	竹中工務店 名古屋一級建築士事務所	RC (一部S)	6	1	1357.9	8636.9	26.5	31.0	愛知県豊明市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然積層ゴム
723	MNNN - 5513	2011/1/27	ERI-J10045	WAZAC函館五稜郭ミヤビ計画	中山建築デザイン研究所	道央設計	RC	18	-	819.8	12179.8	58.0	59.5	北海道函館市	鉛入り積層ゴム すべり支承
724	MNNN - 5535	2011/4/28	ERI-J10049	大阪府警察学校	三菱地所設計 清水建設	三菱地所設計 清水建設	RC S	4	-	15125.7	41103.6	18.1	21.8	大阪府泉南郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
725	MNNN - 5605	2011/6/14	ERI-J10067	(仮称)新順心病院	昭和設計	昭和設計 鹿島建設	RC	6	-	2336.9	9767.2	28.1	28.8	兵庫県加古川市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
726	MNNN - 5607	2011/6/13	ERI-J10056	(仮称)掛川市・袋井市新病院	久米設計	久米設計	RC S	8	-	11713.4	43545.5	36.6	38.9	静岡県掛川市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 十字型転がり支承 U型鋼材ダンパー オイルダンパー
727	MNNN - 5620	2011/6/13	UHEC評価-構22042	つがる西北五広域連合中核病院	横河建築設計事務所	織本構造設計	RC	10	-	6198.3	36831.9	45.2	45.7	青森県五所川原市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム オイルダンパー 弾性すべり支承
728	MNNN - 5639	2011/6/20	ERI-J10065	仙台市立病院	山下設計	山下設計	RC	11	1	8322.4	52353.9	54.6	55.3	宮城県仙台市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 直動転がり支承
729	MNNN - 5654	2011/5/31	ERI-J10028-01	(仮称)南多摩病院救急医療センター計画	アトリエ9建築研究所	織本構造設計	RC (一部S、SRC)	8	1	1095.9	6623.1	32.4	33.3	東京都八王子市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
730	MNNN - 5662	2011/6/30	ERI-J10073	聖隷浜松病院	LAU公共施設研究所 公共設計	飯島建築事務所 竹中工務店	RC	10	2	2968.5	22984.9	37.7	38.3	静岡県浜松市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
731	MNNN - 5902	2011/10/3	BCJ基評-HR0649-02	安田倉庫加須第二営業所増築棟(第1期)	大成建設	大成建設	RC	5	-	2310.5	10243.5	30.1	30.6	埼玉県加須市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承

超高層免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高さ (m)
1	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評-HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 A棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-	32136.5	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー	
2	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評-HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 B棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-	7957.6	32185.0	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
3	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評-HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 C棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-	32253.8	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上	
4	HFNB - 0030	2000/10/30	BCJ基評-HR0015	(仮称)日本工業倶楽部会館・永楽ビルディング新築工事	三菱地所	三菱地所	S	30	4	4951.9	110103.6	141.4	148.1	東京都 千代田区	天然ゴム LRB
5	HNNN - 0057	2000/11/20	BCJ基評-HR0034	(仮称)アイビーハイムイーストタワー新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1462.7	9313.2	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
6	HNNN - 0058	2000/11/20	BCJ基評-HR0035	(仮称)アイビーハイムウエストタワー新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1473.1	9313.4	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
7	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評-HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 C棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	31	-	1382.5	25090.2	100.0	108.5	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
8	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評-HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 D棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	35	-	1337.2	29709.1	114.2	122.7	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
9	HNNN - 83	2001/1/5	GBRC建評-00-11B-03	(仮称)北花田グランアヴェニュー6号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	2295.2	15496.4	78.8	84.8	大阪府 堺市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
10	HNNN - 0085	2001/1/5	BCJ基評-HR0051	(仮称)船橋本町Project	ティーエムアイ	フジタ	RC	23	1	610.0	9977.2	69.1	74.3	千葉県 船橋市	天然ゴム LRB
11	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評-HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(B棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26916.1	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
12	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評-HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(C棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26630.4	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
13	HNNN - 103	2001/2/22	GBRC建評-00-11B-04	京阪くずはEブロック集合住宅A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	7103.8	12028.4	72.7	76.4	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
14	HNNN - 105	2001/2/22	GBRC建評-00-11B-05	京阪くずはEブロック集合住宅T棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	42	1	7103.8	32719.7	133.3	136.8	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー オイルダンパー
15	HFNN - 0120	2001/2/16	BCJ基評-HR0046	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション新築工事	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	天然ゴム LRB
16	HNNN - 0134	2001/5/29	BCJ基評-HR0047	(仮称)西五軒町再開発計画 住居棟	戸原太郎建築事務所	織本匠構造設計事務所 住友建設	RC	24	2	1066.9	22365.9	75.3	81.0	東京都 新宿区	LRB 直動転がり支承(CLB) 増幅機構付減衰装置(RDT)
17	HNNN - 0138	2001/3/13	BCJ基評-HR0056-01	(仮称)横浜金港町マンション	東海興業 飯島建築設計事務所	東海興業 飯島建築設計事務所	RC	21	1	1383.1	20508.6	65.8	71.3	神奈川県 横浜市	高減衰 オイルダンパー
18	HNNN - 0145	2001/3/28	BCJ基評-HR0078	(仮称)ガーデンヒルズ三河安城タワー	名倉設計	間組	RC	20	-	711.5	9700.0	60.5	66.3	愛知県 安城市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
19	HNNN - 0159	2001/4/5	BCJ基評-HR0084	(仮称)東神奈川駅前ハイツ	山下設計	山下設計	SRC	19	1	1960.9	19675.3	70.5	76.3	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
20	HFNN - 0174	2001/4/19	BCJ基評-HR0080	ライオンズタワー仙台広瀬	INA新建築研究所東北支店	INA新建築研究所 大成建設	RC	32	1	1949.1	47053.5	99.3	109.9	宮城県 仙台市	弾性すべり支承 天然ゴム
21	HNNN - 0198	2001/5/29	BCJ基評-HR0109	日本メナード化粧品本社ビル	大成建設	大成建設	SRC	14	-	806.4	9550.3	63.4	67.4	愛知県名 古屋市	天然ゴム 弾性すべり支承
22	HFNN - 0219	2001/6/15	BCJ基評-HR0050	(仮称)香春口三萩野地区 F1/カルポスハウジング事業	内藤 梓 竹中設計	内藤 梓 竹中設計	RC	27	1	3205.3	31527.6	88.8	96.7	福岡県 北九州市	天然ゴム LRB 滑り支承
23	HFNN - 235	2001/6/26	BCJ基評-HR0107	(仮称)東池袋2-38計画	大成建設	大成建設	RC	26	2	1016.0	18367.2	88.4	93.0	東京都 豊島区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
24	HFNB - 0248	2001/7/9	BCJ基評-HR0079	シンボルタワー(仮称) (免震は低層棟)	シンボルタワー設計共同企業 体	シンボルタワー設計共同企業 体	RC	7	2	-	1087.5	-	-	香川県 高松市	LRB 天然ゴム 弾性すべり支承
25	HFNN - 0269	2001/8/8	BCJ基評-HR0041	(仮称)大井一丁目ビル新築工事	熊谷組	熊谷組	SRC	14	2	3684.1	28177.4	62.2	72.0	東京都 品川区	天然ゴム LRB
26	HNNN - 276	2001/8/23	BCJ基評-HR0118	相模原橋本地区分譲共同住宅(D棟)	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	10349.4	24036.1	76.7	81.7	神奈川県 相模原市	積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
27	HNNN - 0331	2001/11/7	BCJ基評-HR0028-01	(仮称)新杉田駅前地区市街地再開発	松田平田・シグマ建築企画設 計共同事業体	松田平田・シグマ建築企画設 計共同事業体	RC	30	1	2019.8	37328.7	65.7	105.5	神奈川県 横浜市	天然ゴム LRB オイルダンパー
28	HNNN - 0344	2001/11/28	BCJ基評-HR0144-01	(仮称)大田区蒲田4丁目計画	三井建設	三井建設	RC	23	1	1141.4	17336.8	73.6	78.1	東京都 大田区	LRB オイルダンパー
29	HNNN - 348	2001/12/21	GBRC建評-01-11B-013	関西医科大学枚方新病院	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1	9469.0	71318.0	60.2	70.5	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
30	HNNN - 350	2001/12/21	GBRC建評-01-11B-014	(仮称)大拓メゾン吉野	竹中工務店	竹中工務店	RC	27	-	1004.7	14765.5	85.4	86.0	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
31	HFNN - 370	2002/1/18	BCJ基評-HR0046-02	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム 積層ゴム
32	HNNN - 397	2002/2/8	BCJ基評-HR0159	(仮称)小田急海老名分譲マンションB街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	22	1	-	20530.0	-	-	神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
33	HNNN - 398	2002/2/8	BCJ基評-HR0159	(仮称)小田急海老名分譲マンションC街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	23	1	-	14857.0	-	-	神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
34	HFNN - 0408	2002/2/26	BCJ基評-HR0161-01	(仮称)プレステ加茂タワー	ノム建築設計室	T・R・A 大東工業 エスバス建築事務所	RC	20	-	2607.2	18576.9	62.8	68.7	京都府 京都市	天然ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
35	HFNN - 0417	2002/2/26	BCJ基評-HR0130-02	(仮称)恵比寿1丁目共同ビル	東急設計コンサルタント	新井組	S SRC	18	1	1640.0	28260.1	75.9	85.4	東京都 渋谷区	天然ゴム LRB キ型直動転がり支承
36	HNNN - 419	2002/3/6	ERI-評第01002号	(仮称)ディエラフォート横浜	戸田建設	戸田建設	RC	21	-	902.2	13702.7	71.4	76.4	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
37	HFNN - 437	2002/3/6	BCJ基評-HR0157-01	(仮称)品川駅東口B-4地区計画	大成建設	大成建設	S	19	1	2701.0	39933.0	91.1	92.1	東京都 品川区	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
38	HNNN - 0446	200/4/5	BCJ基評-HR0170	(仮称)品川区西五反田三丁目集合住宅	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	23	-	880.0	13835.0	69.4	75.4	東京都 品川区	LRB 転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	延べ床面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)	最高高さ (m)			
39	HFNN - 0509	2002/7/3	BCJ基評- HR0190	パナダイ新本社ビル	大成建設	大成建設	S	14		934.3	13430.0	64.0	64.0	東京都 台東区	高減衰 直動軸がり支承
40	HNNN - 541	2002/8/22	ERI-評第 02011号	(仮称)幕張ベイタウンSH-3④街区新築工事 (6棟)	UG都市建築 隣研吾建築都市設計事務所	フジタ	RC	22	-	1058.0	15520.3	69.2	73.8	千葉県 千葉市	鉛入り積層ゴム
41	HNNN - 554	2002/10/25	GBRC建評- 02-11B-006	(仮称)グランドメゾン大手通一丁目	日建ハウジングシステム 日建設計	日建設計	RC	25	-	873.1	15375.9	81.2	89.5	大阪府 大阪市	積層ゴムアイソレータ 軸がり支承 オイルダンパー
42	HNNN - 568	2002/10/9	ERI-H02011	シエールタワー小倉	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	1	836.5	20786.8	115.7	124.8	福岡県 北九州市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー
43	HFNN - 0586	2002/10/9	BCJ基評- HR0132-02	(仮称)新宿7丁目計画 住宅棟	フジタ	フジタ	RC	29	1	1172.6	15314.2	89.8	95.1	東京都 新宿区	LRB 滑り支承
44	HNNN - 587	2002/11/7	GBRC建評- 02-11B-011	(仮称)ルネJR尼崎駅前	近藤剛生建築設計事務所	アクア 前田建設工業	RC	27	-	3093.2	27730.7	84.3	88.5	兵庫県 尼崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼棒ダンパー 弾性すべり支承
45	HNNN - 0596	2002/12/5	BCJ基評- HR0201-1	(仮称)品川区平塚3丁目マンション計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24		1161.5	12097.6	71.2	77.9	東京都 品川区	天然ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
46	HNNN - 0601	2002/11/7	BCJ基評- HR0208-1	山之口A地区第一種市街地再開発事業	間組	間組	RC	20		1709.8	25498.0	60.3	61.0	大阪府 堺市	天然ゴム 高減衰 弾性すべり支承 オイルダンパー
47	HFNN - 0612	2002/11/29	BCJ基評- HR0206-01	(仮称)天王洲計画	日本設計	日本設計	RC	23	1	759.5	12549.4	77.2	81.7	東京都 品川区	LRB
48	HFNN - 0621	2002/12/18	BCJ基評- HR0203-01	ひぐらしの里西地区第一種市街地再開発事 業施設建築物	日本設計	日本設計	RC	25	3	1235.1	22618.7	86.9	94.0	東京都 荒川区	天然ゴム LRB
49	HNNB - 641	2002/12/25	BCJ基評- HR0013	神保町一丁目南部地区第一種市街地再開発 事業東棟	山下設計	山下設計	S	23	3	4149.6	88647.2	97.0	108.3	東京都 千代田区	天然ゴム 鉛ダンパー
50	HFNN - 0644	2003/1/28	BCJ基評- HR0165-02	(仮称)麹町1丁目再開発ビル計画	日建設計	日建設計	S	15	2	1535.6	23879.9	67.1	67.6	東京都 千代田区	天然ゴム 鉛ダンパー
51	HNNN - 0658	2003/1/27	BCJ基評- HR0220-01	信濃毎日新聞社本社ビル	日建設計	日建設計	S	12		1593.0	16453.0	60.4	61.0	長野県 長野市	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー
52	HNNN - 0680	2003/2/28	BCJ基評- HR0222-01	東海大学医学部付属新病院	戸田建設	戸田建設	RC	14	1	9209.2	69142.2	74.3	75.2	神奈川県 伊勢原市	天然ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
53	HFNN - 0710	2003/5/14	BCJ基評- HR0227-01	東京工業大学(すずかけ台)総合研究棟	東京工業大学 施設部 松田平田設計	東京工業大学 施設部 松田平田設計	S RC	20		1742.2	15746.3	85.3	94.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー オイルダンパー 鋼材ダンパー
54	HNNN - 0714	2003/4/17	BCJ基評- HR0225-01	川口1丁目1番第一種市街地再開発事業分 譲住宅棟	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	34		9898.6	91801.8	111.9	113.6	埼玉県 川口市	天然ゴム LRB
55	HFNN - 0730	2003/5/14	BCJ基評- HR231-01	三島本町地区優良建築物建設工事 高層棟	ポリテック・エイディディ	ポリテック・エイディディ	RC	21	1	2993.0	32059.3	79.5	89.1	静岡県 三島市	LRB
56	HFNN - 0770	2003/6/30	BCJ基評- HR238-01	(仮称)スターズ新浦安ホテル	日本設計	日本設計	RC	24		4352.0	28525.1	86.0	87.6	千葉県 浦安市	天然ゴム すべり支承 軸がり支承 オイルダンパー
57	HNNN - 772	2003/6/30	ERI-H03007	(仮称)大森プロジェクトA棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	2	2101.4	34939.9	78.4	78.9	東京都 大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動軸がり支承
58	HNNN - 773	2003/6/30	ERI-H03008	(仮称)大森プロジェクトB棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	1	1788.2	30939.9	78.4	78.9	東京都 大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動軸がり支承 U型鋼材ダンパー
59	HFNN - 0793	2003/8/27	BCJ基評- HR242-01	紅谷町三番地区優良建築物等整備事業建築 物	安宅設計	T・R・A	RC	23	1	654.4	13218.6	75.6	76.2	神奈川県 平塚市	天然ゴム LRB
60	HNNN - 794	2003/8/27	BCJ基評- HR0243-01	(仮称)北堀江1丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	1	1153.7	22073.6	99.4	109.0	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
61	HNNN - 0810	2003/9/1	BCJ基評- HR245-01	(仮称)芝浦工業大学豊洲キャンパス校舎棟	芝浦工業大学新キャンパス 整備設計共同体	(代表)日建設計	S	14	1	8841.6	57355.3	67.3	67.3	東京都 江東区	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー 弾性すべり支承
62	HNNN - 817	2003/9/19	GBRC建評- 03-11B-006	(仮称)大拓メゾン関目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	22	-	750.9	10268.6	69.1	74.1	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
63	HFNN - 839	2003/9/19	GBRC建評- 03-11B-007	(仮称)イトーピア西天満	浅井謙建築研究所	清水建設	RC	24	1	543.6	12003.2	75.2	84.4	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
64	HFNN - 899	2003/12/12		武蔵浦和駅第8-1街区第一種市街地再開発事 業	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	RC+S 一部 SRC	31	2	約12,300	90312.0			埼玉県 さいたま市	天然ゴム系積層ゴム 他
65	HNNN - 938	2004/1/23	HP評-03- 001	(仮称)立川錦町プロジェクト	安宅設計	フジタ	RC	21	1	972.6	13072.6	63.6	68.7	東京都 立川市	鉛プラグ入り積層ゴム
66	HNNN - 962	2004/3/4	GBRC建評- 03-11B-014	(仮称)天満一丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	409.6	8911.7	80.2	84.6	大阪府 大阪市	積層ゴム オイルダンパー
67	HNNN - 0982	2004/2/10	BCJ基評- HR272-01	(仮称)東京ミッドタウンプロジェクト C棟	日建設計	日建設計	RC	30	2	2816.2	57532.3	104.4	107.4	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー U型鋼棒ダンパー
68	HNNN - 999	2004/3/24	ERI-H03041	(仮称)西区新町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	715.3	17622.8	99.5	105.1	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
69	HFNN - 1031	2004/5/10	BCJ基評- HR280-01	大崎駅東口第3地区 第一種市街地再開発事業 賃貸住宅棟	大林組東京本社	大林組東京本社	RC	28	1	2980.2	32950.6	93.7	99.0	東京都 品川区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
70	HNNN - 1034	2004/4/14	ERI-H03050	十日町一丁目地区優良建築物等整備事業施 設建築物	アール・アイ・エー 創建設計	アール・アイ・エー 塩見	RC	23	1	1080.9	18242.4	77.1	85.2	山形県 山形市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
71	HNNN - 1061	2004/5/21	BCJ基評- HR287-01	(仮称)神宮前センチュリーマンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	22	2	738.8	12723.7	69.0	74.1	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
72	HNNN - 1076	2004/6/8	BCJ基評- HR293-01	(仮称)キャピタルマークタワー	日建ハウジングシステム 佐藤総合計画 鹿島建設	佐藤総合計画 鹿島建設	RC	47	1	4300.0	99980.0	160.3	167.2	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
73	HNNN - 1100	2004/7/16	ERI-H04012	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区A棟	UG都市建築 隣研吾建築都市設計事務所 藤本社介建築設計事務所	フジタ	RC	21	-	1008.4	17066.4	65.9	70.6	千葉県 千葉市	鉛入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	地震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高 さ(m)
74	HNNN - 1107	2004/7/30	GBRC建評-04-11B-001	(仮称)西梅田超高層マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	50	1	1795.6	52524.6	168.5	177.4	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
75	HNNN - 1134	2004/8/18	GBRC建評-04-11B-005	(仮称)阿倍野松崎町マンション	浅井謙建築研究所 奥村組	浅井謙建築研究所 奥村組	RC	43	1	1695.9	38768.5	151.6	161.8	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー 粘性ダンパー
76	HNNN - 1153	2004/8/31	ERI-H04015	(仮称)みなとみらい21地区40街区開発計画 (1期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5200.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー
77	HNNN - 1154	2004/8/31	ERI-H04016	(仮称)みなとみらい21地区40街区開発計画 (2期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5500.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	同上
78	HNNN - 1160	2004/8/31	GBRC建評-04-11B-004	(仮称)南船江タワー	日建ハウジングシステム	竹中工務店	RC	38	1	1531.6	30782.7	135.9	135.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
79	HFNN - 1174	2004/9/24	ERI-H04019	(仮称)チャームング・スクウェア南声屋	蔵建築設計事務所	蔵建築設計事務所 大林組	RC	25	-	9118.1	38967.8	79.3	85.7	兵庫県 芦屋市	鉛入り積層ゴム すべり支承
80	HNNN - 1181	2004/10/6	GBRC建評-04-11B-007	(仮称)アーバンライフ南本町3丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	590.9	12467.3	99.7	105.8	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
81	HFNN - 1200	2004/10/20	ERI-H04018	(仮称)甲府北口三丁目セインツタワー II	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	25	-	840.1	15924.8	88.5	94.0	山梨県 甲府市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
82	HNNN - 1244	2004/11/24	ERI-H04034	港1丁目タワーマンション	小野設計	ピーエス三菱 構造計画研究所	RC	31	-	814.2	16718.0	92.3	97.3	福岡県 中央区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
83	HNNN - 1280	2005/2/8	ERI-H04047	(仮称)南船橋プロジェクト S棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1968.9	37437.4	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム すべり支承
84	HNNN - 1281	2005/2/8	ERI-H04046	(仮称)南船橋プロジェクト N棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	2753.1	42569.5	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
85	HNNN - 1282	2005/2/8	ERI-H04041	(仮称)南船橋プロジェクト E棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1083.5	19527.1	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
86	HNNN - 1283	2005/2/8	ERI-H04042	(仮称)南船橋プロジェクト W棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1080.5	21112.7	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
87	HNNN - 1330	2005/3/14	GBRC建評-04-11B-010	(仮称)上本町分譲住宅	エヌ・ティ・ティ・ファミリアーズ 清水建設	エヌ・ティ・ティ・ファミリアーズ 清水建設	RC	41	1		37390.0			大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
88	HNNN - 1351	2005/4/5	GBRC建評-04-11B-011	(仮称)神戸市中央区熊内町7丁目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	21	-	424.3	6090.2	63.4	68.4	兵庫県 神戸市	高減衰ゴム系積層ゴム
89	HNNN - 1370	2005/4/8	GBRC建評-04-11B-013	(仮称)豊崎分譲マンション	エヌ・ティ・ティ・ファミリアーズ	エヌ・ティ・ティ・ファミリアーズ	RC	25	-	772.0	15669.2	80.3	86.3	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 弁直動転がり支承
90	HFNN - 1455	2005/6/13	BCJ基評- HR0338-01	平成17年度大手町地区第一種市街地再開発 事業施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	20	1	4839.8	46573.2	76.9	82.8	静岡県 沼津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 流体系減衰材
91	HNNN - 1488	2005/7/11	ERI-H05010	(仮称)くずはW街区マンション建設計画	大林組	大林組	RC	21	-	3443.2	28157.2	69.0	74.5	大阪府 枚方市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
92	HFNN - 1498	2005/7/20	BCJ基評- HR0344-01	代々木ゼミナール代々木2丁目プロジェクト	大成建設	大成建設	SRC S(一部 OFT柱) RC	26	3	1213.2	27446.5	131.1	131.1	東京都 渋谷区	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性滑り支承 オイルダンパー
93	HNNN - 1585	2005/9/26	ERI-H05021	(仮称)スペース目黒	イクス・アーク都市設計	イクス・アーク都市設計 奥村組	RC	25	1	805.6	19765.0	82.3	86.6	東京都 目黒区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
94	HNNN - 1593	2005/9/30	GBRC建評-05-11B-009	ジオタワー西宮北口	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	1		25091.9	85.0		兵庫県 西宮市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム オイルダンパー 鋼製U形ダンパー
95	HFNN - 1702	2006/1/10	BCJ基評- HR0309-02	高島二丁目地区第一種市街地再開発事業施 設建築物	アール・アイ・エー	アール・アイ・エー 織本構造設計	RC	36	2	3967.3	54313.9	131.8	143.0	神奈川県 横浜市	鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり支承 減衰コマ
96	HNNN - 1721	2006/1/23	BCJ基評- HR0369-01	(仮称)上本町西タワープロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	31	-	1317.8	22853.6	99.8	106.8	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
97	HNNN - 1758	2006/2/20	ERI-H05037	西区新町プロジェクト	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	25	-		12543.0	76.5		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
98	HFNB - 1783	2006/3/15	BCJ基評- HR0358-02	(仮称)朝日放送新社屋	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S RC	16	1	6689.0	44838.0	75.3	95.3	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 転がり系支承 流体系減衰材
99	HNNF - 1804	2006/2/20	BCJ基評- HR0387-01	(仮称)北品川三丁目計画	日建ハウジングシステム	前田建設工業	RC	36	1		26264.0	113.3		東京都 品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
100	HNNN - 1811	2006/3/30	JSSI-構評- 05004	中原消防署・ホテル	梓設計	梓設計	SRC, RC	21	-	1350.0	14195.0	77.3	76.2	神奈川県 川崎市	天然ゴムすべり支承 転がり支承 オイルダンパー
101	HNNN - 1839	2006/4/28	GBRC建評-05-11B-018	(仮称)大阪西天満タワー	徳岡昌克建築設計事務所	建築構造企画 山田建築構造事務所	RC	23	1		4781.9	71.4		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承
102	HNNN - 1848	2006/5/8	BCJ基評- HR0395-02	新本部ビル(仮称)	松田平田設計	松田平田設計	S	14	1		27745.0	78.0		福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
103	HNNN - 1850	2006/4/28	BCJ基評- HR0399-01	(仮称)江東区豊洲1丁目計画A棟	三井住友建設	三井住友建設	RC	23	-		31626.1	72.3		東京都 江戸川区	鉛プラグ入り積層ゴム
104	HNNN - 1863	2006/6/16	BCJ基評- HR0397-01	(仮称)五橋三丁目マンションA(B棟)	日企設計	前田建設工業	RC	30	-	4117.7	29555.4	97.5	104.6	宮城県 仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
105	HNNN - 1864	2006/5/26	BCJ基評- HR0400-01	阪神西宮駅前プロジェクト	西松建設	西松建設	RC	23	-	765.1	11688.5	77.8	84.3	兵庫県 西宮市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
106	HNNN - 1866	2006/6/16	BCJ基評- HR0396-01	(仮称)大森共同住宅	日総建	大林組	RC	25	1	837.8	18206.7	84.3	88.2	東京都 大田区	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
107	HNNN - 1872	2006/6/8	BCJ基評- HR0403-01	(仮称)アメックス浜浜ステーションタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC S	23	-	652.6	7586.9	74.4	75.2	福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	軒高 (m)			最高高さ (m)
108	HNNN - 1883	2006/4/17	BCJ基評- HR0404-01	東静岡タワー	東畑建築事務所	戸田建設	RC	27	-	834.7	16229.0	93.0	95.4	静岡県 静岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
109	HFNN - 1908	2006/7/11	UHEC評価 構17010	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(A敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	2	934.6	15070.6	69.2	77.7	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
110	HNNN - 1929	2006/7/11	GBRC建評- 06-11B-009	新神戸駅前タワー	清水建設	清水建設	RC	42	1		38600.0		146.0	兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
111	HNNN - 1935	2006/8/14	BCJ基評- HR0412-01	(仮称)西参道プロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	24	1		13429.6	75.6	81.8	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
112	HNNN - 1939	2006/8/14	GBRC建評- 06-11B-010	(仮称)ライオンズタワー六野	竹中工務店	竹中工務店	RC	47	-		49866.9	161.9		愛知県 名古屋	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 直動転がり支承
113	HNNN - 1960	2006/9/11	BCJ基評- HR0425-01	(仮称)サンデュエル長町駅前計画	菅野宏史建築設計事務所	ピーシー建築技術研究所 仙台同人設計	RC	20	-		11828.1	64.1		宮城県 仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム
114	HNNN - 1969	2006/9/20		(仮称)ザ・松屋タワー	IAO竹田設計	IAO竹田設計	RC	28	1		17750.0			大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー
115	HNNN - 1970	2006/9/11		(仮称)千里中央ノースタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC	49	1		56217.0	157.4		大阪府 吹田市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 弾性滑り支承 減衰こま
116	HNNN - 1971	2006/9/20	UHEC評価 構18008	(仮称)戸手4丁目南地区計画	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	-	1186.9	17346.4	69.2	75.2	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
117	HNNN - 1972	2006/8/30	UHEC評価 構18007	(仮称)JV東雲1街区プロジェクト	大成建設	大成建設	RC	41	1	3086.0	53235.1	139.6	147.0	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
118	HNNN - 1977	2006/9/21	BCJ基評- HR0424-01	(仮称)中幸町マンション計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	38	2		47927.0	122.9		神奈川県 川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
119	HNNN - 2023	2006/11/7	BCJ基評- HR0433-01	(仮称)船橋市湊町2丁目計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	38	1		41196.0	129.8		千葉県 船橋市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
120	HNNN - 2051	2006/11/16	UHEC評価 構18021	(仮称)細工谷計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	35	-	1082.9	21385.6	115.6	122.9	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
121	HNNN - 2075	2006/12/12	UHEC評価 構18018	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(B敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	20	-	999.3	16223.8	61.0	64.6	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 回転機構付すべり系支承 粘性系ダンパー
122	HNNN - 2089	2007/1/10	ERI-H06005	(仮称)あいおい損保新仙台ビル	ゼファー 安藤建設	ゼファー 安藤建設	S	14	-	1054.1	12824.8	59.6	66.0	宮城県 仙台市	鉛入り積層ゴム
123	HNNN - 2090	2006/12/12	ERI- H06001-01	(仮称)D' グラフォート郡山西口	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	26	-	816.0	12480.2	91.8	92.3	福島県 郡山市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
124	HFNN - 2091	2006/11/20		神宮前一丁目民活再生プロジェクト(警察施設)	安井建築事務所	安井建築事務所	RC	15	2		26791.0			東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム
125	HNNN - 2096	2007/1/9	BCJ基評- HR0447-01	(仮称)神戸市須磨区行幸町マンション	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 鴻池組	RC	36	-	1203.7	23400.3	115.4	120.5	兵庫県 神戸市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
126	HFNN - 2126	2007/1/19	BCJ基評- HR0448-01	(仮称)セレストタワー高崎	安宅設計	T・R・A	RC	21	1	895.0	15010.7	67.7	73.0	群馬県 高崎市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
127	HNNN - 2129	2007/1/22	BCJ基評- HR0262-03	(仮称)系屋町プロジェクト	安井建築事務所	熊谷組	RC	40	2	1621.9	44832.9	126.3	135.5	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
128	HNNN - 2134	2007/1/22	UHEC評価 構18024	(仮称)グランドメゾン京町堀タワー計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	30	-	1454.6	22997.2	98.8	104.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
129	HNNN - 2144	2007/1/22	BCJ基評- HR0450-01	(仮称)ディーグランセ上町台ハイレジデンス	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	28	1		16298.0	92.3		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
130	HNNN - 2148	2007/1/22	BCJ基評- HR0456-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設 建設建築物Ⅲ街区A棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29608.0	92.7		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
131	HNNN - 2149	2007/1/22	BCJ基評- HR0457-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設 建設建築物Ⅲ街区B棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	42	1		48905.0	144.0		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
132	HNNN - 2150	2007/1/22	BCJ基評- HR0458-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業施設 建設建築物Ⅲ街区C棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29415.0	97.1		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
133	HNNN - 2175	2007/1/15		(仮称)東戸塚西口駅前計画	類設計室	類設計室	RC	26	1		34069.0	99.9		神奈川県 横浜市	
134	HFNN - 2240	2007/3/29	BCJ基評- HR0389-01	(仮称)ICタワー計画	竹中工務店	竹中工務店	RC SRC S	41	1	7022.3	53236.1	144.7	145.3	福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー オイルダンパー
135	HNNN - 2253	2007/4/3	UHEC評価 構18027	(仮称)大島2丁目計画	淺沼組	淺沼組	RC	20	1	780.3	12233.2	64.6	70.2	東京都 東山区	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム系積層ゴム オイルダンパー
136	HNNN - 2298	2007/4/10	BCJ基評- HR0341-02	(仮称)MM21+41街区プロジェクト	東急設計コンサルタント 三井住友建設	東急設計コンサルタント 三井住友建設	RC	31	1	5338.9	81998.8	99.6	106.1	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
137	HNNN - 2319	2007/5/31		(仮称)阪神御影駅前住宅棟	竹中工務店	竹中工務店	RC+S	47	-		63100.0	165.5		兵庫県 神戸市	弾性滑り支承 他
138	HNNN - 2349	2007/6/22		(仮称)千葉中央タワープロジェクト	入江三宅設計事務所	入江三宅設計事務所	RC	43	1	1964.3	53592.9			千葉県 千葉市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼棒ダンパー
139	HNNN - 2470	2007/9/27	ERI-H07007	(仮称)安堂寺町計画(住宅棟)	フジタ	フジタ	RC	26	1	887.3	17860.7	82.5	88.3	大阪府 大阪市	鉛入り積層ゴム
140	HNNN - 2516	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4 街区)A棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		12866.2	62.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)			軒高 (m)	最高高 さ(m)
141	HNNN - 2517	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)B棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		9424.8	62.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
142	HNNN - 2518	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D4街区)C棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		9424.8	74.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
143	HNNN - 2519	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト(D21街区)D棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		26226.1	74.5		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
144	HNNN - 2532	2007/11/5	ERI-H07010	(仮称)UVV小倉	山本建築工房	アーケブレイン	RC	20	-	1742.0	16471.9	61.6	67.4	福岡県 北九州市	鉛入り積層ゴム すべり支承
145	HNNN - 2534	2007/11/5	ERI-H07008	マークス秋葉原	F&N総合設計	ジェーエスティー	PCaPs	25	-	329.9	4824.5	70.7	76.4	東京都 千代田区	天然ゴム積層ゴム 免震U型ダンパー 免震鉛ダンパー
146	HFNB - 2569	2007/11/28		丸の内2-1地区(丸の内SF計画)	三菱地所設計	三菱地所設計	S	34	4		204786.0	157.1		東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
147	HNNN - 2615	2007/12/17	BCJ基評- HR0533-01	(仮称)有明一丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	33	-	2719.8	51695.6	113.1	119.0	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
148	HFNB - 2720	2008/2/12	TBTC基評 11A-07001 号	(仮称)FXプロジェクト	清水建設	清水建設	RC	20	1	11343.1	135268.6	97.1	105.1	神奈川県 横浜市	高減衰系積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
149	HNNN - 2741	2007/12/3	BCJ基評- HR0541-01	仙台一番町プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	29	1	1274.0	30337.0	99.3	105.6	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
150	HNNN - 2763	2008/2/5	BCJ基評- HR0529-01	(仮称)タワーザファースト静岡	東畑建築事務所	浅沼組 構造計画研究所	RC	26	-	1227.3	17439.9	94.3	94.5	静岡県 静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
151	HNNN - 3049	2008/6/9	CIAS構評 20-0001	(仮称)クリオ富ヶ谷計画建築物	久米設計	久米設計	RC	27	4	1310.0	29095.0	88.5	92.9	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
152	HNNN - 3195	2008/9/24	評価一構-18	日本赤十字和歌山	横河建築設計 戸田建設 共同設計	横河建築設計 戸田建設 共同設計	S	13	1	5020	52490	63.8	68.4	和歌山県 和歌山市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
153	HNNN - 3298	2008/8/6	BCJ基評- HR0454-02	(仮称)アデニウム相模原計画	INA新建築研究所	INA新建築研究所	RC	22	-	1105.6	12940.7	70.0	75.8	神奈川県 相模原市	高減衰系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
154	HNNN - 3333	2008/8/28	UHEC評価- 構20011	中日新聞社品川開発計画	日建設計	日建設計	S	19	3	3743.6	69396.0	88.1	99.0	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 鋼製U型ダンパー
155	HNNN - 3556	2008/11/13	ERI-H08015	(仮称)東区香椎浜3丁目E棟	アーキスタイル	奥村組	RC	32	-	2139.2	56415.1	104.8	111.1	福岡県 福岡市	天然積層ゴム 高減衰ゴム
156	HFNF - 3782	2009/2/26	BCJ基評- HR0352-03	(仮称)仙台共同ビル計画	大成建設	大成建設	S RC	24	2	1977.5	29384.9	97.3	102.9	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
157	HNNN - 3995	2009/5/7	UHEC評価- 構20045	(仮称)与野上落合住宅建替計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	-	4998.9	42799.5	99.5	105.7	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 流体系ダンパー
158	HNNN - 4230	2009/7/30	ERI-H08034	(仮称)麹町二丁目ビル	大建設計	大建設計	RC	14	2	1838.6	24244.9	66.5	77.8	東京都 千代田区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
159	HNNN - 4392	2009/10/15	BCJ基評- HR0600-01	大井町西区第一種市街地再開発事業施設建築物	協立建築設計事務所 東急設計コンサルタント	協立建築設計事務所 構造計画研究所	RC	28	2	2258.0	33269.7	96.1	101.7	東京都 品川区	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
160	HFNN - 4435	2009/10/23	BCJ基評- HR0560-03	新阪急大井ビル(仮称)	大林組	大林組	RC	30	-	8249.9	64211.6	98.8	99.2	東京都 品川区	天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
161	HNNN - 4543	2009/11/30	BCJ基評- HR0582-02	(仮称)北堀江4丁目集合住宅	奥村組	奥村組	RC	20	-	774.0	11934.4	65.6	71.1	大阪府 大阪市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
162	HNNN - 4645	2010/2/22	ERI-H09012	旭通4丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物	環境再開発研究所 東急設計コンサルタント	織本構造設計	RC	54	1	5734.6	73418.6	175.9	190.0	兵庫県 神戸市	鉛入り積層ゴム すべり支承 減衰こま
163	HNNN - 4854	2010/6/2	ERI-H09021	(仮称)ウィスティリア伝馬町	木内建設	木内建設 構造計画研究所	RC	25	-	566.9	10505.3	83.9	89.8	静岡県 静岡市	高減衰系積層ゴム オイルダンパー
164	HNNN - 5075	2010/9/13	UHEC評価- 構22004	(仮称)津田沼区画整理31街区プロジェクト(B棟)	フジタ	フジタ	RC	24	-	1070.5	22752.4	71.7	78.2	千葉県 習志野市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
165	HNNN - 5084	2010/9/22	ERI-H10002	(仮称)ゼスタワー浄水駅前	野口建築事務所	野口建築事務所 構造計画研究所	RC	21	-	649.9	8366.9	65.5	66.0	愛知県 豊田市	高減衰系積層ゴム 天然積層ゴム
166	HNNN - 5368	2011/1/11	BCJ基評- HR0616-02	(仮称)藤枝駅前一丁目計画	三井住友建設	三井住友建設	RC	20	-	1358.0	16422.1	62.8	66.7	静岡県 藤枝市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
167	HFNN - 5399	2011/1/21	BCJ基評- HR0608-02	大崎駅西口南地区第一種市街地再開発事業施設建築物	協立建築設計事務所 清水建設	協立建築設計事務所 清水建設	RC	25	2	3691.5	58456.6	85.1	86.0	東京都 品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり系支承
168	HNNB - 5482	2011/2/23	BCJ基評- HR0604-03	東京電機大学東京千住キャンパス(W棟)	権総合計画事務所	日建設計	S RC	14	1	4666.8	34839.7	59.9	61.0	東京都 足立区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承 弾塑性系減衰材 オイルダンパー
169	HNNN - 5564	2011/5/26	ERI-H10020	静岡県静岡第一地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	29	1	3721.6	54231.5	99.2	99.8	静岡県 静岡市	天然積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー 転がり支承
170	HNNN - 5642	2011/6/21	ERI-H10027	(仮称)大阪市北区扇町2丁目計画	熊谷組	熊谷組	RC (一部 S)	31	1	1173.4	26921.7	104.4	114.9	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 免震U型ダンパー 減衰こま
171	HNNN - 5870	2011/9/26	UHEC評価- 構23006	二子玉川東第二地区市街地再開発事業Ⅱ(a街区)施設建築物	日建設計 アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント	日建設計 アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント	RC	30	2	22438.0	156422.4	128.9	137.0	東京都 世田谷区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム

委員会の動き

(2012.1.1～2012.3.31)

運営委員会

委員長 深澤 義和

運営委員会は2/14、3/13に開催された。新法人へ移行したため、次年度の事業計画および予算は3月の理事会決議によることとなり、運営委員会で審議した。平成24年度の事業計画としては、例年の計画の他に、応答制御建築物調査委員会の2年目の活動、平成25年度に開催予定の世界免振会議の準備を盛り込むこと、新法人として更なる会員支援を検討することをもちこんだ。表彰委員会から提案のあった会長特別賞については、理事会にはかることとした。次期役員・新議員候補者の選定をすすめる、5月の理事会をへて6月の総会で選任となる。その他、新法人移行に伴う各種規定、規則の改訂について、理事会の決議をうけるべく検討を進めている。

技術委員会

委員長 北村 春幸

東日本大震災における応答制御建築物調査の最終報告会が1月26日に新宿NSビルで276名の参加者を集めて開催された。好評につき、4月23日に大阪でも開催されることになった。これらの成果は、常設委員会に引き継がれて指針として反映する予定である。今後、調査委員会は、残り1年を掛けて、積み残した課題について検討を行う予定である。

免震設計部会

委員長 公塚 正行

●設計小委員会

委員長 藤森 智

5月のJSSI技術報告会に向けて、各種合成構造設計指針の改訂に伴う「免震装置の接合部・取り付け躯体の設計指針」の改訂版を執筆中である。また当委員会の委員が参加している高強度ボルト接合検討委員会の検討内容を確認している。

●入力地震動小委員会

委員長 久田 嘉章

2012年1月13日の17-19時に第68回、2月27日の18-20時に第69回の入力地震動小委員会を開催した。前回に引き続き、設計用入力地震動ガイドラインの改訂版の作業を行っており、各章担当者からの報告と、内容の確認や調整を行っている。2012年度技術報告会に素案を報告する予定である。

●設計支援ソフト小委員会

委員長 酒井 直己

「非線形粘性ダンパーを含む免震層の簡便な応答予測法」の解説原稿のまとめ作業、

および4月中に「EXCEL版ソフト」の協会ホームページからのダウンロード公開に向けて準備作業を行っている。

耐風設計部会

委員長 大熊 武司

「免震建築物の耐風設計指針」の全容をほぼ整えた。4月から、この9月刊行ならびに講習会開催にむけて、クロス査読など、内容の精査をはじめ。

施工部会

委員長 原田 直哉

JSSI施工標準の改訂に向けて、引き続き検討を進めている。EXP.Jや、耐火被覆等の懸念事項の記載をどうするかも議論中である。

免震部材部会

委員長 高山 峯夫

●アイソレータ小委員会

委員長 高山 峯夫

アイソレータ小委員会では、積層ゴム、すべり支承、転がり支承を対象として、以下の項目について検討を行っていく予定としている。長周期地震動や強風時の繰り返し特性、水平2方向加力時の特性、部材の損傷度の評価手法、性能評価手法の検討(免震部材JSSI規格の作成)など。

●ダンパー小委員会

委員長 荻野 伸行

各ダンパーの新たな知見(部材特性データや長周期地震動・2方向の影響の評価等)の調査・検討を継続して進めている。また、昨年度より共同にて実施していた、東北地方太平洋沖地震における応答制御建築物調査委員会免震構造設計部会ダンパーWGの今後の課題については、本小委員会にて継続審議することとした。また、防耐火部会(オイルダンパー耐火性能WG)で検討しているオイルダンパーの耐火性能評価のための耐圧試験計画についても平行して協力している。

応答制御部会

委員長 笠井 和彦

パッシブ制振評価小委員会

委員長 笠井 和彦

制振部材品質基準小委員会

委員長 木林 長仁

制振部材の技術開発および制振効果に関する検討を行うための活動を1/25(9名)、2/21(9名)、3/23(11名)に行った。「日建設計本社ビルにおける地震観測記録」(1/25、日建設計・原田氏)の講演および意見交換を行い、さらに技術報告会に向けて、「制振部材取付け部の設計上の留意点」および「制振ダンパー性能に及ぼすブレース剛性の影響」に関する報告を行うための詳細検討を行った。また、「パッシブ制振構造の設計・計算講習会」に関しては、第4回を5月30,31日に開催するための準備作業を行い、JSSIハンドブック作成の作業分担に関して調整を行った。

防耐火部会

委員長 池田 憲一

免震建物の耐火設計ガイドブックは製本が完了し、講習会を4月18日に開催する。すべり支承の耐火性については、耐火認定試験方法と認定条件の具体案を検討中。また、すべり支承の新たな材料申請についての判断基準や考え方を整理し、委員会としての運用対応を検討中。

普及委員会

委員長 須賀川 勝

各部会相互の連携を図る目的で3か月に1回開催している運営幹事会を1月30日に実施し、アンケート調査、会誌表紙の確定デザインなどについて意見交換をした。また今年8月31日に予

定されている免震フォーラムのテーマについても検討し、昨年に引き続き東日本大震災を念頭に準備することに決定した。各部会の活動は以下のようになっている。

教育普及部会

委員長 前林 和彦

昨年3月11日の東北地方太平洋沖地震において大きな揺れに見舞われた東北から関東地方の免震建物の居住者、勤務者等を対象にアンケート調査を実施した。対象は免震建物24棟と非免震建物2棟で、回答者数は197名。アンケート項目は、揺れの感じ方、家具・什器の移動等の被害、生活・業務継続、満足度等であり、免震構造についての感想、意見等について自由に記述してもらう欄も設けた。アンケート結果は分析・整理し、論文3編にまとめ、今年の建築学会大会に投稿する。

出版部会

委員長 加藤 晋平

出版部会の全体会議は1月27日(金)に開催された。2月24日(金)発行予定の会誌75号の進行状況の確認、次の76号の内容及び執筆依頼について検討しました。

協会が新法人に移行しことを契機に、会誌の表紙について検討してきたが、会誌76号以降表紙が一新されて発行されることとなった。

社会環境部会

委員長 久野 雅祥

2月15日に第28回委員会を開催した。3.11の東日本大震災を踏まえた今後の活動について討議

した。

免震と非免震集合住宅の地震被害想定比較表については、マンション居住者アンケートを反映して見直しを行った。

また、教育普及部会が実施した東北、関東地方の免震建物居住者へのアンケート調査・建築学会大会発表に協力を行った。

国際委員会

委員長 斉藤 大樹

3月の震災1周年に合わせて地震防災関連の国際会議がいくつか開催された。その中のひとつで、国際委員会が中心に行っているベンチマーク建物をを用いた各国の免震基準の比較について発表講演を行い、海外の参加者との有意義な意見交換を行うことができた。この取り組みを知って新たに参加したいという問い合わせも来ており、免震基準の国際調和に向けて引き続き継続していきたい。また、来年9月に第13回世界免震会議を仙台で開催する準備を開始した。

資格制度委員会

委員長 長橋 純男

資格制度委員会は、当協会が認定する「免震部建築施工管理技術者」および「免震建物点検技術者」の資格に関わる講習・試験及び更新講習会の実施とその合否判定の事業を担当している。そこで当該期間の1月28日(土)には、東京・JA 共済ビルを会場として、今年度最後の講習・試験である『第10回免震建物点検技術者講習・試験』を開催し、166名が受験した。当委員会では、2月23日(木)開催の運営幹事会において157名を合格と判定し、受験者に通知した。

なお、2012年度の講習・試験および更新講習会は、下記の通り実施する予定である。

9月30日(日)第13回免震部建築施工管理技術者講習・試験(会場:東京・ベルサール渋谷ファースト)

11月4日(日)第8回免震部建築施工管理技術者/更新講習会(会場:東京・砂防会館)

11月25日(日)第6回免震建物点検技術者/更新講習会(会場:東京・JA共済ビル)

1月26日(土)第11回免震建物点検技術者講習・試験(会場:東京・JA共済ビル)

委員会活動報告 (2012.1.1~2012.3.31)

日付	委員会名	開催場所	人数
1.10	普及委員会/教育普及部会	事務局	5
1.13	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	〃	15
1.16	技術委員会/防耐火部会	〃	15
1.17	技術委員会/施工部会	〃	12
1.18	技術委員会/耐風設計部会/免震部材WG「グループリーダー会」	〃	5
1.19	技術委員会/防耐火部会/認定試験体WG	〃	9
1.19	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会、応答制御建築物調査委員会/ 免震構造設計部会/ダンパーWG合同	〃	11
1.20	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	〃	7
1.20	技術委員会/免震部材部会/アイソレータ小委員会	〃	8
1.20	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会SWG	建築家会館3F性能評価室	3
1.25	原子力関係施設免震構造委員会	建築家会館1F大ホール	25
1.25	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	事務局	9
1.27	普及委員会/出版部会/「MENSHIN」75号編集WG	〃	6
1.27	普及委員会/出版部会	〃	11
1.30	『設計者のための免震・制震構造ハンドブック』編集委員会	〃	8
1.30	普及委員会/運営幹事会	建築家会館3F小会議室	7
1.31	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	事務局	4
2.1	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会/オイルダンパーWG	〃	5
2.1	技術委員会/応答制御部会/パッシブ制振評価小委員会/制振普及WG	〃	8
2.6	技術委員会/耐風設計部会	〃	7
2.8	国際委員会	〃	8
2.9	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	〃	11
2.10	高強度ボルト接合委員会	〃	6
2.14	運営委員会	〃	13
2.15	普及委員会/社会環境部会	〃	6
2.16	技術委員会/耐風設計部会/免震部材WG	〃	11
2.16	普及委員会/教育普及部会	〃	6
2.16	近未来問題検討委員会	建築家会館3F小会議室	5
2.20	技術委員会/施工部会	事務局	11
2.21	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	9
2.23	資格制度委員会/運営幹事会	〃	7
2.24	高強度ボルト接合委員会	〃	7
2.27	技術委員会/防耐火部会	〃	17
2.27	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	〃	12
2.28	『設計者のための免震・制震構造ハンドブック』編集委員会	〃	8
2.28	応答制御建築物調査委員会/幹事会	〃	9
3.1	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	〃	8
3.7	技術委員会/免震部材部会/水平二方向加力時の免震部材の特性と検証法WG/ 高減衰ゴム系積層ゴム支承SWG	〃	14
3.8	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	9
3.8	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	〃	11
3.9	原子力関係施設免震構造委員会	食品衛生センター 5階 講堂1	26
3.9	技術委員会/応答制御部会/パッシブ制振評価小委員会/制振普及WG	事務局	5
3.12	技術委員会/防耐火部会/認定試験体WG	〃	9
3.12	高強度ボルト接合委員会/設計WG	〃	5
3.13	運営委員会	〃	12
3.14	普及委員会/教育普及部会	〃	6
3.14	応答制御建築物調査委員会/免震構造設計部会	日本青年館ホテル 会議室	23
3.16	技術委員会/耐風設計部会	事務局	7
3.21	技術委員会/防耐火部会/「耐火設計ガイドブック」作成WG	〃	6
3.21	技術委員会/防耐火部会	〃	13
3.23	高強度ボルト接合委員会/設計WG	〃	5
3.23	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	11
3.28	普及委員会/教育普及部会	〃	9

入 会

会員種別	会員名	業種または所属
賛助会員	(株)クオリティ・ジャパン	構造物調査業
〃	(有)KPK	メーカー/免震材料(周辺部材)

退 会

会員種別	会員名	業種または所属
第1種正会員	真柄建設(株)	建設業/総合
第2種正会員	城 攻	北海道大学 名誉教授
賛助会員	(株)構造工学研究所	設計事務所/構造

会員種別変更

会員種別	会員名	業種または所属
第1種正会員から賛助会員へ	石川建設(株)	建設業/総合
〃	西武建設(株)	建設業/総合
〃	三菱重工業(株)	メーカー/総合機械製造

会員の資格喪失

会員種別	会員名	業種または所属
賛助会員	中央鉄工(株)	メーカー/建築材料(取付鋼板)

会員数 (2012年4月30日現在)	名誉会員	1名
	第1種正会員	91社
	第2種正会員	214名
	賛助会員	80社
	特別会員	7団体

入会のご案内

入会ご希望の方は、次項の申込書に所定事項をご記入の上、事務局までご郵送下さい。
 入会は、理事会に諮られます。理事会での承認後、入会通知書・請求書・資料をお送りします。

会員種別		入会金	年会費
第1種正会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の目的に賛同して入会した法人	300,000円	(1口) 300,000円
第2種正会員	免震構造に関する学術経験を有する者で、本協会の目的に賛同して入会した個人 理事の推薦が必要です	5,000円	5,000円
賛助会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の事業を賛助するために入会した法人	100,000円	100,000円
特別会員	本協会の事業に関係のある団体で入会したもの	別 途	—

会員の特典など

	総会での 議決権	委員会 委員長	委員会 委員	会誌送付部数	講習会・書籍等
第1種正会員	有/1票	可	可	4冊/1口 10冊/2口 20冊/3口	会員価格
第2種正会員	有/1票	可	可	1冊	会員価格
賛助会員	無	不可	可	2冊	会員価格

お分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください

一般社団法人日本免震構造協会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

TEL：03-5775-5432

FAX：03-5775-5434

E-mail：jssi@jssi.or.jp

一般社団法人日本免震構造協会 入会申込書〔記入要領〕

第1種正会員・賛助会員・特別会員への入会は、次頁の申込み用紙に記入後、郵便にてお送り下さい。入会の承認は、理事会の承認を得て入会通知書をお送りします。その際に、請求書・資料（協会出版物等）を同封します。

記載事項についてお分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください。

1. 法人名（口数）…口数記入は、第1種正会員のみです。
2. 代表名とは、下記の①または②のいずれかになります
第1種正会員につきましては、申込み用紙の代表権欄の代表権者または指定代理人の□に✓を入れて下さい。
 - ①代表権者 … 法人（会社）の代表権を有する人
 例えば、代表権者としての代表取締役・代表取締役社長等
 - ②指定代理人 … 代表権者から、指定を受けた者
 こちらの場合は、別紙の指定代理人通知（代表者登録）に記入後、申込書と併せて送付して下さい。
3. 担当者は、当協会からの全ての情報・資料着信の窓口になります。
 例えば……総会の案内・フォーラム・講習会・見学会の案内・会誌「MENSHIN」・会費請求書などの受け取り窓口
4. 建築関連加入団体名
 3団体までご記入下さい。
5. 業種：該当箇所に○をつけて下さい。{ } 欄にあてはまる場合も○をつけて下さい
 その他は（ ）内に具体的にお書き下さい。
6. 入会事由…例えば、免震関連の事業展開・○○氏の紹介など。

一般社団法人日本免震構造協会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 2階

TEL：03-5775-5432

FAX：03-5775-5434

E-mail：jssi@jssi.or.jp

一般社団法人日本免震構造協会「免震普及会」に関する規約

平成11年2月23日
規約第1号

第1（目的）

社団法人日本免震構造協会免震普及会（以下「本会」という。）は、社団法人日本免震構造協会（以下「本協会」という。）の事業目的とする免震構造の調査研究、技術開発等について本協会の会報及び活動状況の情報提供・交流を図る機関誌としての会誌「MENSHIN」及び関連事業によって、免震構造に関する業務の伸展に寄与し、本協会とともに免震建築の普及推進に資することを目的とする。

第2（名称）

本会を「(社)日本免震構造協会免震普及会」といい、本会員を「(社)日本免震構造協会免震普及会会員」という。

第3（入会手続き）

本会員になろうとする者（個人又は法人）は、所定の入会申込書により申込手続きをするものとする。

第4（会費）

会費は、年額1万円とする。会費は、毎年度前に全額前納するものとする。

第5（入会金）

会員となる者は、予め、入会金として1万円納付するものとする。

第6（納入金不返還）

納入した会費及び入会金は、返却しないものとする。

第7（登録）

入会手続きの完了した者は、本会員として名簿に登載し、本会員資格を取得する。

第8（資格喪失）

本会の目的違背行為、詐称等及び納入金不履行の場合は、本会会員の資格喪失するものとする。

第9（会誌配付）

会誌は、1部発行毎に配付する。

第10（会員の特典）

本会員は、本協会の会員に準じて、次のような特典等を受用することができ用。

- ① 刊行物の特典頒付
- ② 講習会等の特典参加
- ③ 見学会等の特典参加
- ④ その他

第11（企画実施）

本会の目的達成のため及び本会員の向上の措置として、セミナー等の企画実施を図るものとする。

附則

日本免震構造協会会誌会員は、設立許可日より、この規約に依る「社団法人日本免震構造協会免震普及会」の会員となる。

一般社団法人日本免震構造協会「免震普及会」入会申込書

申込書は、郵便にてお送り下さい。

申 込 日 (西暦)		年 月 日	*入会承認日	月 日
*コード				
ふりがな 氏 名		印		
勤 務 先	会 社 名			
	所 属 ・ 役 職			
	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL () -	FAX () -	
自 宅	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL () -	FAX () -	
	業 種	該当箇所に○をお付けください 業種Cの括弧内には、分野を記入してください A：建設業 B：設計事務所 C：メーカー () D：コンサルタント E：その他 ()		
会誌送付先	該当箇所に○をお付けください	A：勤務先 B：自 宅		

*本協会にて記入します。

会員登録内容に変更がありましたら、下記の用紙にご記入の上FAXにてご返送ください。

送信先 一般社団法人日本免震構造協会事務局 宛

F A X 0 3 - 5 7 7 5 - 5 4 3 4

会員登録内容変更届

送付日（西暦） 年 月 日

●登録内容項目に○をおつけください

1. 担当者 2. 勤務先 3. 所属 4. 勤務先住所
 5. 電話番号 6. FAX番号 7. E-mail 8. その他 ()

会 員 種 別 : 第1種正会員 第2種正会員 賛助会員 特別会員 免震普及会

発 信 者 : _____

勤 務 先 : _____

T E L : _____

●変更する内容 (名刺を拡大コピーして、貼っていただいても結構です)

会 社 名 _____

(ふりがな)
 担 当 者 _____

勤 務 先 住 所 〒 _____

所 属 _____

T E L () _____

F A X () _____

E - m a i l _____

※代表者が本会の役員の場合は、届け出が別になりますので事務局までご連絡下さい。

行事予定表 (2012年6月～2012年8月)

■ は、行事予定日など

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 6/5 平成24年度通常総会、協会賞表彰式、優秀修士論文賞表彰式、懇親会（東京：明治記念館）
- 6/5 第14回日本免震構造協会協会賞公募
- 6/19 通信理事会

※6/18は、6/17協会設立記念日の振替休日

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 7/2 平成24年度「免震部建築施工管理技術者」講習・試験案内送信、HP掲載
- 7/17 通信理事会

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 8/10 第14回日本免震構造協会協会賞募集／受付締め切り
- 8/16 通信理事会
- 8/23 平成24年度「免震部建築施工管理技術者」講習・試験申込受付締め切り
- 8/27 会誌「menshin」No.73発行
- 8/31 第15回免震フォーラム（東京：工学院大）

◇ 受賞のお知らせ

事務局

当協会 第2種正会員の2名の方が、学術の進歩に寄与する優れた論文を書かれたということで、「2012年日本建築学会賞（論文）」を受賞されました。

○川口 健一 氏（東京大学 教授）
「軽量柔軟構造物の形態変化と応力制御に関する研究」

○緑川 光正 氏（北海道大学 教授）
「鋼構造建物の安全性・機能性向上をめざした地震応答低減機構・システムの開発と検証に関する一連の研究」

◇ 平成24年度通常総会開催のお知らせ

事務局

日 時：平成24年6月5日（火）16:00～
場 所：明治記念館 2階「鳳凰の間」
東京都港区元赤坂2-2-23（JR信濃町駅より徒歩5分）

※総会終了後、協会賞の表彰式・優秀修士論文賞表彰式および懇親会を予定しています。

◆ 平成24年度「免震部建築施工管理技術者講習・試験」のお知らせ

資格制度委員会

日 時：平成24年9月30日（日）11:00～17:00
場 所：ベルサール渋谷ファースト 2階
東京都渋谷区東1-2-20 住友不動産ファーストタワー

※受験資格・申込み方法等、詳細は7月2日にホームページに掲載予定ですのでこちらをご覧ください。
<http://www.jssi.or.jp/>

◆ 平成24年度「免震建物点検技術者講習・試験」のお知らせ

資格制度委員会

日 時：平成25年1月26日（土）11:00～16:00

場 所：JA共済ビル 1階

東京都千代田区平河町2-7-9

※受験資格・申込み方法等、詳細は10月3日にホームページに掲載予定ですのでこちらをご覧ください。

<http://www.jssi.or.jp/>

●シンポジウム●

増大する地震動レベルと今後の耐震設計

— 3.11を踏まえた意識調査を基に —

＜主催＞ 日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 地震荷重小委員会

＜後援＞ 日本建築構造技術者協会、日本鋼構造協会、日本コンクリート工学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本免震構造協会

3.11地震の発生により地震発生の考え方が変化し、南海トラフの三連動地震や上町断層地震などへの対策が求められている。従来設計で想定されていた振幅レベルや継続時間を大きく上回る入力地震動に対し、地震動の大きさを評価できる地震動指標と建物の終局耐震性能を評価できる応答指標を改めて評価して整理することは、地震荷重や耐震設計体系にとって極めて重要となる。

本シンポジウムでは、3.11前後に実施したアンケート調査に基づき、地震動評価側・構造設計側・両者を統合する立場の三者の意識を分析し、論点を整理する。さらに、パネリストによる地震動評価と構造物応答評価に対する意見表明と討論を行い、今後の耐震設計に向けた課題と方向性を示すことを目指す。

日 時：2012年7月31日（火）13：00～17：00

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

司会：佐藤俊明（清水建設）・石原 直（建築研究所）

記録：柳下文雄（東電設計）

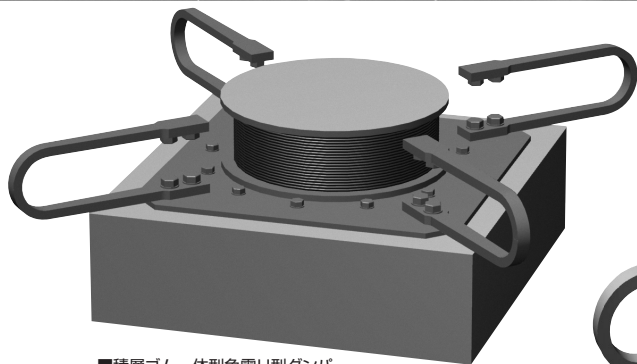
【プログラム】

- | | | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| 1 主旨説明 | 13：00～13：10 | ：林 康裕（小委員会主査／京都大学） |
| 2 アンケート調査に基づく意識調査結果の分析 | 13：10～14：10 | |
| 2-1 アンケート調査の概要 | | ：田村和夫（千葉工業大学） |
| 2-2 集計結果に基づく意識の分析 | | ：小林正人（明治大学） |
| 2-3 自由記述に基づく意識の分析 | | ：永野正行（東京理科大学） |
| 2-4 論点の整理 | | ：土方勝一郎（東京電力） |
| 3 地震動評価、応答評価の今後の方向性 | 14：10～14：55 | |
| 3-1 地震動評価の今後の方向性 | | ：壇 一男（清水建設） |
| 3-2 構造物応答評価の今後の方向性 | | ：林 康裕（前掲） |
| 3-3 構造設計の今後の方向性 | | ：北村春幸（東京理科大学） |
| 4 今後の方向性に関する討論 | 15：10～16：00 | |
| 4-1 地震動評価の今後の方向性 | | ：未定（3名） |
| 4-2 構造物応答評価の今後の方向性 | | ：未定（3名） |
| 4-3 構造設計の今後 | | ：未定（3名） |
| 5 全体討論 | 16：00～16：50 | |
| 6 まとめ | 16：50～17：00 | ：北村春幸（前掲） |

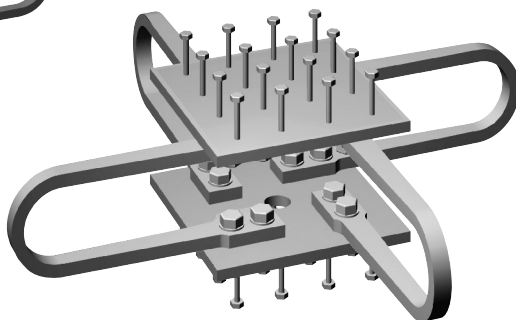
※タイトル・時間は変更されることがあります。

- 定 員 200名（当日会場先着順）
- 参加費 本会会員4,000円、後援団体会員5,000円（日本免震構造協会は後援団体）
 会員外6,000円、学生3,000円
 ＊資料代3,000円含む
 ＊本会正会員（個人）の方は会員証をご持参ください。
- 問合せ 日本建築学会事務局研究事業グループ 伏見 Tel.03-3456-2057

新日鉄エンジニアリングの 免震シリーズ



■積層ゴム一体型免震U型ダンパー



■別置型免震U型ダンパー



■鉛ダンパー

さまざまな設計・施工ニーズに
応える2タイプの免震U型ダンパー

免震U型ダンパー

- 1 **低コスト** 従来の免震鋼棒ダンパーに比べ、降伏せん断力当たりの価格が安く、経済的です。
- 2 **自由度** 積層ゴムアインレーターと一体にすることが可能です。また、ダンパーのサイズ、本数や配置、組み合わせを選択できます。
- 3 **無方向性** 免震U型ダンパーの360度すべての方向に対し、ほぼ同等の履歴特性を示します。
- 4 **メンテナンス** 地震後のダンパー部分の損傷程度を目視にて確認でき、点検が容易です。また、万が一の地震後におけるダンパー交換も可能です。

強く、安く、扱いやすい
純鉛ダンパー

免震鉛ダンパー

- 1 **高品質** 純度99.99%の純鉛を使用、数mmの変位から地震エネルギーを吸収します。また800mm以上の大変形にも追従できます。
- 2 **低コスト** 従来の径180の鉛ダンパーと比べ、2倍以上の降伏せん断力を持ち、経済的です。
- 3 **メンテナンス** 地震後のダンパー交換も容易です。また変形した鉛ダンパーは再加工後、再利用できるため、廃棄物になりません。

鉄粉・ゴム混合材プラグ挿入型積層ゴム

e-RB マルチラバーベアリング

次世代への新潮流。減衰機能一体型積層ゴム。

鉄粉・ゴム混合材プラグ挿入型積層ゴム(e-RB)は、天然ゴム系積層ゴムの中心孔に、減衰材(高粘性材料に鉄粉を高充填した材料)を封入した減衰材内蔵型積層ゴムです。この新タイプ積層ゴムは、従来の鉛プラグ挿入型積層ゴムと同様にプラグにより減衰機能を付加しつつ、自然環境や生物生態系への影響を軽減した次世代型積層ゴムです。

特長

■ 新素材による減衰機能兼備

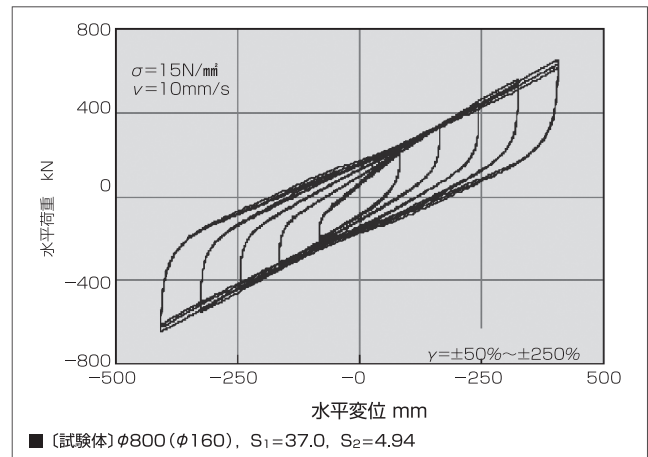
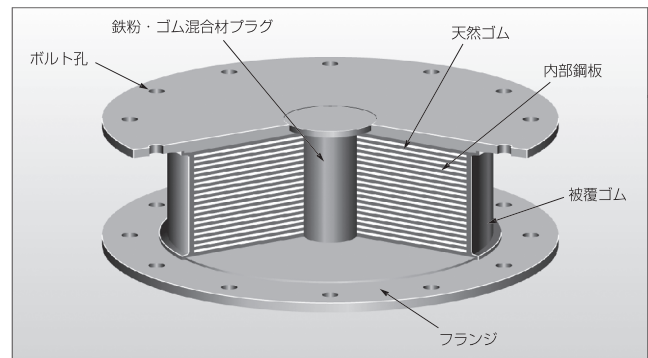
「天然ゴム系積層ゴム」部がばね機能を、「鉄粉・ゴム混合材プラグ」部が減衰機能を発揮します。プラグ径を変更^{*}することで減衰量を調整することが可能です。

* プラグ径のバリエーションは今後拡充予定です。

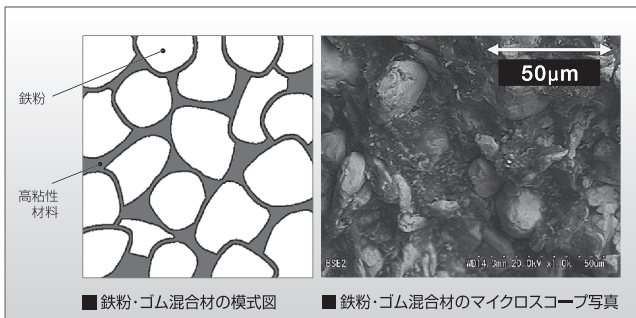
■ 環境負荷を軽減

環境に配慮した減衰材プラグです。将来、積層ゴムが不要となった際にも、特別な工程を必要とせずリサイクルすることが可能です。

構造図と特性図



減衰発現のメカニズム



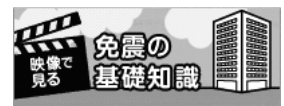
鉄粉・ゴム混合材プラグは、ビンガム流体(塑性流体)的な性状を示す高粘性材料(未加硫ゴム)に鉄粉を高充填したものです。減衰力は、鉄粉間を流動する高粘性体の流動抵抗力や、鉄粉同士の摩擦力により発生します。

株式会社ブリヂストン インフラ資材販売促進部 インフラ資材販売促進課

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-6 八重洲センタービル13F

TEL. 03-5202-6865 FAX. 03-5202-6848 e-mail: menshin@group.bridgestone.co.jp

URL: http://www.bridgestone.co.jp/business/dp/construction/antiseismic_rubber/

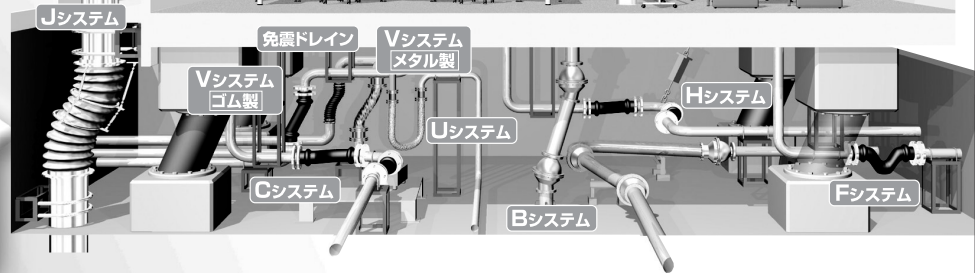


TOZEN

NEW

免震継手システム SQ2

SEQULEX2 セキュレックス2



免震・層間・ 変位吸収継手の パイオニア

Fシステム 大変位性、施工性などに優れた性能を発揮する横引き・斜め配管取付用免震システム。

Hシステム サスペンションと継手を組み合わせて高い免震性能を発揮。スプリング内蔵型免震システム。

Cシステム 国内免震システム第一号の豊富な実績と確かな信頼性のコントローラ、ステージ型、免震システム。

Vシステム 低コスト化を追求した縦配管・垂直取付け免震システム。

Uシステム 継手一本で低コスト化を実現。さらに省スペースでも対応可能な免震システム。

免震ドレイン 簡易的な施工で変位吸収が可能な排水用免震継手。

Jシステム 空調・排煙・煙道・煙突用免震システム。

Bシステム 【**縦型**】伸縮型ボールジョイントを採用し省スペース化を実現した免震システム。

Bシステム 【**横型**】高温、高圧、大口径に適したボールジョイントを採用した免震システム。

住宅免震用配管継手

ハウズドレイン（排水用）

短面間で最大免震量500mmまで対応可能な
縦取付け専用の排水免震継手。



ハウズドレインF（排水用）

縦取付けはもちろん、横取付け（水平）も可能（最大免震量700mm）。
評価方法基準における維持管理対策等級3にも適応。



アクトホース（給水用）

「ねじれ」を防止する回転機能付き。
最大免震量500mmまで対応可能な免震継手。



株式会社 TOZEN

東京営業所 TEL.(03)3801-2091(代)
福岡営業所 TEL.(092)511-2091(代)

Eメールアドレス : gr.info@tozen.co.jp
URL : http://www.tozen.info/

大阪営業所 TEL.(06)6578-0310(代)
札幌営業所 TEL.(011)518-8170(代)

ISO9001 認証取得

★HPからはDXFデータ等をダウンロードできます。

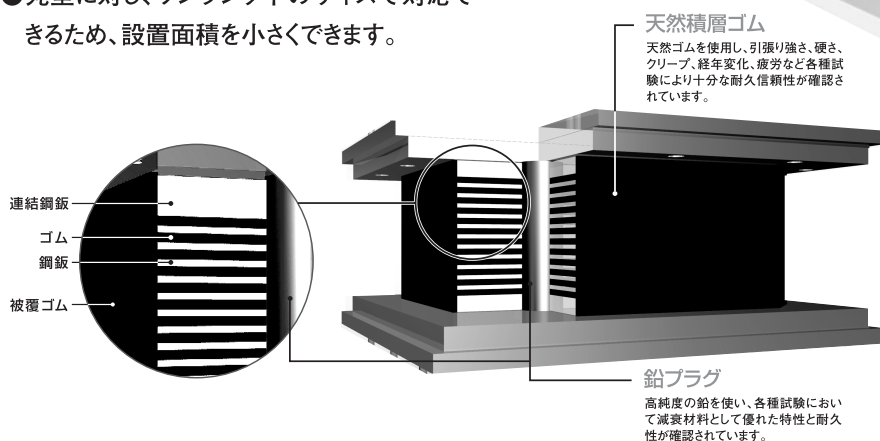
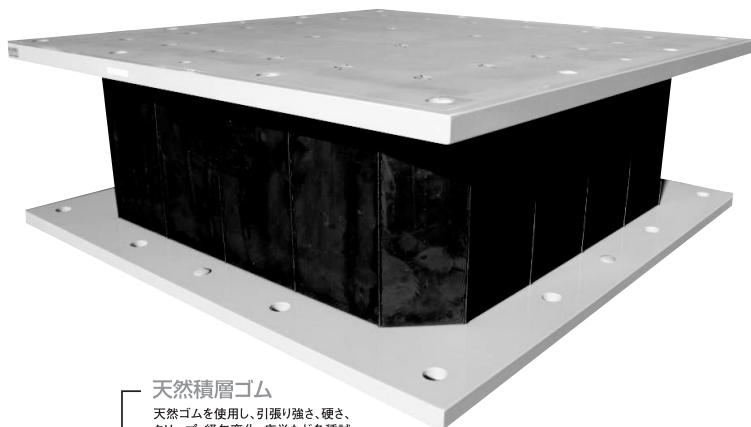
仙台営業所 TEL.(022)288-2701(代)
名古屋営業所 TEL.(052)243-2092(代)

先進の免震設計に、信頼で応える オイルスの免震装置

〈角型〉鉛プラグ・積層ゴム一体型免震装置

LRB-S

- 従来のLRBの性能を維持するとともに、躯体と免震装置の経済的な設計が出来るエコノミーデザインです。
- 水平全方向で安定した特性を示し、大変形に対する信頼性も確認されています。
- レトロフィットなどでの柱の収まりが良く、耐火被覆などが容易で、低コスト化できます。
- 丸型に対し、ワンランク下のサイズで対応できるため、設置面積を小さくできます。



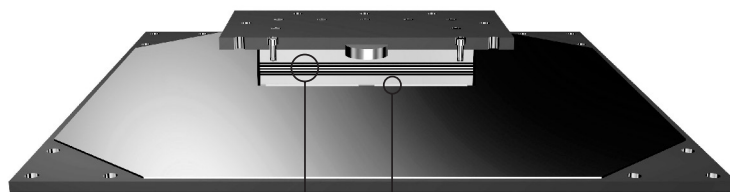
大型試験機によるLRBの大変形性能試験

滑り天然積層ゴム型免震装置

SSR

長周期化を可能にする、
オイルス弾性すべり支承

- 摩擦係数 $\mu=0.01$ 、 $\mu=0.03$ 、 $\mu=0.13$ と豊富なバリエーションとサイズをご用意しています。
- 最大鉛直荷重33,500kNまで揃えています。
- 小さな荷重でも変形量を確保し、免震化を可能にします。



天然積層ゴム
天然ゴムを使用し、引張り強さ、硬さ、クリープ、経年変化、疲労など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

摺動材(オイルス滑り材)
オイルス滑り材は、耐荷重性、耐磨耗性、摩擦係数、速度特性など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

※SSRはLRBやRBなどの免震装置と組み合わせて使用します。

OILES オイルス工業株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-6-34 品川イースト6F <http://www.oiles.co.jp/>
免震事業部 TEL.03-5781-0314

ADC 免制震デバイス社の 積層ゴム免震装置

装置構成材の組み合わせ自由度が高く、
様々な設計条件に適合します。

「錫プラグ入り積層ゴム」載荷変形試験状況

SnRB 錫プラグ入り積層ゴム *Tin Rubber Bearing*

国土交通大臣認定番号(免震材料) MVBR-0323

錫は鉛と比較してエネルギー吸収力は約1.7倍。
同じ減衰力を得ようとするとき、
鉛プラグ入り積層ゴムより装置数が少なく済み、
コストダウンが可能になる場合があります。

直径700mm型から1400mm型まで、1000mm以下は50mm刻み、
1000mm超では100mm刻みの種類があります。
基準面圧15N/mm²にも適応しており、支持荷重は2,955kNから22,167kN
まで対応します。

LRI

鉛プラグ入り積層ゴム
Lead Rubber Isolator

国土交通大臣認定番号(免震材料) MVBR-0047

直径600mm型から1500mm型まで100mm刻みの種類があります。支持荷重は
基準面圧9.8N/mm²で使用した場合、2.864kNから17.318kNまで対応します。

NRI

天然ゴム系積層ゴム
Natural Rubber Isolator

国土交通大臣認定番号(免震材料) MVBR-0046

直径500mm型から1500mm型まで100mm刻みの種類があります。支持荷重は
基準面圧9.8N/mm²で使用した場合、1.924kNから17.318kNまで対応します。

SLR

弾性すべり系積層ゴム
SLiding support with Laminated Rubber Pad

国土交通大臣認定番号(免震材料) MVBR-0048

直径300mm型から1200mm型まで100mm刻みの種類があります。支持荷重は
基準面圧9.8N/mm²で使用した場合、693kNから11,437kNまで対応します。

ADC

Aseismic Devices Co.,Ltd

株式会社 免制震デバイス

<http://www.adc21.co.jp> TEL:03-3221-3741

【本社】東京都千代田区飯田橋2-1-10 TUGビル4階 〒102-0072

【技術センター】栃木県下野市仁良川1726 〒329-0432

超高層ビルはもちろん
低層建物にも
十分に性能を発揮します。

写真:タイヤ技術センター(兵庫県伊丹市)

技術の結晶 高減衰と 低剛性の 融合を実現!

低層建物にも適応する低剛性性能

適度な荷重を与えることで免震効果を発揮する免震積層ゴム支承は、低層建物や軽量建物では免震化が困難な場合があります。

東洋ゴムの「高減衰ゴム系積層ゴム支承(G:0.35仕様)」は業界トップクラスの低剛性性能で、荷重の小さい建物への適用も容易にしています。

高減衰ゴム系積層ゴム支承

ゴム分子間相互のエネルギー吸収能力を高めた特殊配合ゴムを使用した免震積層ゴム支承。揺れ幅の制御に加えて、地震後の敏速な静止機能も優れています。ダンパー機能一体型で維持管理が容易です。

HRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.35N/mm² 認定番号: MVBR-0437
SHRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.39N/mm² 認定番号: MVBR-0438
SHRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.62N/mm² 認定番号: MVBR-0439

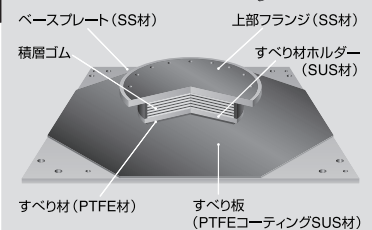
天然ゴム系積層ゴム支承

天然ゴムを使用したベーシックな免震積層ゴム支承。地震後の揺れ静止のために、ダンパーが別途必要です。各種ダンパーとの組み合わせにより、幅広い用途要求に対応できます。

NRBシリーズ せん断弾性係数 G:0.34~0.44N/mm² 認定番号: MVBR-0342
(0.29N/mm² 開発中)

弾性すべり支承

すべり板と組み合わせた免震装置。地震時の小さな変位には、弾性体である積層ゴム支承が変形し、揺れに追従。さらに大きな変位が発生した場合は、すべり材がすべり板の上をスライドするハイブリッドタイプです。



SLBシリーズ 摩擦係数 μ 0.01 認定番号: MVBR-0236

東洋ゴム工業株式会社

お問い合わせ 東洋ゴム化工品販売株式会社

本社 〒162-8622 東京都新宿区天神町10番地 安村ビル
TEL:03-3235-1751

大阪支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-5-30 堂島プラザビル11F
TEL:06-4799-6552

札幌支店 011-747-1040 東北支店 022-292-1855 中部支店 052-973-2900
中国支店 086-292-5111 四国支店 087-869-1595 九州支店 092-411-8303

※商品の規格・仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承下さい。

<http://www.toyo-kohan.co.jp/>

国土交通大臣の柱耐火3時間認定を取得! 【適合免震装置：天然ゴム系、高減衰ゴム系支承】

免震建築物の積層ゴム用耐火被覆材

メンシガードS

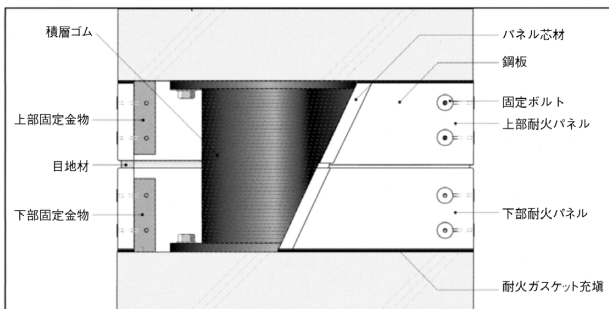
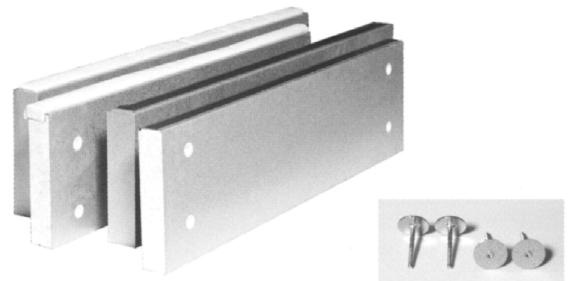
国土交通大臣認定
天然ゴム系：
FP180CN-0349
高減衰ゴム系：
FP180CN-0350



- 中間層免震の場合、積層ゴムにメンシガードSを施す事により免震層を駐車場や倉庫として有効利用ができます。
- 従来の耐火材に比べ美しくスマートに仕上がります。
- 表面にガルバリウム鋼板を使用しているため、物が当たった時の衝撃に対しても安全です。
- 専用ボルトによる固定のため、簡単に脱着ができ積層ゴムの点検が容易に行えます。

性能

- 耐火試験を行い、耐火3時間性能を確認しています。
- 変位追従性能試験を行い、地震時の変位に追従する事を確認しています。



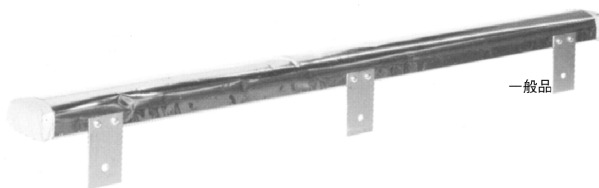
※材質 耐火芯材：けい酸カルシウム板 表裏面鋼板：ガルバリウム鋼板

目安寸法

積層ゴム径	変位 (mm)	標準寸法 (仕上がり外寸)
600 φ	±600	1,310×1,310
650~800 φ		1,510×1,510
850~1000 φ		1,710×1,710
1100~1200 φ		1,910×1,910
1300 φ		2,110×2,110

免震建築物の防火区画目地

メンシンメジ

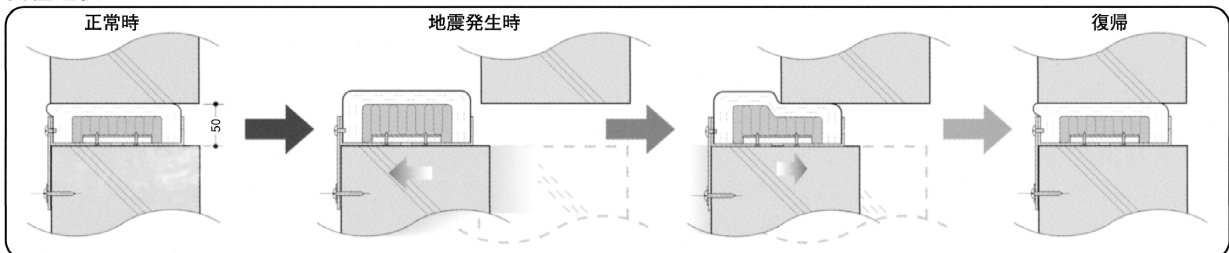


- 耐火1時間性能試験を行い、非加熱面温度（裏面温度）が告示で定める可燃物燃焼温度（建告1432号）以下であることを確認しています。
- 400mm変位試験を行い、変位前後で異常が無い事を確認しています。

(単位：mm)

種類	厚さ	幅	長さ
一般品	62.5	100	1,040

変位追従モデル



◎メンシガード S、メンシンメジのご使用に際し、詳細は以下までご相談下さい。

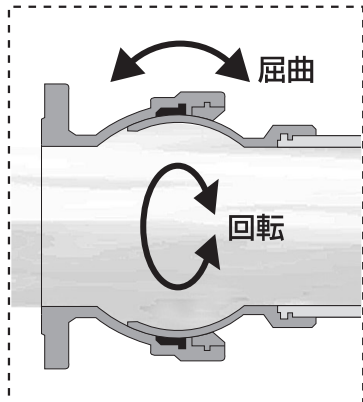
ニチアス株式会社

本社 / 〒105-8555 東京都港区芝大門1-1-26
 建材事業本部 ☎ 03-3433-7256 名古屋営業部 ☎ 052-611-9217
 設計開発部 ☎ 03-3433-7207 大阪営業部 ☎ 06-6252-1301
 東京営業部 ☎ 03-3438-9751 九州営業部 ☎ 092-521-5648

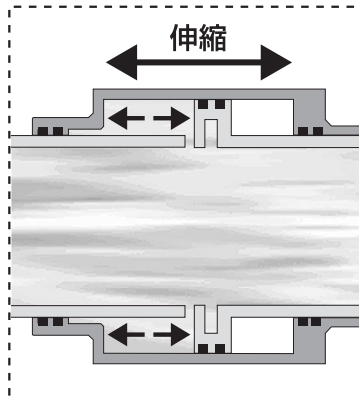
省スペース型 新メカニカル免震継手

ボールジョイントと伸縮ジョイントを一体化。
三次元(X・Y・Z・回転軸)作動。

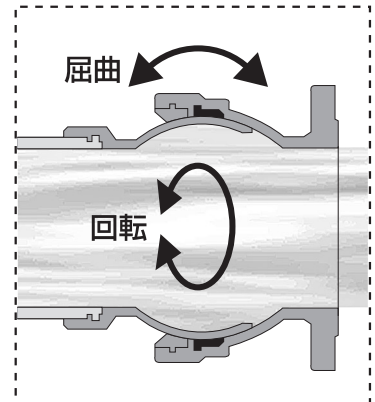
- 摺動タイプで反力はなく作動抵抗がほとんどない。
- 無反動型は圧力変動と水の体積変化を吸収する。
- 金属製で強度、耐久性に優れ、メンテナンスフリー。
- 無反動型は内圧による推力がほとんど発生しない。



ボールジョイント

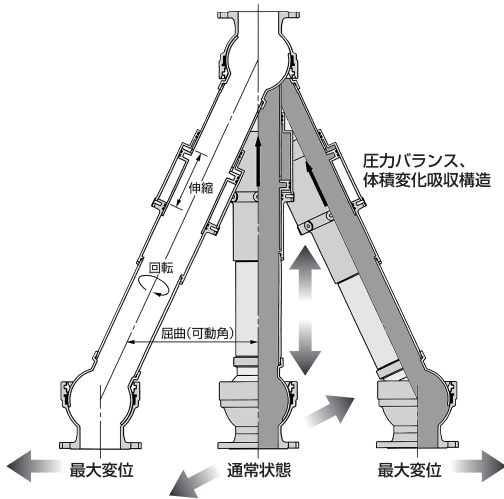


伸縮ジョイント
(圧力バランス、体積変化吸収構造)

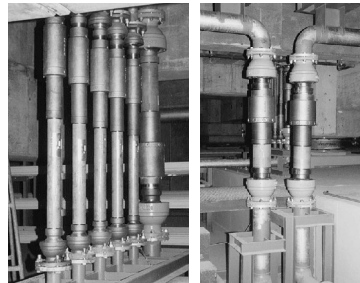


ボールジョイント

■作動図

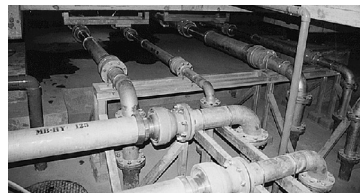


■施工例



MB-MK (給水用)

MB-MK (消火用)



MB-HY (排水用)

■種類・サイズ・用途 (単位:mm)

圧力配管用 縦型[無反動型] (MB-MK)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~150	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600		
125	-	1380	1600	0~200	±25°
150	-	1380	1600		
200	-	1430	1620		

開放配管用 縦型 (MB-HT)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~200	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600		
125	1160	1380	1600	0~200	±25°
150	1160	1380	1600		

開放配管用 横型 (MB-HY)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	1520	1820	2120	(±400) (±500) (±600)	±25°
32	1550	1850	2150		
40	1560	1860	2160		
50	1630	1930	2230		
65	1700	2000	2300		
80	1920	2220	2520		
100	1990	2290	2590		
125	2000	2300	2600	0~200	±25°
150	2070	2370	2670		

※免震量や呼び径が大きい場合はお問い合わせ下さい。

(財)日本消防設備安全センター 認定番号/PJ-119号 PJ-120号 PJ-121号
危険物保安技術協会 評価番号/危評第0017号

無反動型免震ジョイント ボール形可とう伸縮継手

メンミンベンダー

●お問い合わせは本社営業統轄部へ



本社 〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇206-7 TEL(0748)53-8083
札幌営業所 TEL(011)642-4082 大阪支店 TEL(072)677-3355
東北営業所 TEL(022)306-3166 中国支店 TEL(082)262-6641
東京支店 TEL(03)3970-9030 九州支店 TEL(092)501-3631
名古屋支店 TEL(052)712-5222

■URL <http://www.suiken.jp/> ■E-mail otoiawase@suiken.jp

GOMENKA

護 免 火

免震構造用耐火被覆システム

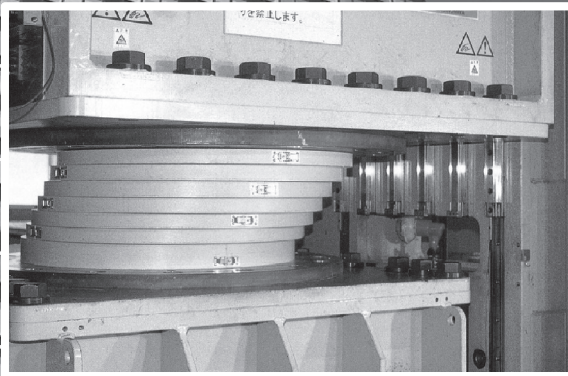
耐火構造認定 柱3時間

- 天然ゴム系積層ゴム支承
FP180CN-0482 (RC柱)
FP180CN-0483 (SRC柱)
- 高減衰積層ゴム支承
FP180CN-0480 (RC柱)
FP180CN-0481 (SRC柱)

- ◆フレキシブル板とけい酸カルシウム板を主構成材料とした優れた耐火性
- ◆フッ素樹脂のすべり効果により免震装置の水平変形にしっかり追随
- ◆分割されたリング状耐火被覆材をバックルで固定するだけの簡単施工

適用できる構造が増えました。鉄筋コンクリート(RC)柱に加えて、鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)柱への適用が可能となりました。

燃やさない技術。 ビル免震構造を火災から護ります。



護免火の変形追随性試験

■角形



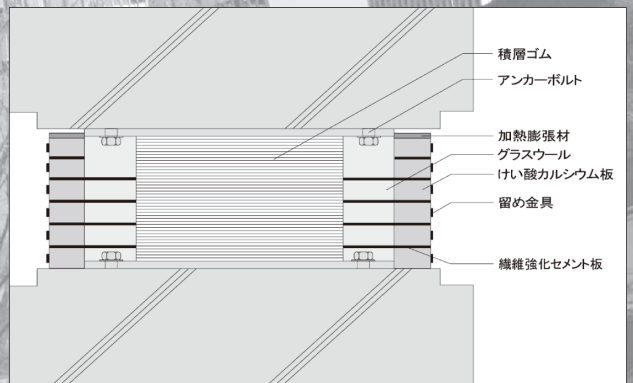
■丸形



■仕上げ形状および寸法

(単位:mm)

積層ゴム支承の種類	仕上げ形状	仕上がり寸法
天然ゴム系積層ゴム支承 (ゴム径:φ500~φ1600)	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210 フランジ外径(外寸)+250
高減衰積層ゴム支承 (ゴム径:φ600~φ1600)	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210



優れた免震構造は、地震だけでなく火災にも強い。

「護免火」は免震構造を火災から護るために開発された耐火被覆材です。3時間の加熱において、積層ゴム表面を150℃以下に保ちました。優れた追随性を発揮し、定期点検にも優れた簡単施工です。

AGAM エーアンドエー 工事株式会社

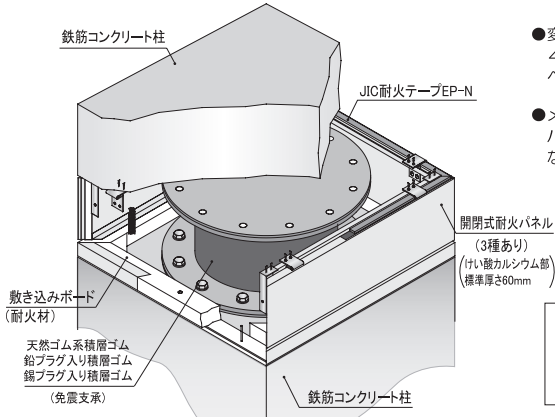
営業部・技術部 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5 電話 045(503)7730

- ◆東日本支店 電話 045(510)3365
仙台営業所 電話 022(284)4075
- ◆中部支店 電話 052(324)6221
- ◆西日本支店 電話 06(6311)5271
九州営業所 電話 092(721)5201

開閉式耐火パネル仕様 / 柱・天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム

めんしんたすけーN

耐火3時間
高層マンションOK



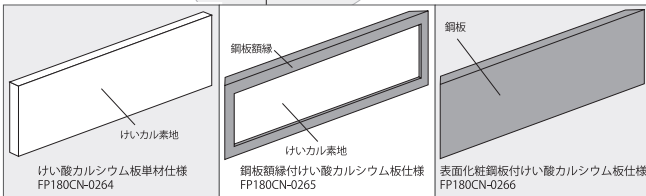
- 変形追従型
4面の耐火パネルをスプリングで連結し、大変形への追従性と復元性を確保しています。
- コンパクト
けい酸カルシウム板を採用し、柱外径1155mmというコンパクトサイズにも対応できます。
- メンテナンス
パネルをはずすことなく確認できるので、定期的な点検や地震後のメンテナンスが容易です。
- 意匠性
3種類の耐火板仕様からご選択いただけます。



＜実大試験状況＞

阪神大震災の際の計測値の1.3倍の地震動を数回与えても、耐火システムは保たれました。

手前のパネルを外しています



※すべての仕様について、けい酸カルシウム板の標準厚さは60mmです。(認定は60mm以上)

標準寸法と標準設計水平変位の例 (独立柱の場合) 単位:[mm]

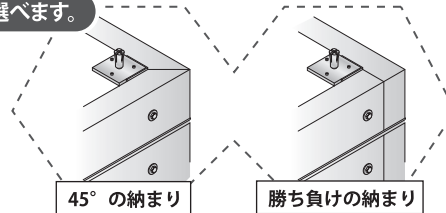
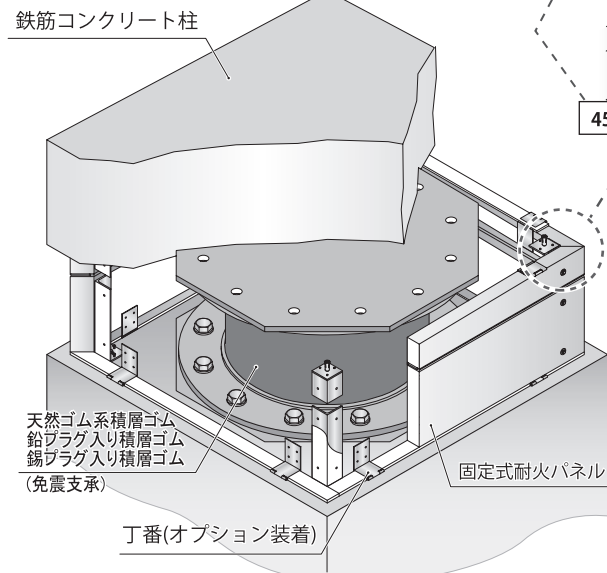
積層ゴム寸法	標準仕上寸法	標準設計水平変位
Φ600	1155×1155	±650
Φ900	1455×1455	±650
Φ1200	1755×1755	±650
Φ1500	2055×2055	±650

固定式耐火パネル仕様 / 柱・天然ゴム系積層ゴム免震装置耐火被覆システム

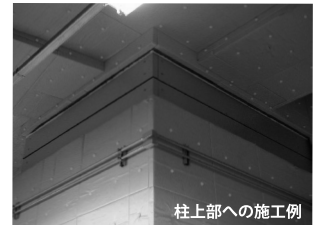
めんしんたすけーN₂

耐火3時間
高層マンションOK

コーナー形状は2タイプから選べます。



耐火3時間対応で、固定式パネル仕様の商品です。壁際の柱の免振装置の耐火被覆用として特に設計しやすい特徴があります。



柱上部への施工例



柱下部への施工例

標準寸法と標準設計水平変位の例 (独立柱の場合) 単位:[mm]

積層ゴム寸法	標準仕上寸法	標準設計水平変位
Φ600	1130×1130	±400
Φ900	1430×1430	±400
Φ1200	1730×1730	±400
Φ1500	2030×2030	±400

柱・高減衰系積層ゴム免震装置用「めんしんたすけーHD」すべり支承免震装置用「めんしんたすけーS」もあります



営業開発グループ	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目14番5号 (金盃第3ビル3F)	TEL.03(3553)7531	FAX.03(3553)4530
関東支社	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目14番5号 (金盃第3ビル3F)	TEL.03(3553)2103	FAX.03(3553)5777
東北出張所	〒981-3131 仙台市泉区七北田字山の寺7-4 (オーヒラ泉バイパス2F)	TEL.022(779)6651	FAX.022(779)6652
中部営業所	〒501-0232 岐阜県瑞穂市野田新田字伊勢田4094	TEL.058(327)5686	FAX.058(329)0320
関西支社	〒556-0014 大阪市浪速区大国1丁目1番6号 (新大国ビル3F)	TEL.06(6633)7322	FAX.06(6643)7480
九州営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号 (サンライフ第3ビル5F)	TEL.092(452)8651	FAX.092(452)8671

会誌「MENSHIN」 広告掲載のご案内

会誌「MENSHIN」に、広告を掲載しています。貴社の優れた広告をご掲載下さい。

●広告料金とサイズなど

- 1) 広告の体裁 A4判(全ページ) 1色刷
掲載ページ 毎号合計10ページ程度
- 2) 発行日 年4回 2月・5月・8月・11月の25日
- 3) 発行部数 1,200部
- 4) 配布先 社団法人日本免震構造協会会員、官公庁、建築関係団体など
- 5) 掲載料(1回)

スペース	料 金	原稿サイズ
1ページ	¥84,000(税込)	天地 260mm 左右 175mm

※原稿・フィルム代は、別途掲載者負担となります。※通年掲載の場合は、20%引きとなります。正会員以外は年間契約は出来ません。

- 6) 原稿形態 広告原稿・フィルムは、内容(文字・写真・イラスト等)をレイアウトしたものを、郵送して下さい。
広告原稿・フィルムは、掲載者側で制作していただくこととなりますが、会誌印刷会社(株)大應に有料で委託することも可能です。
- 7) 原稿内容 本会誌は、技術系の読者が多く広告内容としてはできるだけ設計等で活用できるような資料が入っていることが望ましいと考えます。
出版部会で検討し、不適切なものがあつた場合には訂正、又は掲載をお断りすることもあります。
- 8) 掲載場所 掲載場所につきましては、当会にご一任下さい。
- 9) 申込先 一般社団法人日本免震構造協会 事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階
TEL 03-5775-5432 FAX 03-5775-5434

広告を掲載する会員は、現在のところ正会員としておりますが、賛助会員の方で希望される場合は、事務局へご連絡下さい。

大地震に備える

～ 免震構造の魅力～

免震建築の普及のため、建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの (約9分)



[日本語版]

価格(税込)：会 員 ￥2,000
非会員 ￥2,500
アカデミー ￥1,500

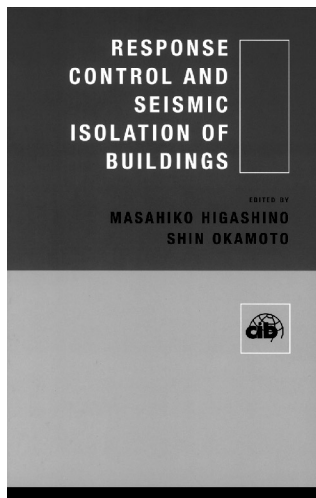
発行日：2005年8月



[英語版]

価格(税込)：会 員 ￥1,500
非会員 ￥2,000
アカデミー ￥1,000

発行日：2006年11月



国際委員会は2000年よりCIB(建築研究国際協議会)のTG44(Performance Evaluation of Buildings with Response Control Devices)の活動もしていましたが、今回その成果として免制振に関する世界の現状を記した書籍がTaylor&Francis社より出版されました。各国の技術基準比較と設計・解析方法などの紹介、免震建物の地震応答観測結果、装置の紹介、各国の設計例データシートなどが示されている。(英語版)

発行日：2006年12月

販 売：Taylor & Francis

編集後記

東日本大震災から一年が経過し、震災後の報告からも、免震化された消防署・病院施設等が防災拠点として被災救援・救護に充分機能を発揮したことが伝えられ、震災の教訓から今後も防災拠点の免震化が進むと思われる。その反面、免震建物の長周期地震動及び長時間地震動への対応が今後もより慎重に検討する課題であることも認識されました。

今回の免震建築紹介及び訪問記で紹介されている病院及び市庁舎も防災拠点として地震発生後に速やかな機能発揮を重点として設計され、実際「つくば市庁舎」

では東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)で震度6強を経験して免震効果が発揮され、県内及び県外からの視察が多く申し込まれている状況との事です。

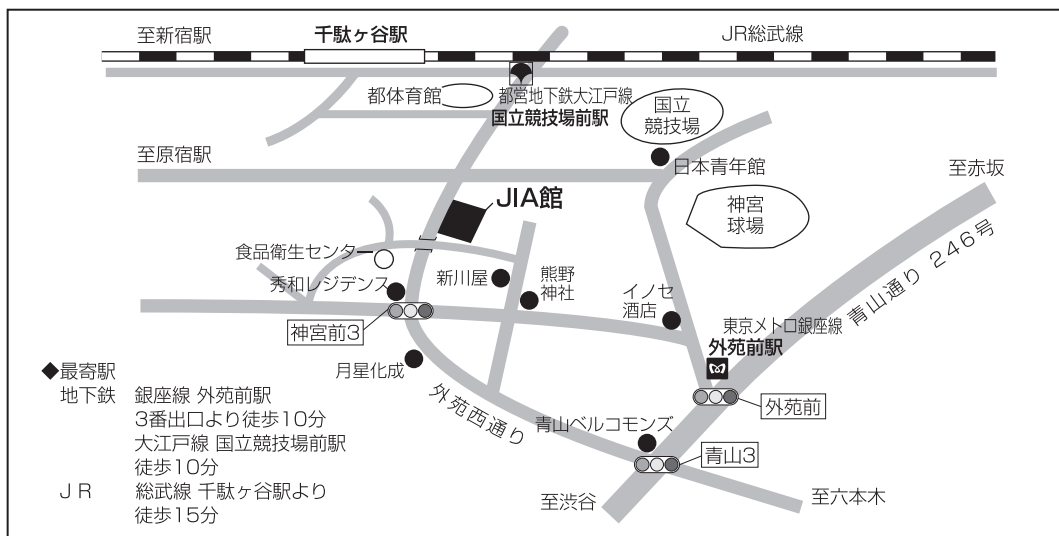
防災拠点施設として、環境共生型建築として、太陽光発電や自然採光・通風など自然エネルギーを利用した「先進的エコ庁舎」つくば市庁舎に訪問取材した今回の編集WGは、小澤、猿田、世良、人見、藤波、浜辺さんの6名の方々でした。御苦労様でした。

最後に、今回より表紙が一新されました。会員の皆様に一層愛読されればと思います。

出版部会委員長 加藤 晋平

寄贈図書

日本ゴム協会誌	第85巻 第1号	(社) 日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第85巻 第2号	(社) 日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第85巻 第3号	(社) 日本ゴム協会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2012.1	(社) 日本建築士事務所協会連合会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2012.2	(社) 日本建築士事務所協会連合会
日事連 建築士事務所の全国ネットワーク	2012.3	(社) 日本建築士事務所協会連合会
月刊 鉄鋼技術	2012 1月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2012 2月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2012 3月号	鋼構造出版
RE	2012.1 No.173	(財) 建築保全センター



2012 No.76 平成24年5月25日発行

発行所 一般社団法人日本免震構造協会

編集者 普及委員会 出版部会

印刷 (株)大 應

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

一般社団法人日本免震構造協会

Tel : 03-5775-5432

Fax : 03-5775-5434

http : //www.jssi.or.jp/

